

小城市子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査の報告について

目 次

I 調査概要	2
II 就学前児童調査結果	
1 対象者及び保護者の特性（問 1～問 7）	5
2 祖父母などに預かってもらっている状況（問 8）	6
3 保護者の就労状況について（問 9～問 11）	8
4 お子さんの妊娠、出産時の状況（問 12）	11
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（問 13）	12
6 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望（問 14）	15
7 子育て支援サービスの利用状況、認知状況（問 15～問 17）	17
8 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望（問 18～問 19）	20
9 病児・病後児保育について（問 20）	21
10 一時預かりについて（問 21～問 23）	23
11 放課後児童クラブについて（問 24～問 26）	26
12 育児休業制度等の利用状況（問 27）	29
13 地域の子育て事業について（問 28～問 29）	34
14 お父さんの子育てへの参加状況（問 30～問 31）	36
15 子育てに関する悩みや不安とその相談相手（問 32～問 35）	37
16 子育てに関する情報の入手方法（問 36）	40
17 自主的な活動への参加状況（問 37）	41
18 遊び場について（問 38～問 39）	42
19 お住まいの地域の子育て環境（問 40～問 41）	43
III 小学生児童調査結果	
1 対象者及び保護者の特性（問 1～問 7）	47
2 祖父母などに預かってもらっている状況（問 8）	49
3 保護者の就労状況について（問 9～問 11）	50
4 放課後児童クラブについて（問 12）	53
5 4年生以上になったときの放課後の過ごし方（問 13～問 14）	57
6 病児・病後児保育について（問 15）	58
7 一時預かりについて（問 16～問 18）	60
8 子育て支援サービスの認知状況、利用状況（問 19）	63
9 地域の子育て事業について（問 20）	65
10 子どもの居場所について（問 21）	67
11 子どもの地域活動への参加状況について（問 22）	68
12 遊び場所について（問 23）	69
13 お父さんの子育てへの参加状況（問 24～問 25）	70
14 子育てに関する悩みや不安とその相談相手（問 26～問 29）	71
15 子育てに関する情報の入手方法（問 30）	74
16 お住まいの地域の子育て環境（問 31～問 32）	75

1 調査概要

1 調査の目的

国において平成 24 年 8 月に「子ども・子育て関連 3 法」が制定され、新制度の基礎自治体となる市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられました。

これを受けて、本調査は、平成 27 年度を初年度とする『小城市子ども・子育て支援事業計画』の策定に向けて、市民の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「小城市子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を実施しました。

2 調査実施方法

調査は、以下の方法により実施しました。

区 分	就学前児童調査	小学生児童調査
1.調査対象者と抽出方法	小城市に居住する0歳から5歳までの小学校入学前児童から無作為抽出	小城市に居住する小学生 1 年生～6 年生から無作為抽出
2.調査方法	郵送による配布・回収 及び 保育園・幼稚園で配布・回収	小学校で配布・回収
3.調査期間	平成 25 年 11 月～12 月	平成 25 年 11 月～12 月
4.回収状況	配布数 1,400 回収数 905 回収率 64.6%	発送数 1,000 回収数 792 回収率 79.2%

3 集計にあたっての注意点

グラフは、パーセントで示しています。

グラフ中に表示している「n=」は、パーセントを計算するときの母数となるサンプル数（回答者数）を示しています。

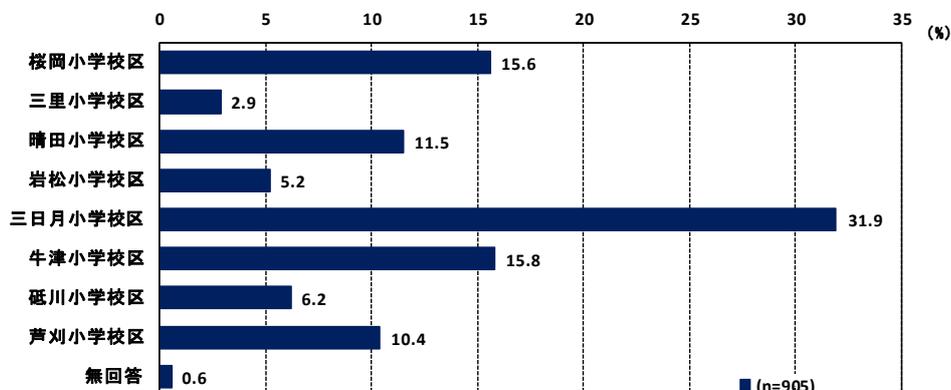
算出されたパーセントは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合があります。

また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

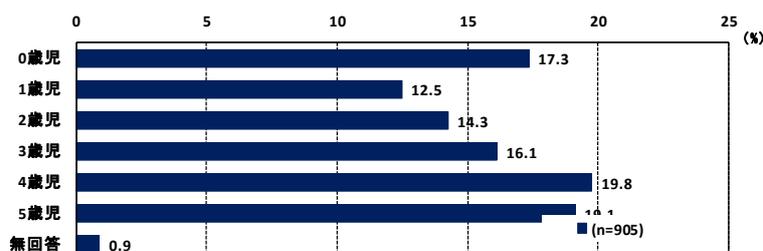
II 就学前児童調査結果

1. 対象者及び保護者の特性

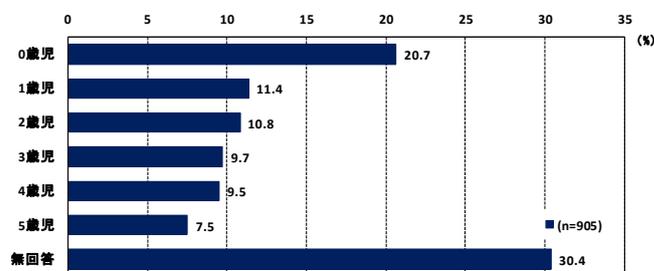
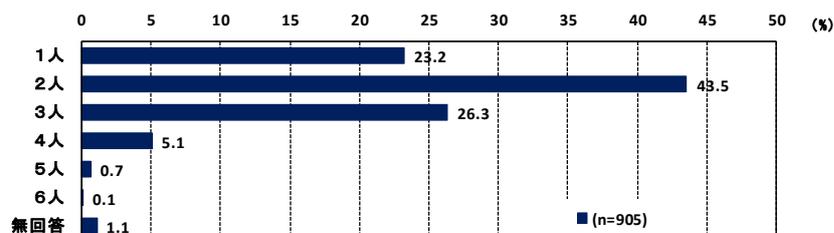
問1. お住まいの校区を教えてください。(1つに〇)



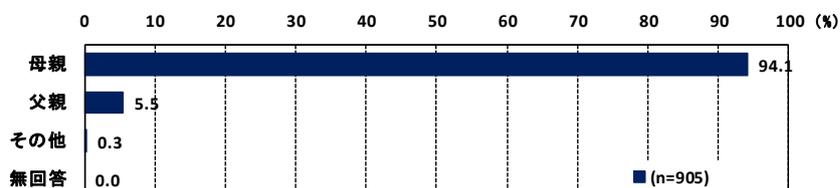
問2. あて名のお子さんの生年月をお答えください。



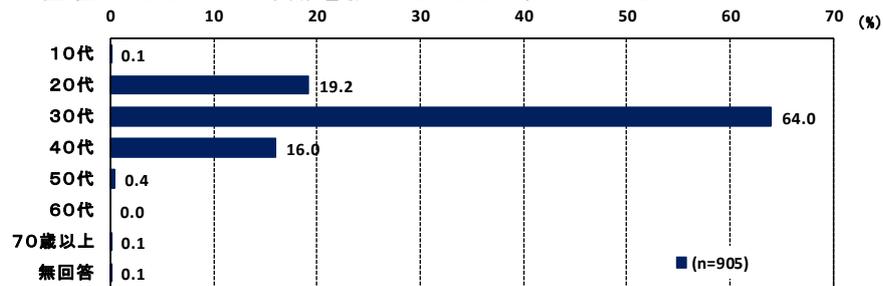
問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、一番下のお子さんの生年月をお答えください。



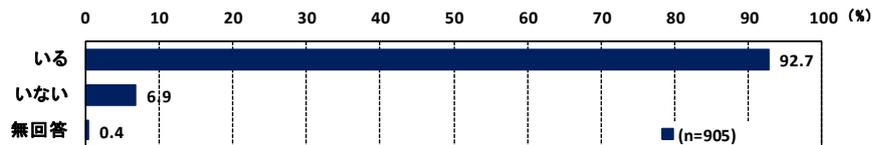
問4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。



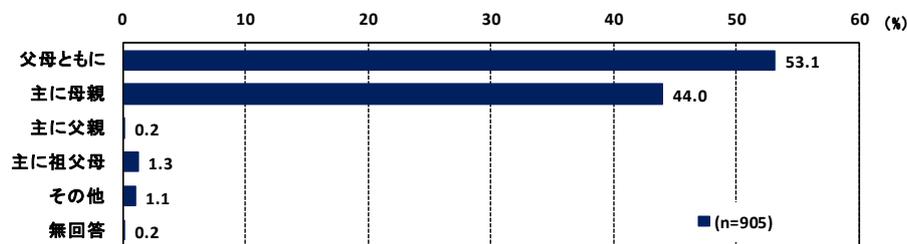
問5. この調査票にご回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)



問6. あなたに配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



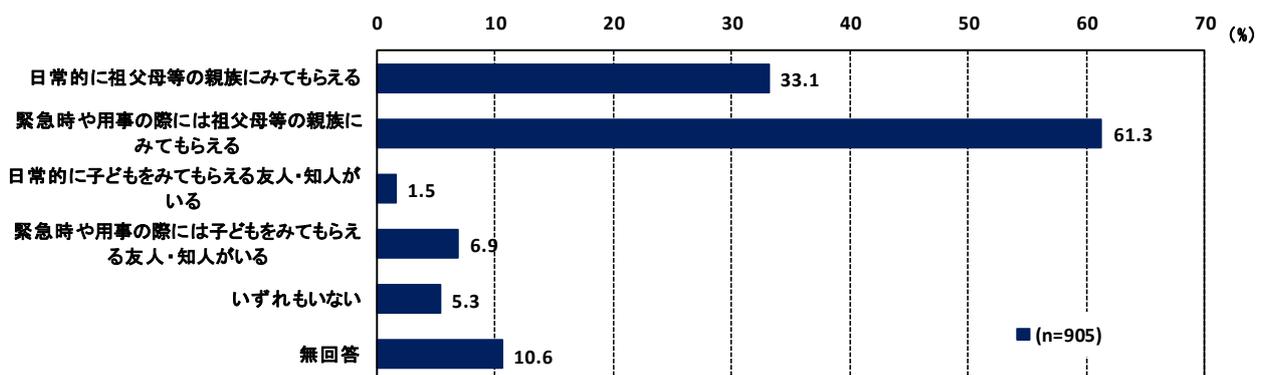
問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)



2. 祖父母などに預かってもらっている状況

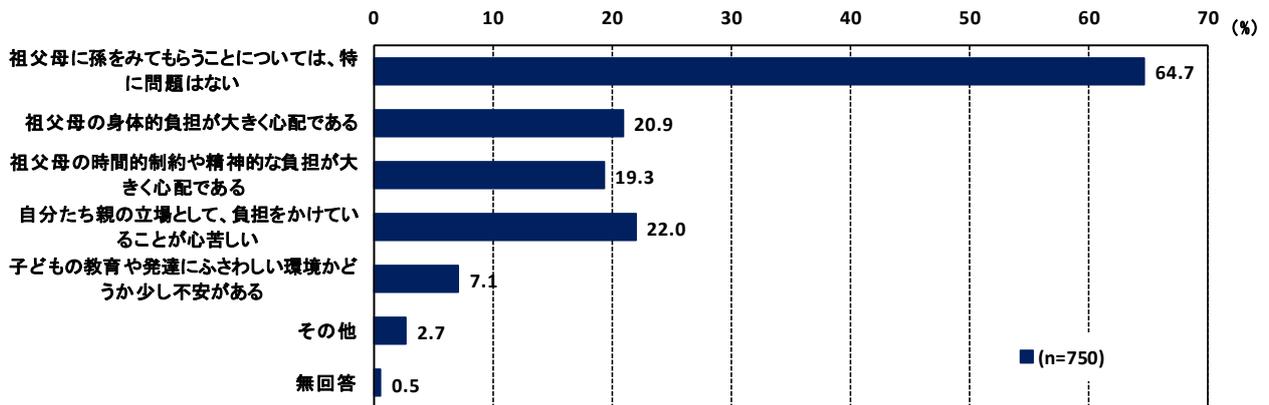
祖父母に預かってもらうことのできる人について、その状況を見ると、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」が64.7%と全体の約3分の2を占めていますが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(22.0%)、「祖父母の身体的負担が大きく心配である」(20.9%)、「祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(19.3%)と感じている人も少なくありません。

問8. 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



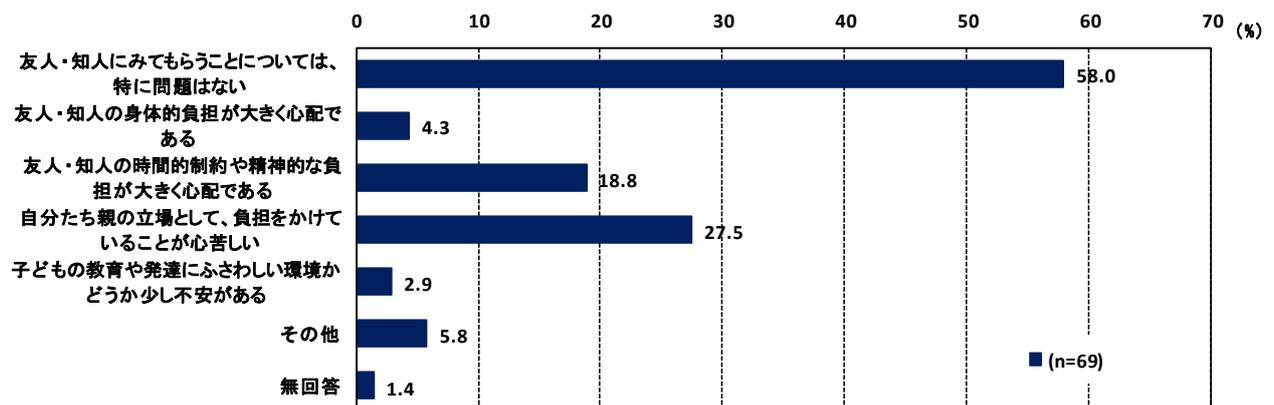
問 8 で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問 8-1. 祖父母にみてもらっている状況について、うかがいます。(あてはまるものすべてに○)



問 8 で「3」または「4」に○をした方にうかがいます。

問 8-2. 友人・知人にみてもらっている状況について、うかがいます。(あてはまるものすべてに○)

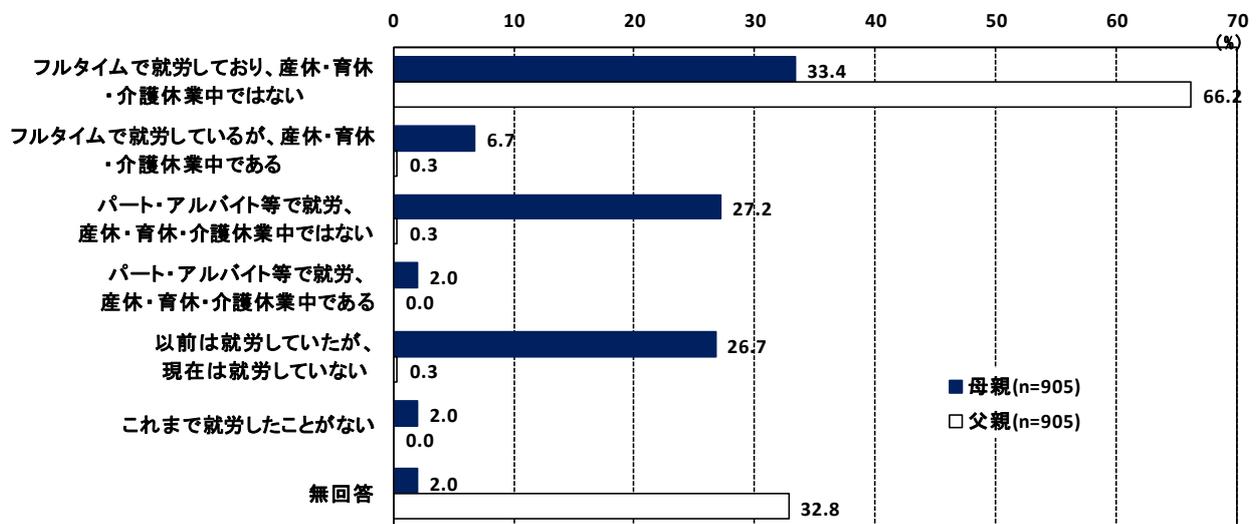


3. 保護者の就労状況について

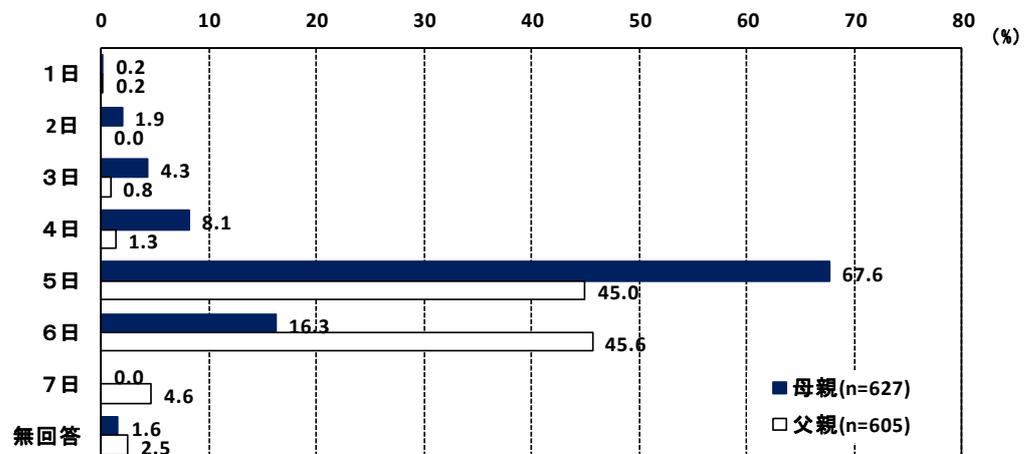
3-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 33.4%で最も高く、次いで、「パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中ではない」が 27.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 26.7%となっています。また、母親の1週間あたり就労日数については、5日 が 67.6%で最も高く、次いで6日 が 16.3%、4日 が 8.1%と続いています。

問9. あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。



【1週間あたり就労日数】

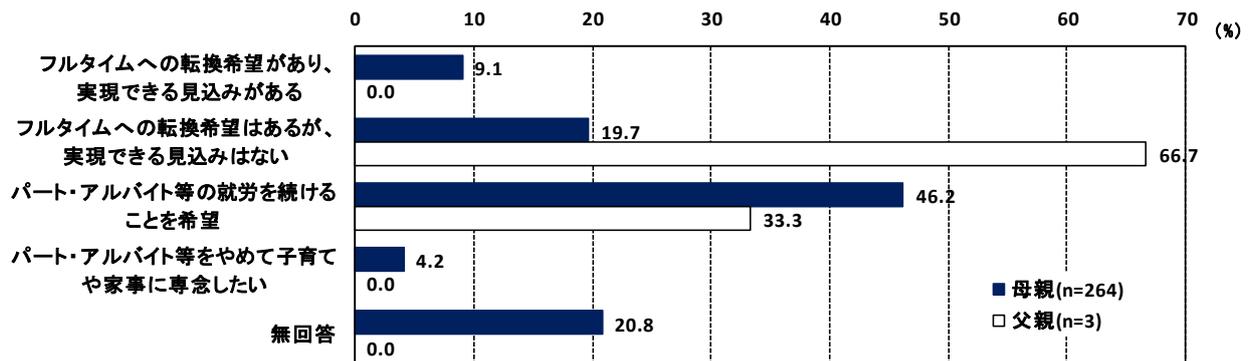


3-2. フルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 46.2%で最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 19.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 9.1%となっています。

問 9 で「3」または「4」に○をした方にお伺いします。

問 10. フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



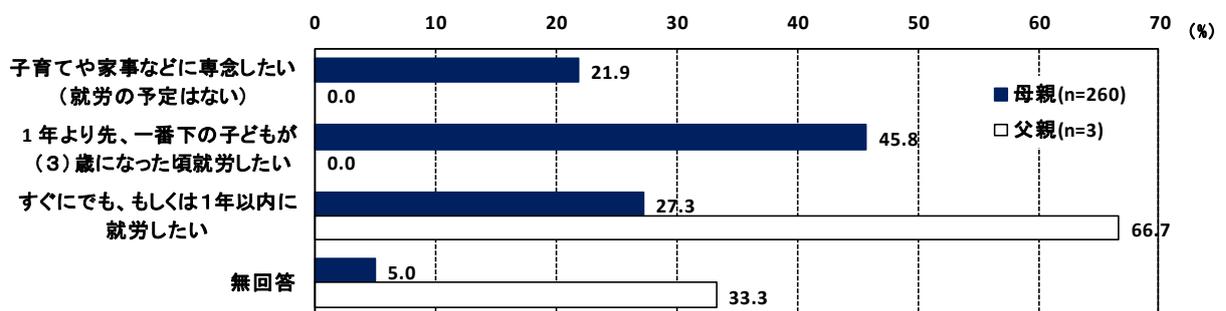
3-3. 現在就労していない母親(父親)の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向については、「1年より先、一番下の子どもが(3)歳になった頃就労したい」が 45.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 27.3%と、全体の就労意向は7割を超えており、就労意欲は非常に強くなっています。

問 9 で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問 11(1). 就労したいという希望はありますか。



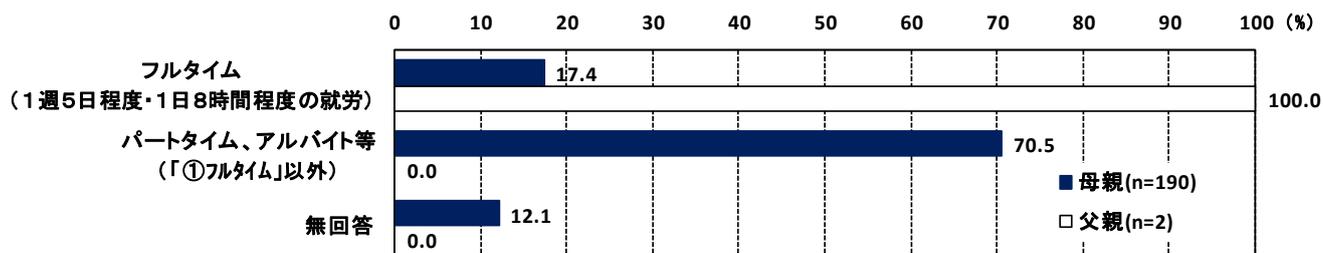
(注) ()歳の数字は、平均年齢

(2) 就労希望の形態

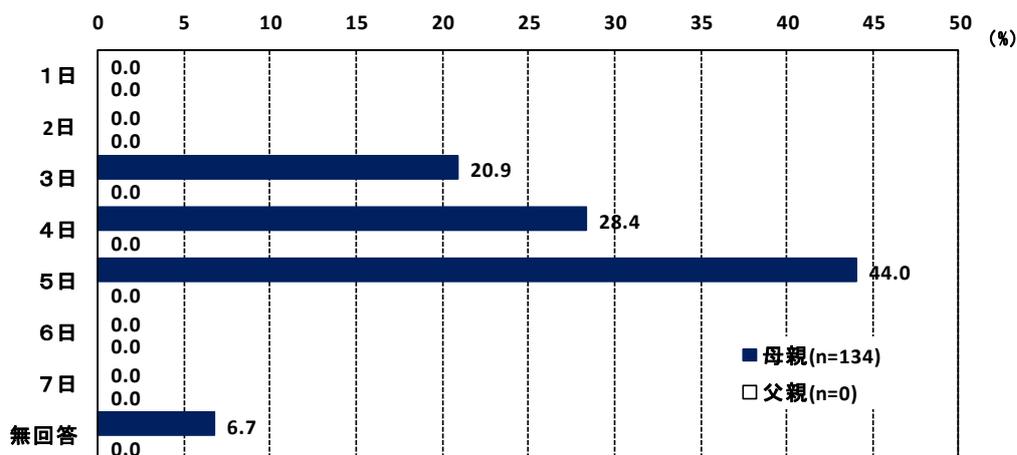
希望する母親の就労形態としては、「フルタイム」は 17.4%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等による就労」が 70.5%と圧倒的に高くなっています。また、母親のパートタイム、アルバイト等による1週当たり就労希望日数については、5日 が 44.0%で最も高く、次いで4日が28.4%、3日が20.9%と続いています。

問 9 で「5」または「6」に○をした方にお伺いします。

問 11(2). 希望する就労形態は何ですか。



【パートタイム、アルバイト等1週当たり就労希望日数】



4. お子さんの妊娠、出産時の状況

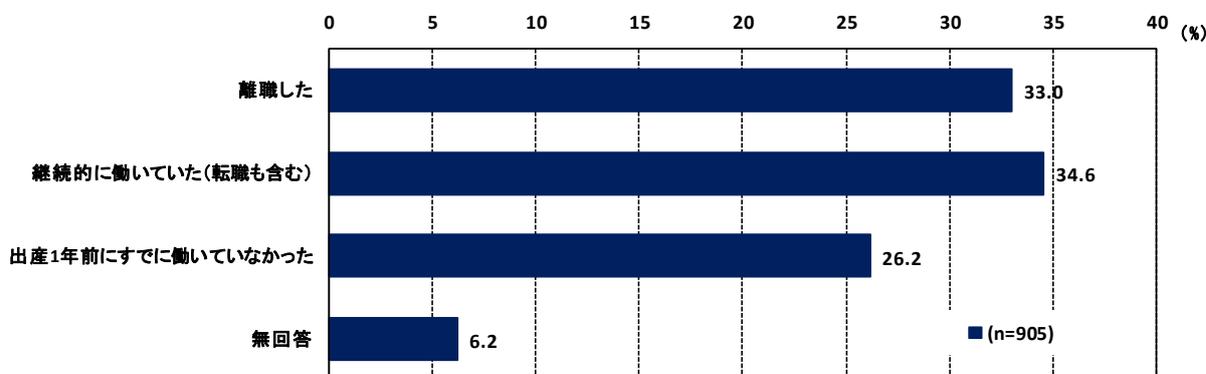
4-1. 出産前後の就労状況と就労継続のための環境

出産前後に離職した人が 33.0%、継続的に働いていた人が 34.6%とほぼ同数となっています。

一方、「両立支援制度が整い環境が整っていれば、継続して就労していた」が 31.8%、「いずれにしてもやめていた」が 34.8%となっています。出産と就労の継続については、それぞれの人の考え方がありますが、妊娠、出産をしても継続的に就労できる環境を整えることが重要です。

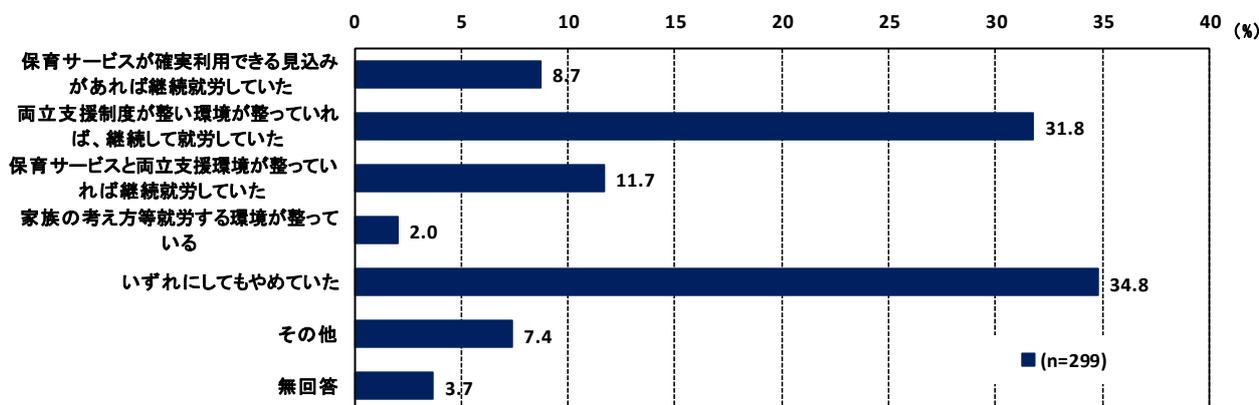
すべての方にうかがいます。

問 12. あて名のお子さんの出産前後(前後それぞれ1年以内)に離職をしましたか。(1つに○)



問 12 で「1」に○をした方にお伺いします。

問 12-1. どのような環境が整っていたら、就労を継続しましたか。(1つに○)



5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

5-1. 利用しているサービス

利用している保育サービスとしては、「公立または私立の保育所」が 31.5%で最も高く、ついで「幼稚園」の 21.4%、認定こども園の 16.7%と続き、それ以外はいずれも数%の利用率となっています。

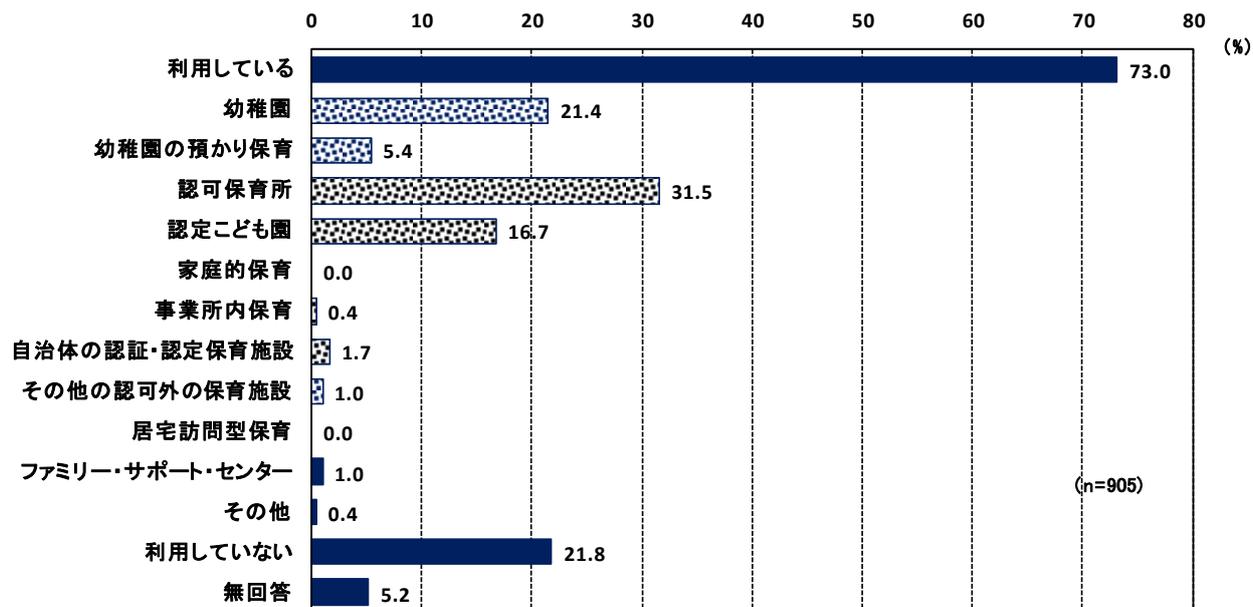
なお、「利用していない」が 21.8%となっています。

すべての方にうかがいます。

問 13. あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの平日の「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに○)

問 13 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 13-1. あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。また、それらの週あたりの利用日数、延長保育なども含めた 1 日あたりの利用時間、現在及び希望する利用時間帯を具体的にお答えください。



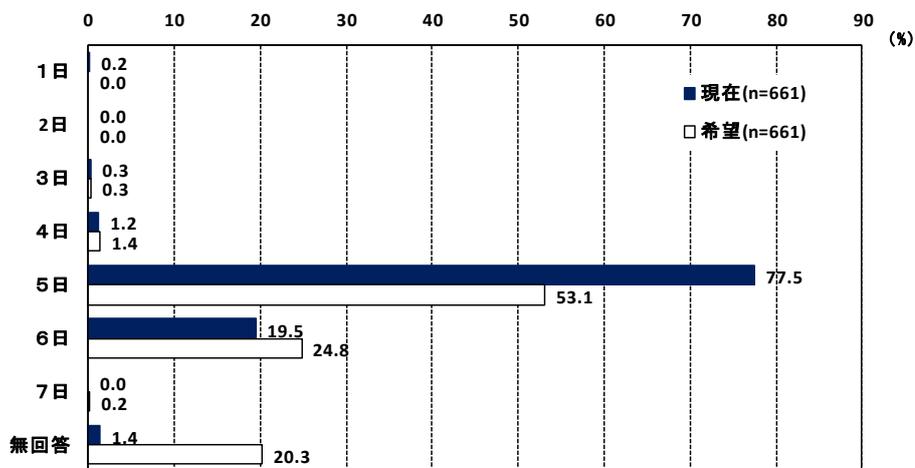
5-2. 保育サービスの利用日数

1 週当たりの利用日数は、現在は「5 日」が 77.5%、「6 日」が 19.5%と両方で大半を占めています。一方、1 週当たりの利用日数の希望は「5 日」が 53.1%、「6 日」が 24.8%となっており、「6 日」の利用希望がわずかに多くなっています。

問 13 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 13-2. 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【1 週当たり保育日数】

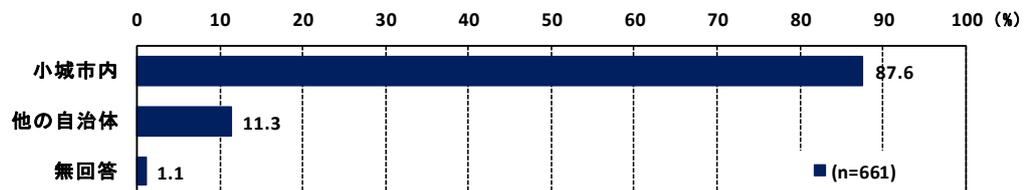


5-3. 教育・保育事業の実施場所

現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、小城市内が 87.6%で大半を占めています。

問 13 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 13-3. 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。(1つに○)

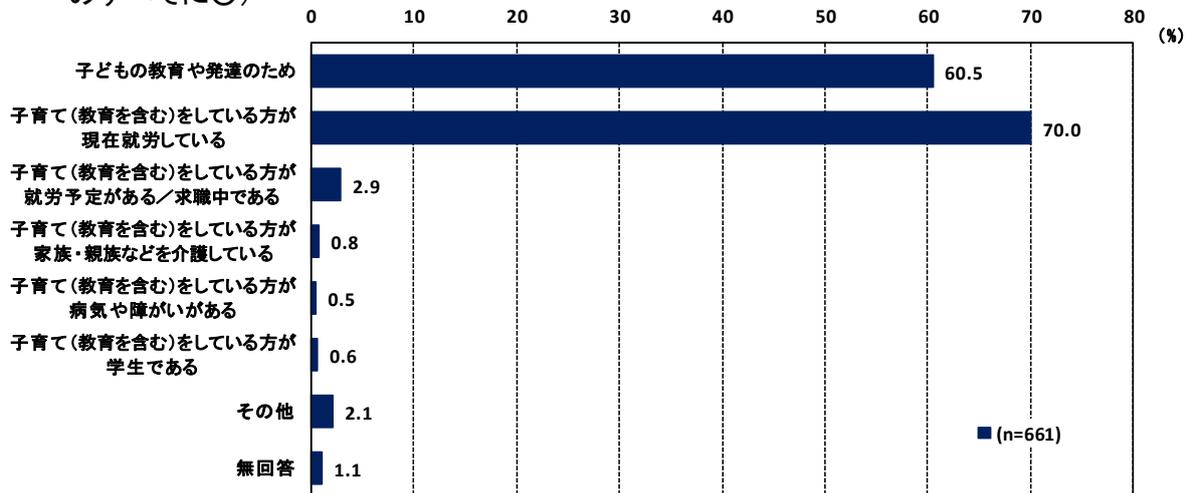


5-4. 利用している理由

保育サービスを利用している理由としては、「現在就労している」が70.0%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が60.5%と続いています。

問13で「1」に○をした方にうかがいます。

問13-4. 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。(あてはまるものすべてに○)

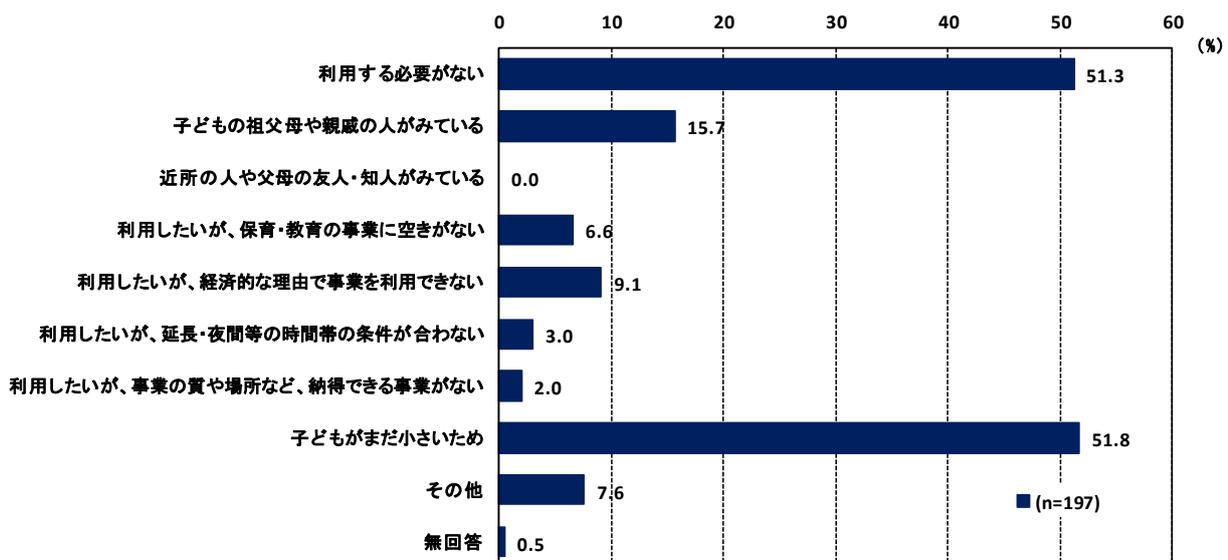


5-5. 利用していない理由

利用していない理由としては、「子どもがまだ小さいため」が51.8%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が51.3%で続いています。

問13で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問13-4. 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



6. 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

6-1. 今後利用したいサービスと場所

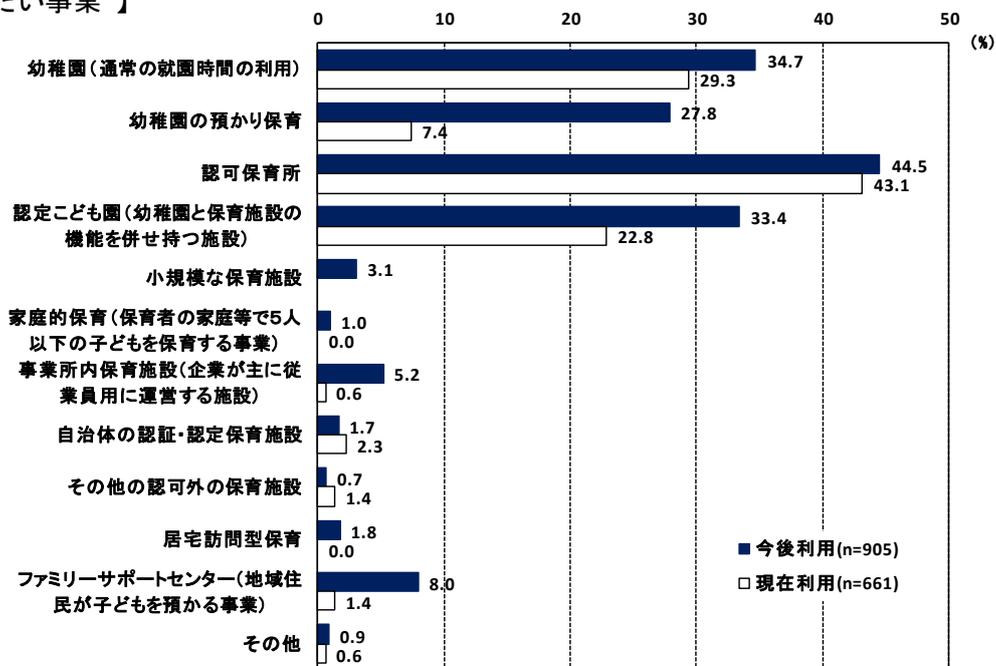
今後利用したい保育サービスをみると、「認可保育所」が 44.5%で最も高く、次いで、「幼稚園」が 34.7%、「認定こども園」が 33.4%、「預かり保育」27.8%と続いています。

また、利用したい場所は小城市内が 90.5%、その理由は「家に近いから」が 84.0%で大半を占めています。

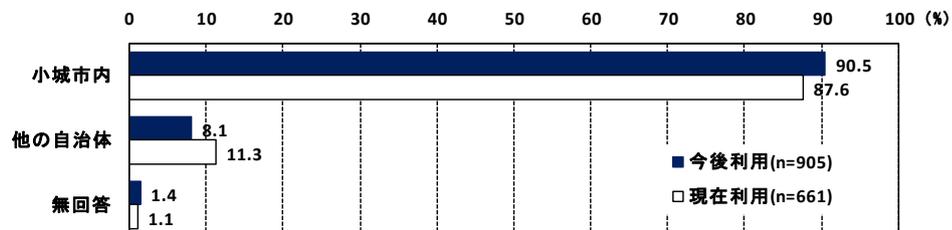
すべての方にうかがいます。

問 14. 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)。また、選択した事業について、利用したい場所と場所を選択した理由もそれぞれお答えください。

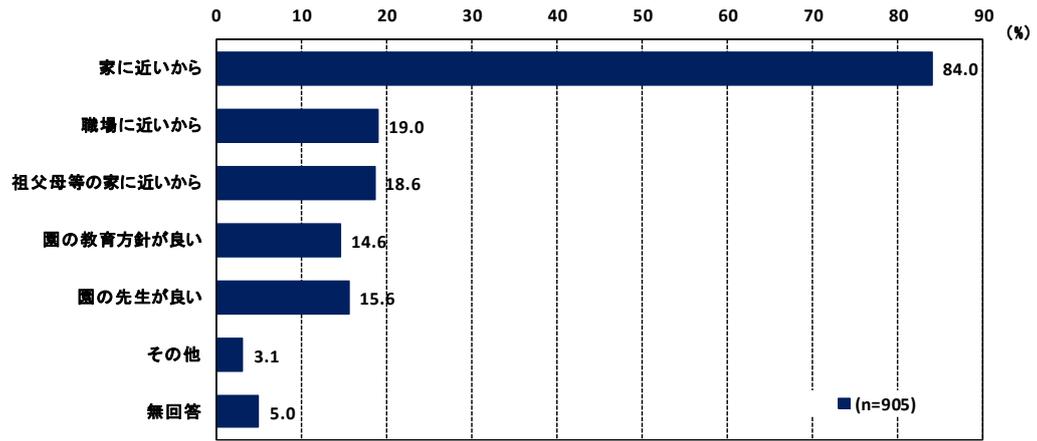
【 利用したい事業 】



【 利用したい場所 】



【 利用したい場所を選択した理由 】



7. 地域の子育て支援サービスの利用状況、認知状況

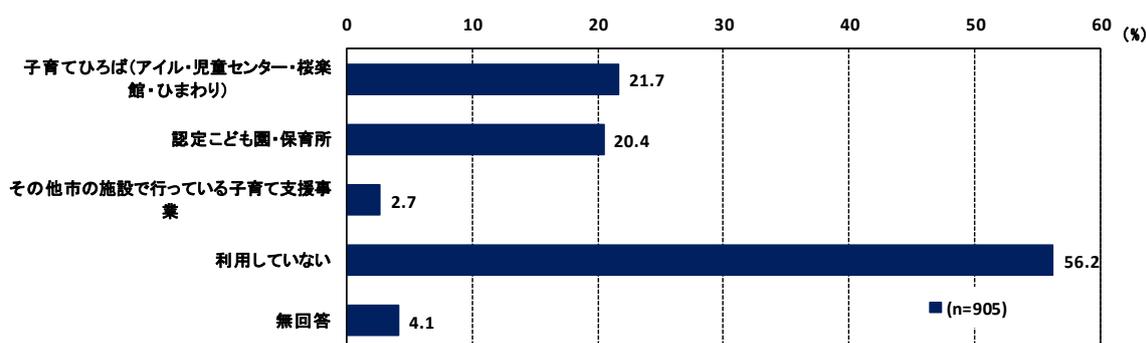
7-1. 地域子育て支援拠点事業の利用状況、利用希望

現在、利用している地域子育て拠点事業は、「子育てひろば（アイル・児童センター・桜楽館・ひまわり）」が 21.7%で最も高く、次いで、「認定こども園・保育所」が 20.4%と続いています。また、「利用していない」が 56.2%であり、利用促進が望まれます。

また、地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 56.4%で利用意欲が低い人が半数を超えている反面、「利用していないが、今後利用したい」が 39.3%で利用意欲が高い人が4割近くいます。

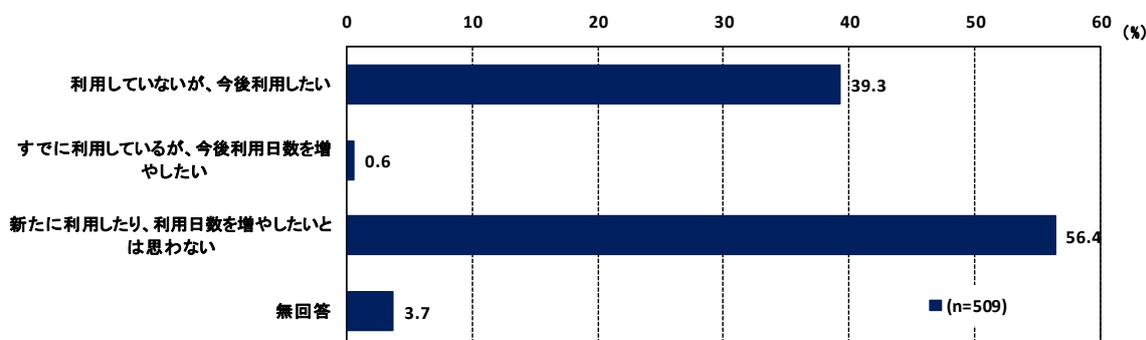
すべての方にうかがいます。

問 15. お子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。（あてはまるものすべてに○）



すべての方にうかがいます。

問 16. 問15のような地域子育て支援拠点事業について、現在は利用していないができれば今後利用したい、あるいは利用頻度を増やしたいと思いませんか。（1つに○）また、希望するおおよその利用回数（頻度）をお答えください。



7-2. 地域の子育て支援サービスの認知状況、利用状況、利用希望

【認知度】

各種の子育て支援サービスの認知状況としては、「⑥地域子育て支援拠点事業（子育てひろば アイル、児童センター、桜楽館、ひまわり）」(84.9%)「②育児相談（保健福祉センターの情報相談サービス）」(83.0%)が 8 割以上の認知率と目立って高くなっています。以下「⑧児童センター」(75.9%)「⑨市が発行している子育て情報（子育てガイドブック等）」の71.9%となっています。一方、「⑩家庭教育に関する講座・講演」の認知率は 39.2%と低率となっています。

【利用状況】

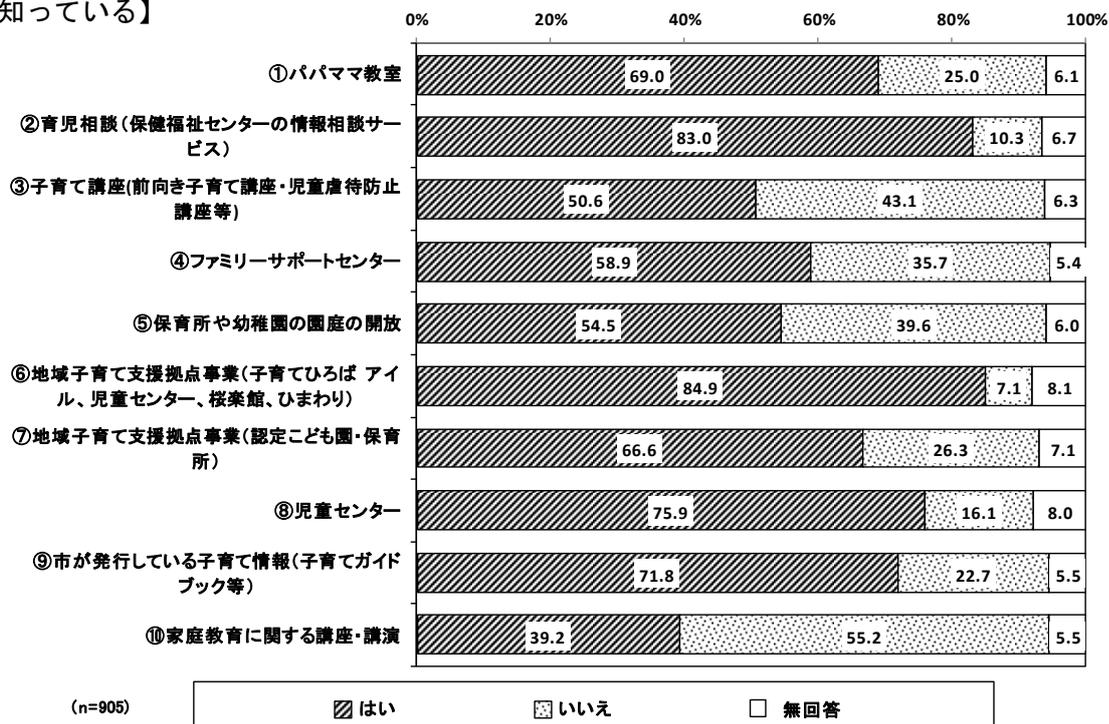
利用経験としては、「⑥地域子育て支援拠点事業（子育てひろば アイル、児童センター、桜楽館、ひまわり）」が 60.0%と目立って高い利用率となっていますが、その後は半分以下で、中でも「③子育て講座（前向き子育て講座・児童虐待防止講座等）」が 9.5%「⑩家庭教育に関する講座・講演」が 9.6%、「④ファミリーサポートセンター」が 10.9%、「①パパママ教室」が 20.1%、「⑤保育所や幼稚園の園庭の開放」が 23.9%、「⑦地域子育て支援拠点事業（認定こども園・保育所）」が 27.8%と低い利用率となっています。

【利用希望】

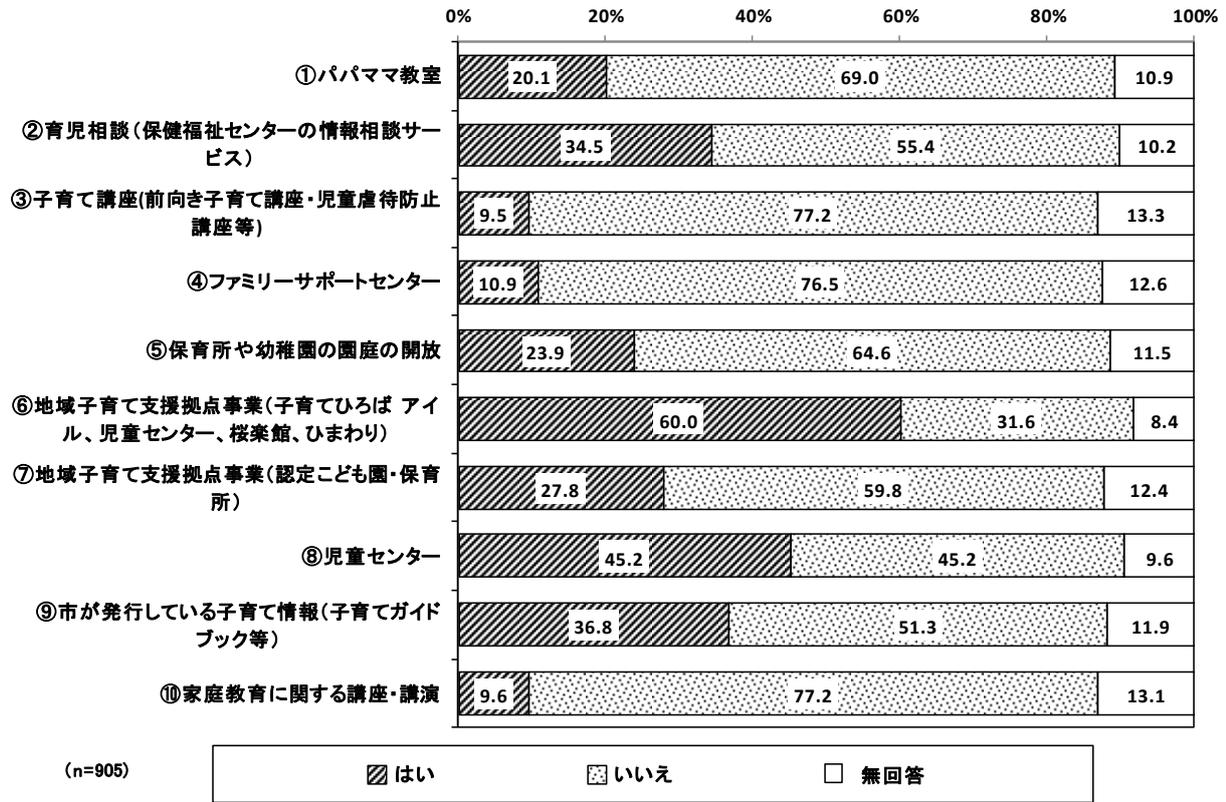
今後の利用意向としては、「⑥地域子育て支援拠点事業（子育てひろば アイル、児童センター、桜楽館、ひまわり）」が 62.3%、「⑧児童センター」が 59.7%、「⑨市が発行している子育て情報（子育てガイドブック等）」が 58.8%、「⑤保育所や幼稚園の園庭の開放」が 50.3%と高い利用率となっていますが、その後は半分以下で、中でも「①パパママ教室」が 21.3%、「④ファミリーサポートセンター」が 36.7%、「③子育て講座（前向き子育て講座・児童虐待防止講座等）」が 38.6%と低い利用希望率となっています。

問 17. 下記の①～⑩のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。（サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○）

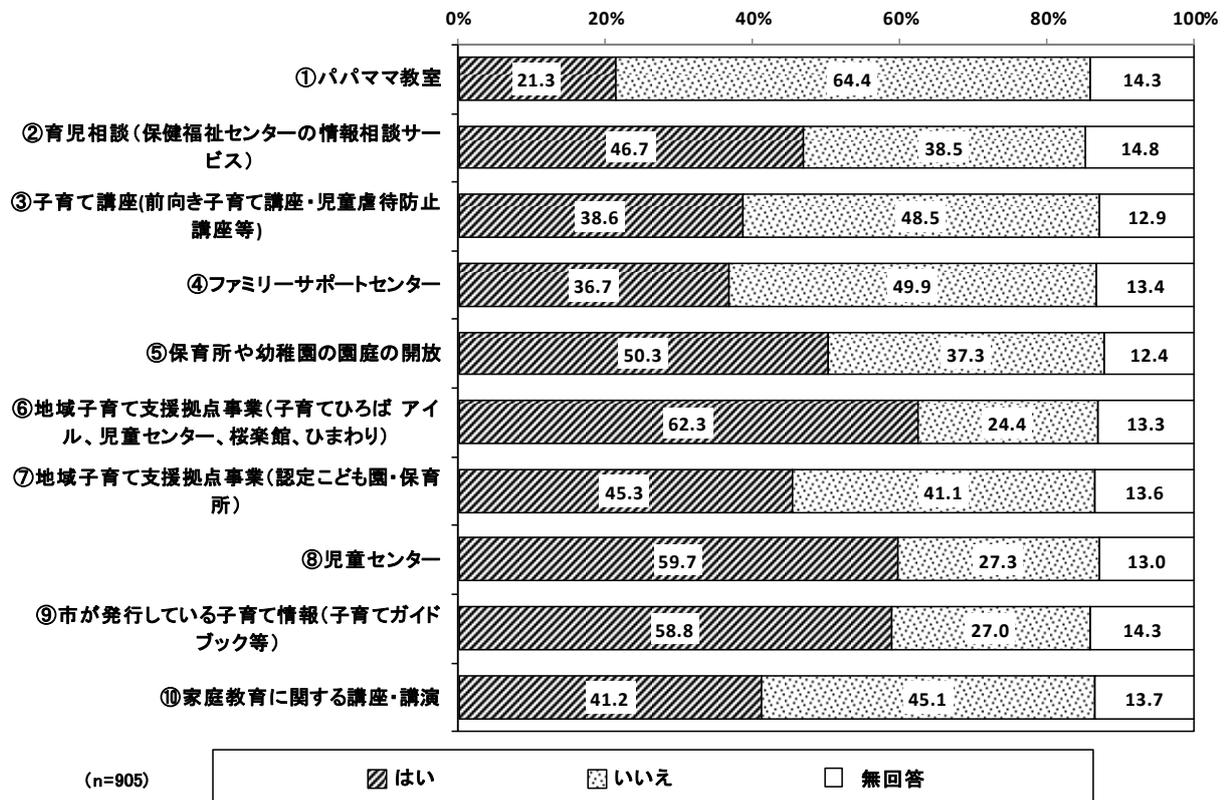
【知っている】



【利用したことがある】



【今後利用したい】



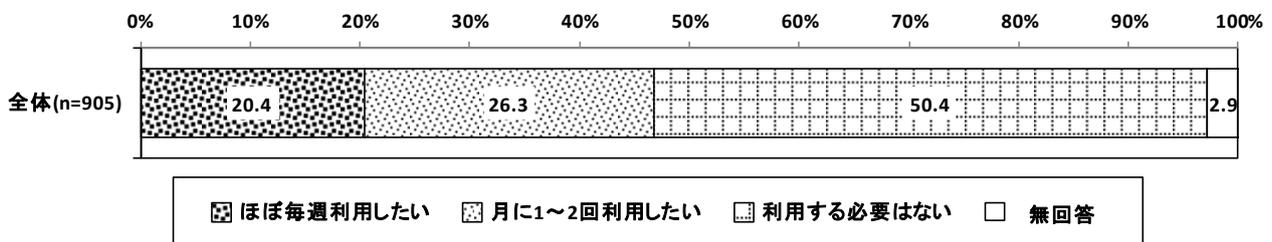
8. 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜日・日曜日の保育サービス利用意向についてみると、土曜日では「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせ 46.7%と約 5 割となっていますが、日曜日では 19.4%とかなり低くなっています。

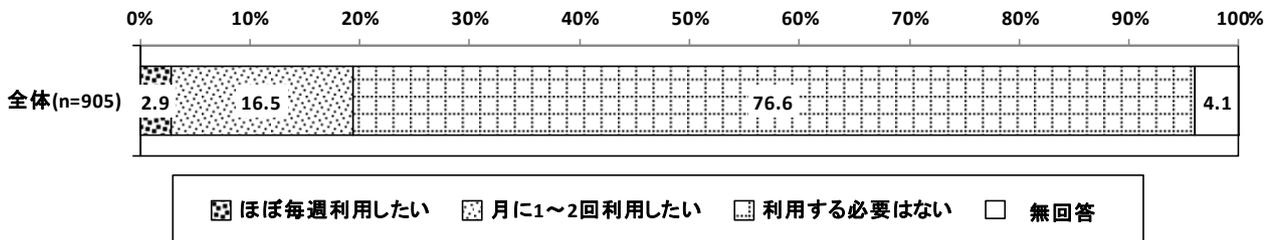
一方、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の保育サービス利用意向についてみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と「休みの期間中、週に数日利用したい」を合わせ 61.3%と約 6 割となっています。

問 18. あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。

(1) 土曜日

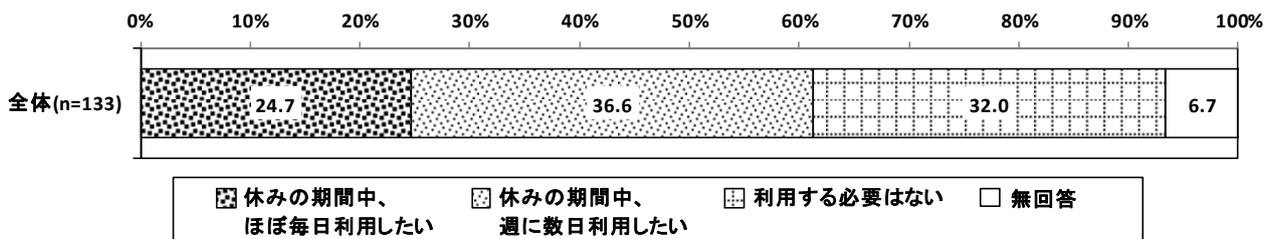


(2) 日曜日・祝日



現在、幼稚園を利用している方にうかがいます。利用していない方は、問 20 にお進みください。

問 19. あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。



9. 病児・病後児保育について

9-1. 過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験についてみると、「あった」が68.2%と7割近くを占めています。

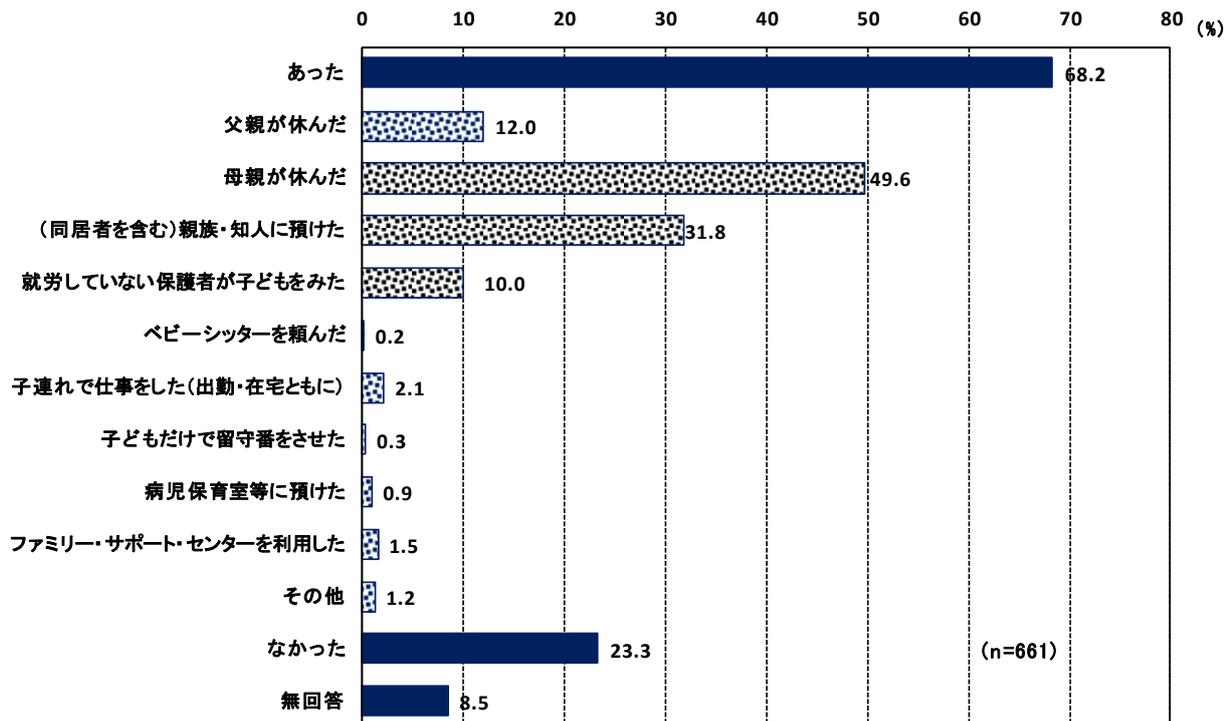
その対処方法としては、「母親が休んだ」が49.6%と5割近くを占めています。次いで、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が31.8%、「父親が休んだ」が12.0%となっています。

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方(問13で「1」に○をつけた方)にうかがいます。

問20. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。
(1つに○)

問20で「1」に○をした方にうかがいます。

問20-1. あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。



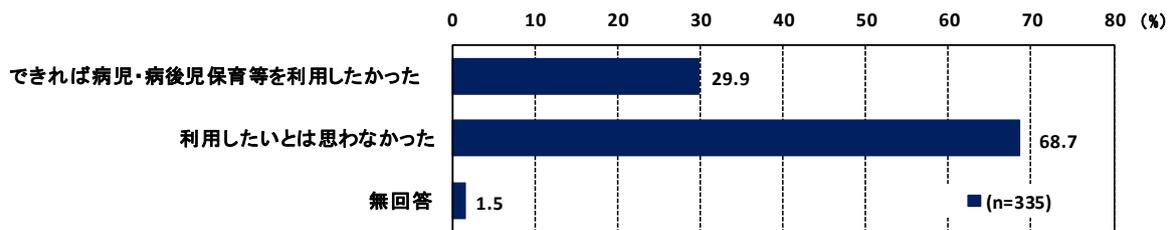
9-2. 病児・病後児保育の利用希望

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したかった」が 29.9%に対して、「利用したいとは思わなかった」が 68.7%で、病児・病後児保育の利用を希望しない人が 7 割近くを占めています。

病児・病後児保育の事業形態については、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 72.0%、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が 63.0%で 6 割～7 割を占めています。

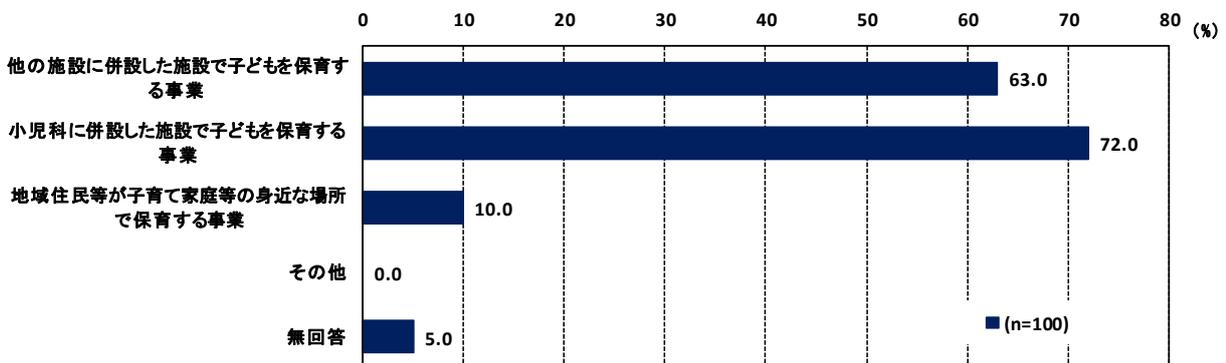
問 20-1 で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問 20-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。



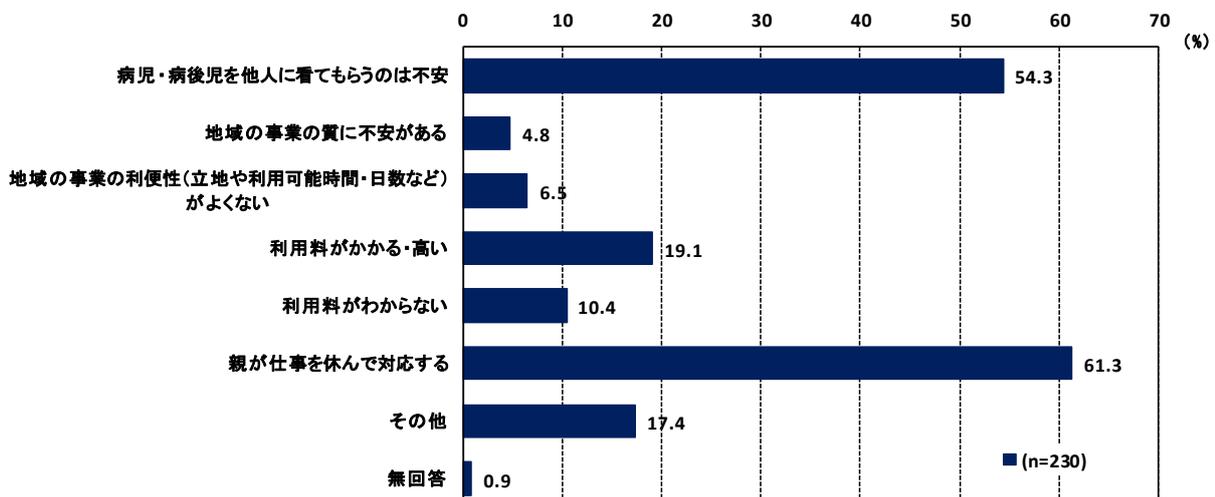
問 20-2 で「1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった」に○をした方にうかがいます。

問 20-3. 問 20-2 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



問 20-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をした方にうかがいます。

問 20-4. そう思う理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



10. 一時預かりについて

10-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

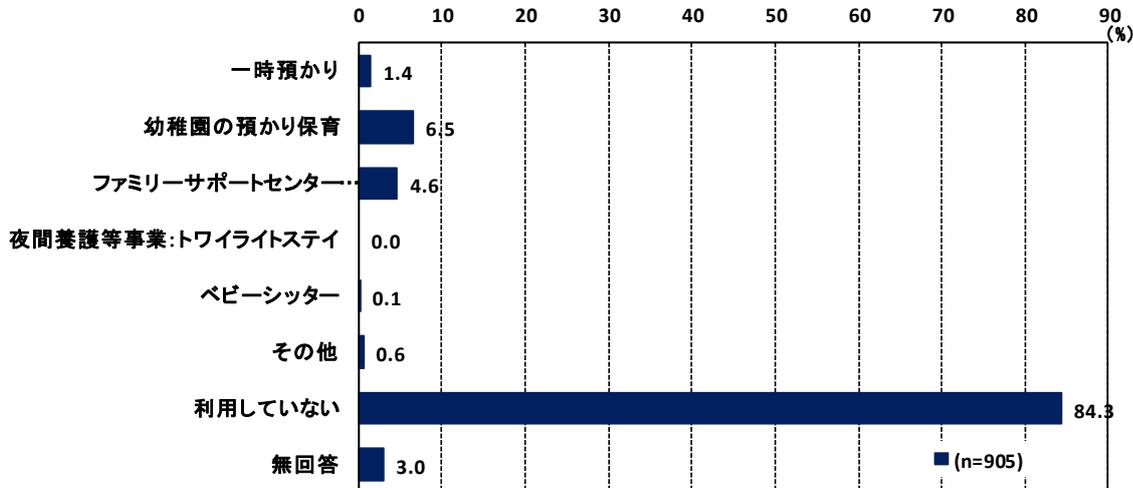
この1年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業についてみると、「利用していない」が84.3%で大半を占めており、一方、利用した事業は「幼稚園の預かり保育」が6.5%、「ファミリーサポートセンター」が4.6%、「一時預かり」が1.4%などとなっています。

利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」が79.2%で大半を占めており、「利用料がかかる・高い」が14.2%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が12.6%と続いています。

お子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思うかについては、「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が63.7%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が38.9%、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が29.4%と続いています。

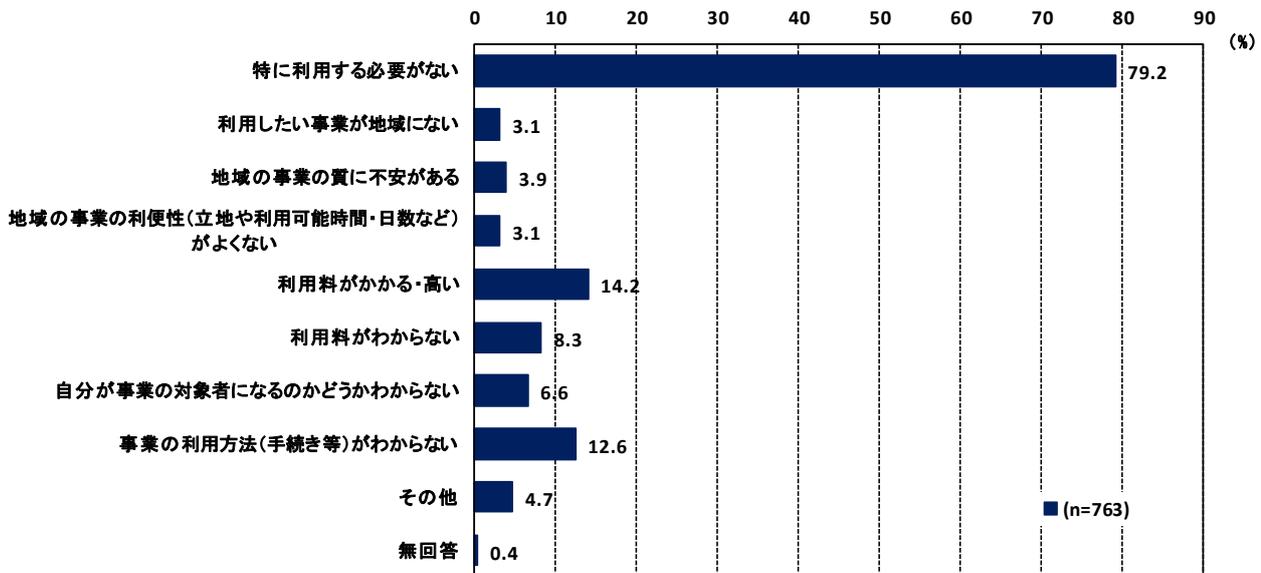
すべての方にうかがいます。

問 21. あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)もお答えください。



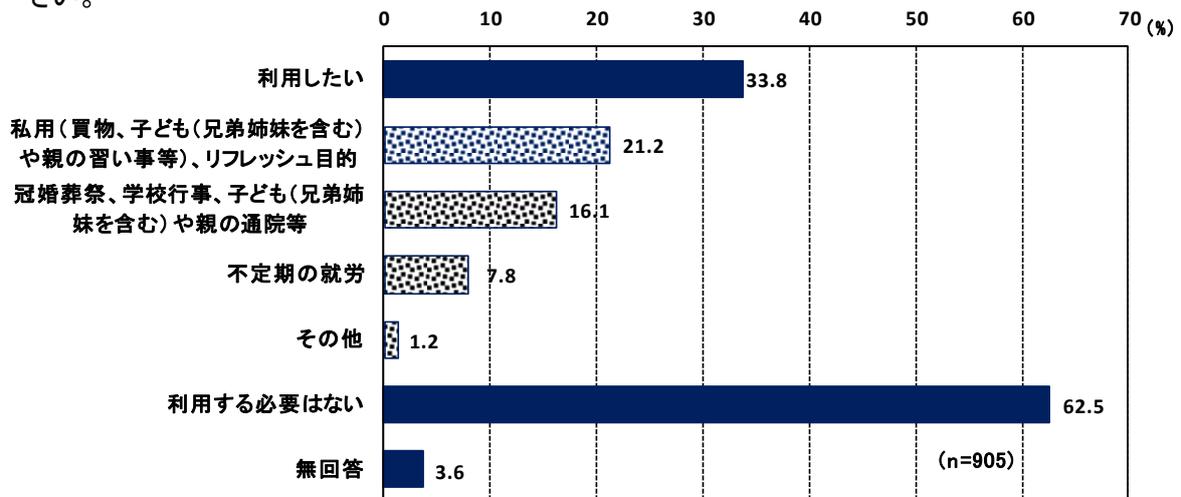
問 21 で「7」に○をした方にうかがいます。

問 21-1. 現在利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



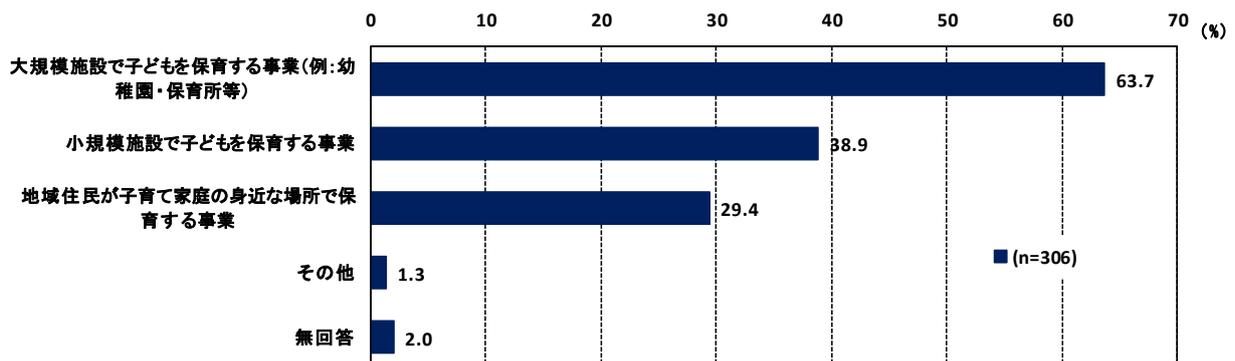
すべての方にうかがいます。

問 22. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。あてはまるものに○をつけてください。併せて必要な日数もお答えください。



問 22 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 22-1. 問 22 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



10-2. 宿泊を伴う一時預かりについて

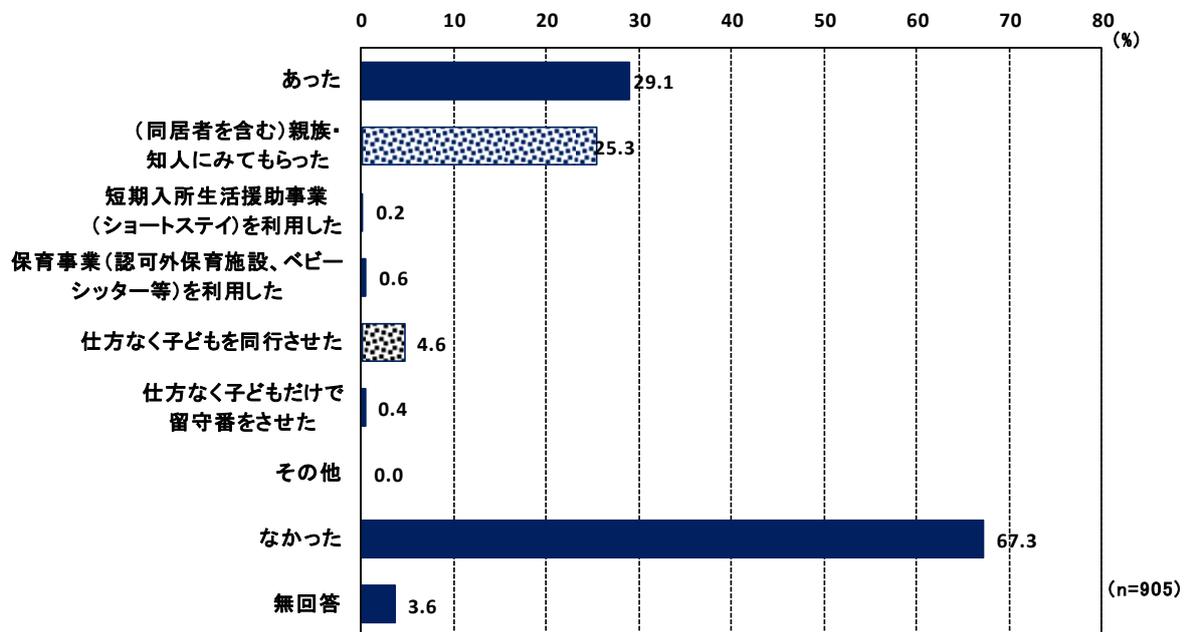
この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならない経験についてみると、「あった」は29.1%です。

その対処方法としては、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が25.3%と最も高くなっています。

また、親族・知人に預けた場合の困難度としては、「非常」「どちらか」を含め困難が43.7%、に対し、「特に困難ではない」が51.0%と半数を超えています。

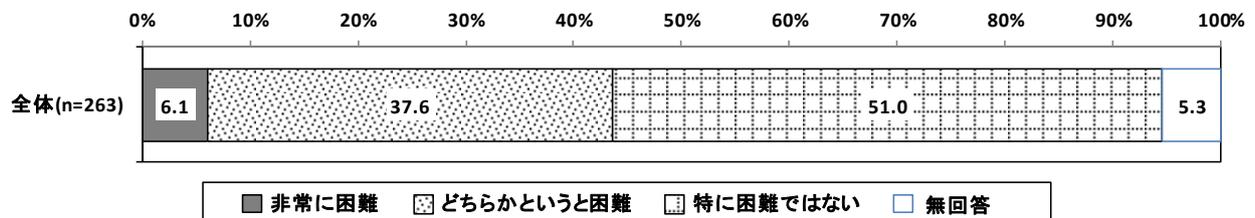
すべての方にうかがいます。

問 23. この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。



問 23 で「1. あった◆(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をした方にうかがいます。

問 23-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。(一つに○)



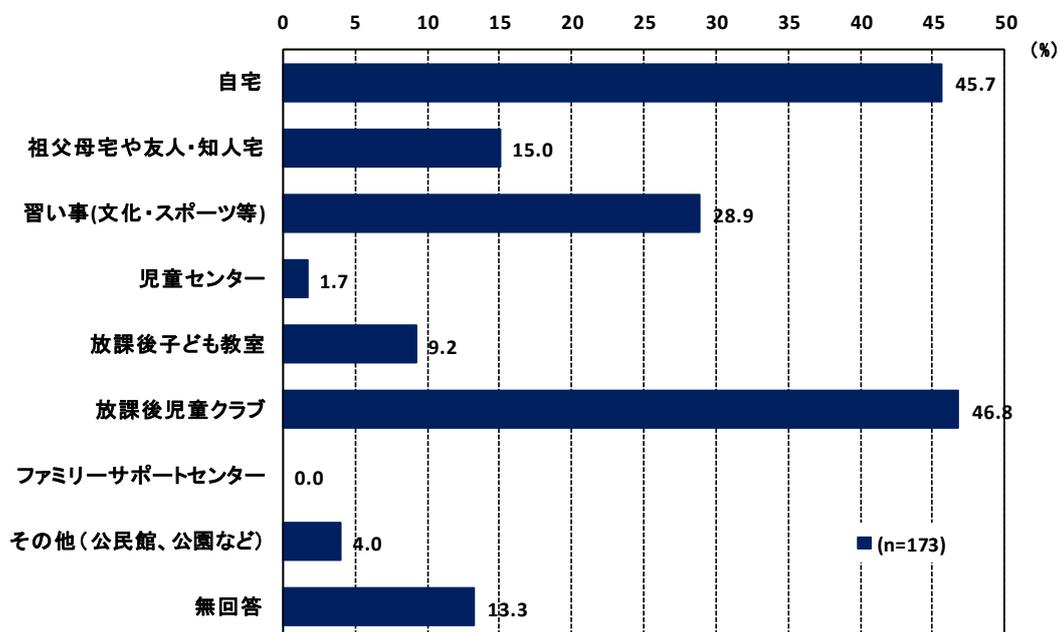
11. 放課後児童クラブについて

11-1. 平日の放課後の過ごし方(低学年の時)

小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「放課後児童クラブ」が 46.8%と最も高く、次いで「自宅」が 45.7%、「習い事(文化・スポーツ等)」が 28.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 15.0%と続いています。

あて名のお子さんの年齢が5歳以上の方のうかがいます。該当しない方は、問 27 へお進みください。

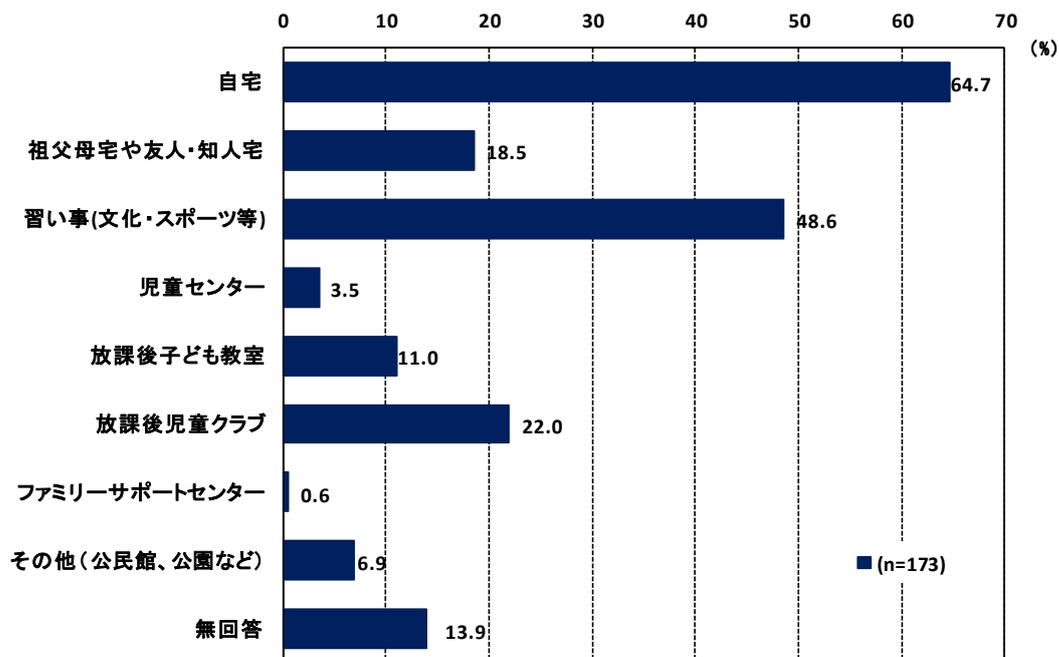
問 24. あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



1 1-2. 平日の放課後の過ごし方(高学年の時)

小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「自宅」が64.7%と最も高く、次いで「習い事(文化・スポーツ等)」が48.6%、「放課後児童クラブ」が22.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が18.5%と続いています。

問 25. あて名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



1 1-3. 放課後児童クラブの利用意向

土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望については、土曜日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 29.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 32.4%となっており、反面、「利用する必要はない」が 35.1%となっています。

日曜日・祝日では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 8.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 13.5%となっており、反面、「利用する必要はない」が 78.4%と大半を占めています。

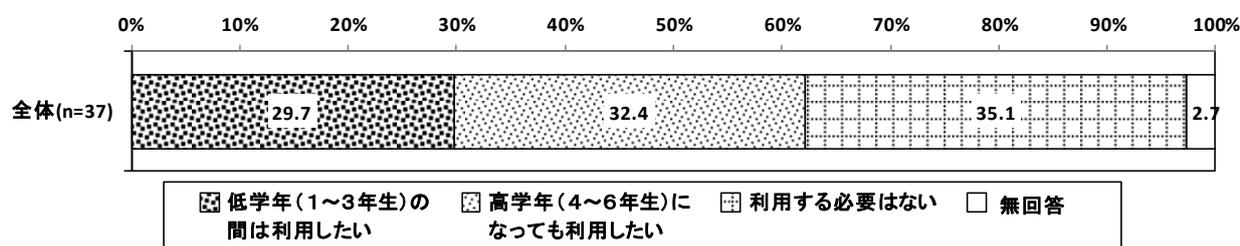
夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中では「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 35.1%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 51.4%となっており、反面、「利用する必要はない」が 8.1%となっています。

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望が多く、日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望は少なくなっています。

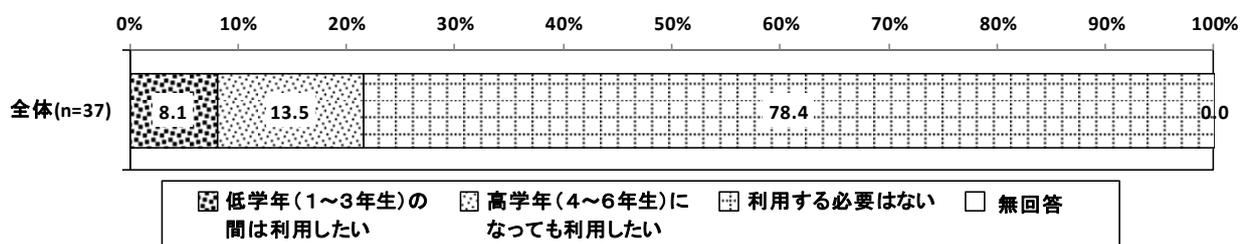
問 24 または問 25 で「6. 放課後児童クラブ」に○をした方にうかがいます。希望しない方は、問 27 にお進みください。

問 26. あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1つに○）

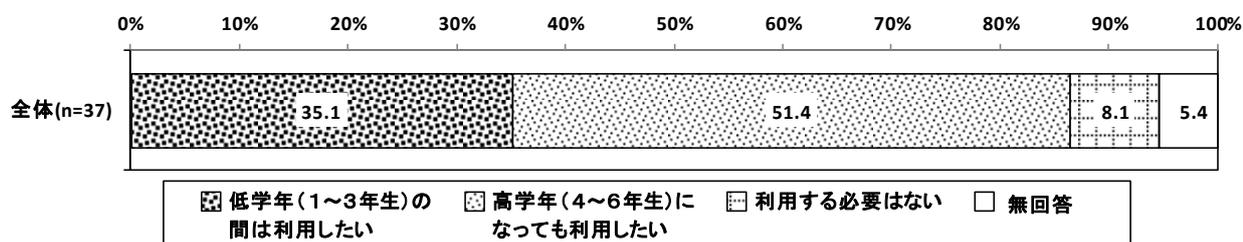
(1) 土曜日



(2) 日曜日・祝日



(3) 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中



12. 育児休業制度等の利用状況

12-1. 育児休業制度の利用

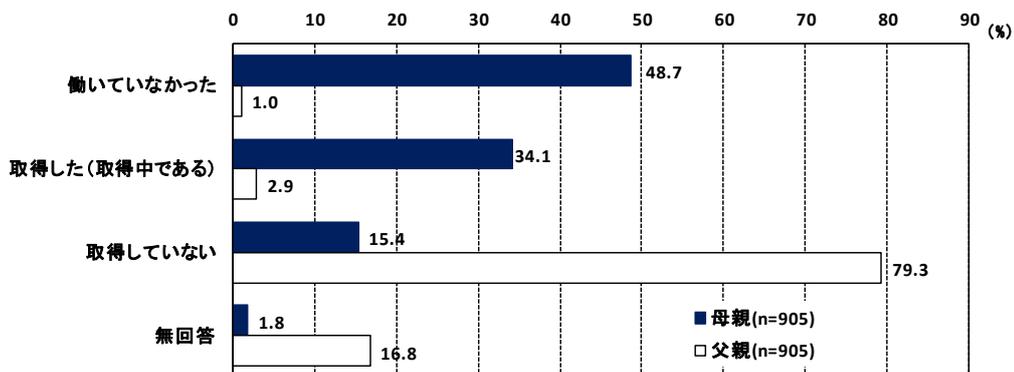
アンケート対象となった子どもが生まれた時の母親又は父親の育児休業制度の利用経験をみると、母親では「働いていなかった」が48.7%で最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が34.1%、「取得していない」が15.4%の順になっています。一方、父親では「働いていない」が79.3%で大半を占めています。

取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」などが高く、父親では「仕事が忙しかった」、「配偶者無職、祖父母の親族にみてもらえる等制度利用する必要ない」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」などが高くなっています。また、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」は母親と父親ともに高くなっています。

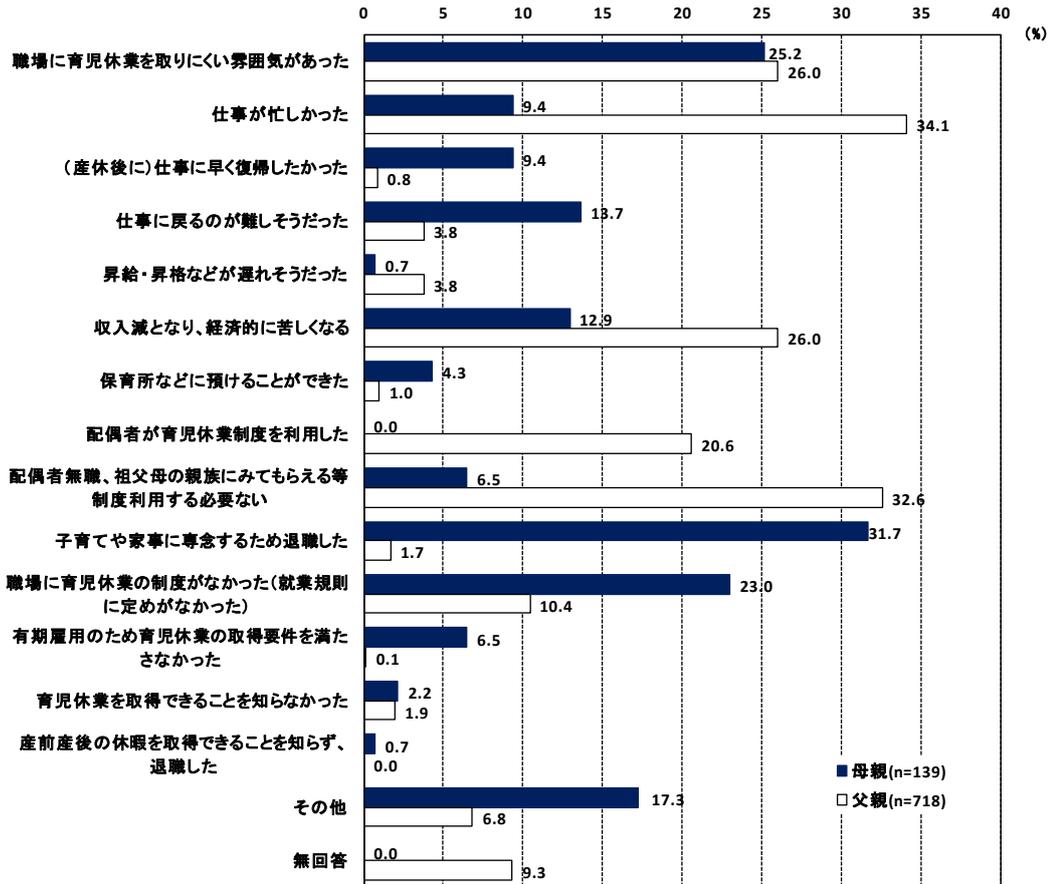
育児休業給付が支給される仕組みや健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が32.7%であったのに対し、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が33.5%となっており、制度の仕組みについての情報を周知する必要があります。

すべての方にうかがいます。

問 27. あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(①母親、②父親ごと1つに○)

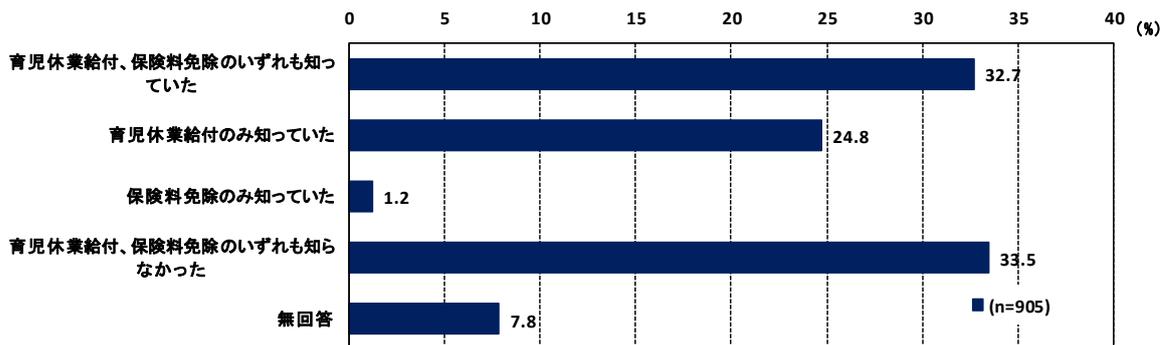


【取得していない理由】



すべての方にうかがいます。

問 27-1. 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(1つに○)



1 2-2. 母親の育児休業取得後の対応等

育児休業取得後、職場に復帰したかについては、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 71.2%で最も高いものの、「育児休業中に離職した」が 7.1%となっており、職場復帰できる環境整備が望まれます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングだったかについては、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 29.1%であったのに対し、「それ以外だった」が 67.7%となっています。

希望より早く復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 44.8%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 33.1%と続いています。なお、希望より遅く復帰したと回答した人は 3 人と少人数でした。

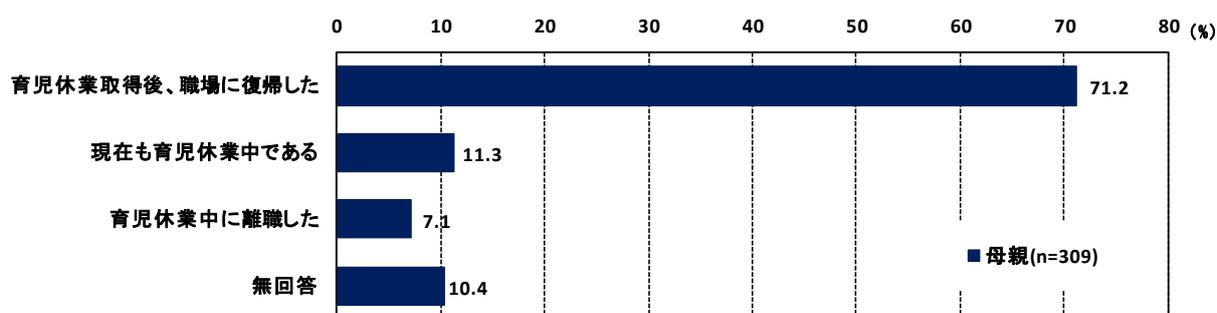
育児休業からの職場復帰時に短時間勤務制度を利用したかについては、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 50.9%で最も高く、次いで「利用する必要がなかった」が 23.6%、「利用した」が 21.4%と続いています。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 65.2%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が 47.3%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が 26.8%と続いております。職場の理解が必要であることがうかがえます。

お子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」が 88.6%と大半を占めており、お子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業が多くの人から望まれています。

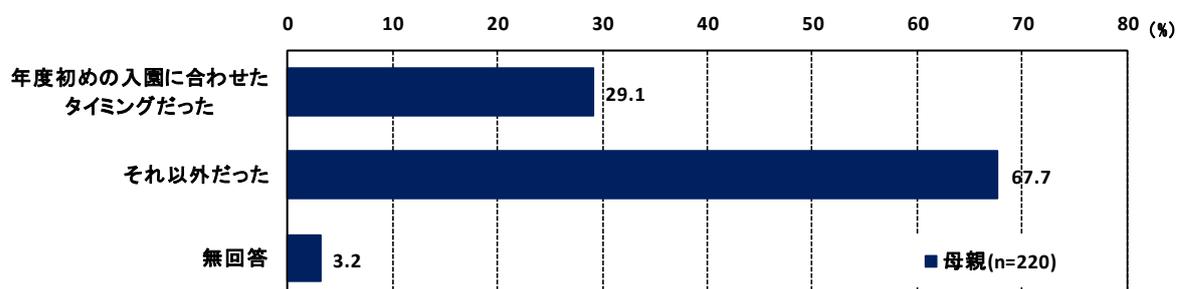
問 27 で母親が「2. 取得した（取得中である）」に○をした方にうかがいます。問 27-3～問 27-9 までをお答えください。該当しない方は、問 28 へお進みください。

問 27-2. 【母親】育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つに○）



問 27-2 で「1」に○をした方にうかがいます。

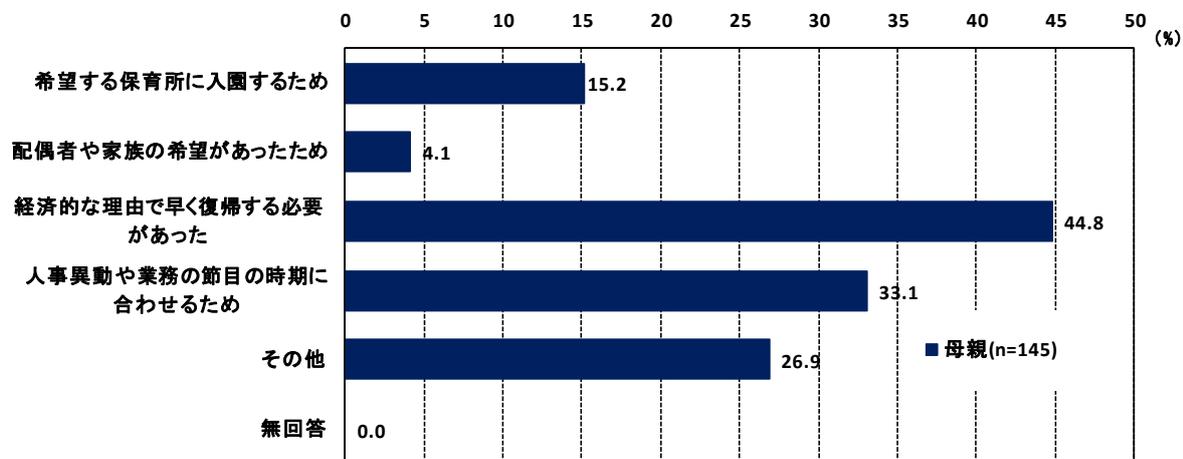
問 27-3. 【母親】育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（1つに○）



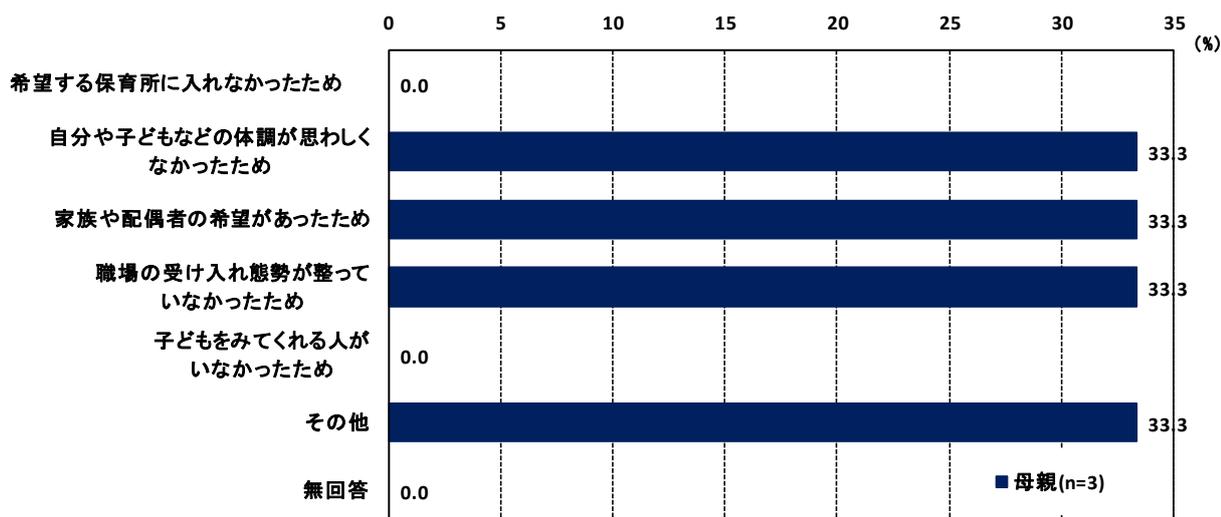
問 27-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 27-6. 【母親】希望の時期に職場復帰しなかった理由はなんですか。

(1) 希望より早く復帰した方(あてはまるものすべてに○)



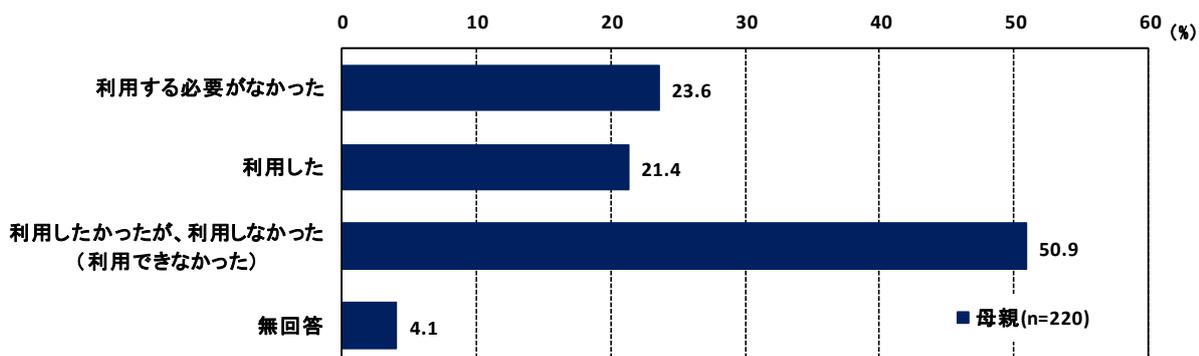
(2) 希望より遅く復帰した方(あてはまるものすべてに○)



※育児休業取得後、職場に復帰した 220 人のうち、4 人に回答をいただいている。ほとんどの人が希望より遅く復帰していないと考えられる。

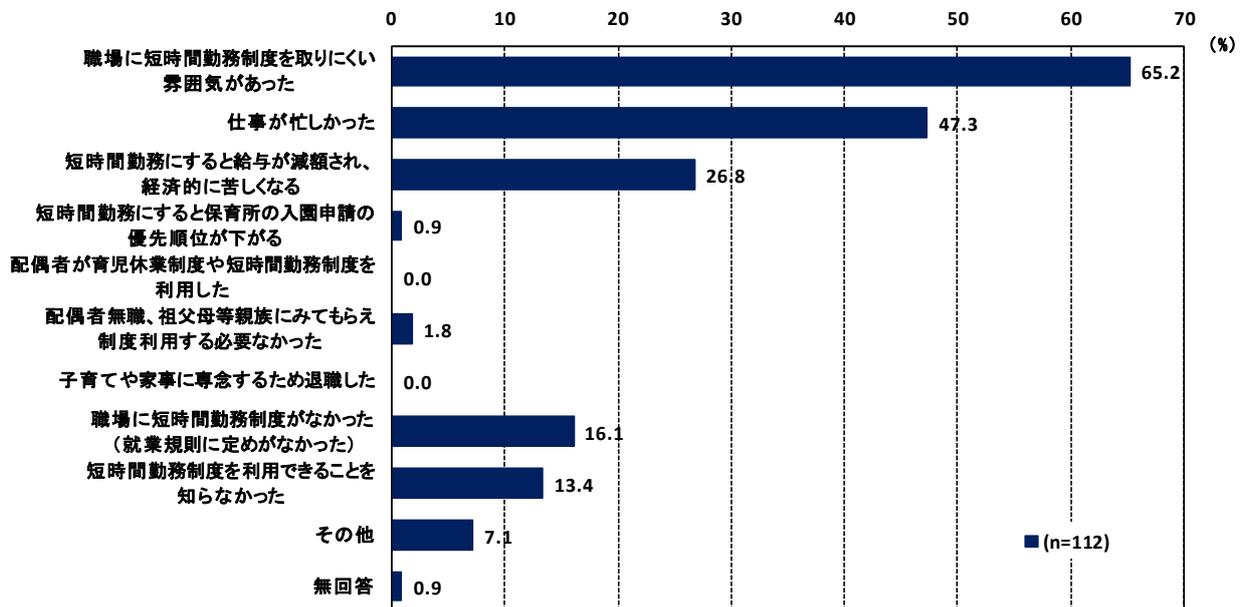
問 27-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 27-7. 【母親】育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)



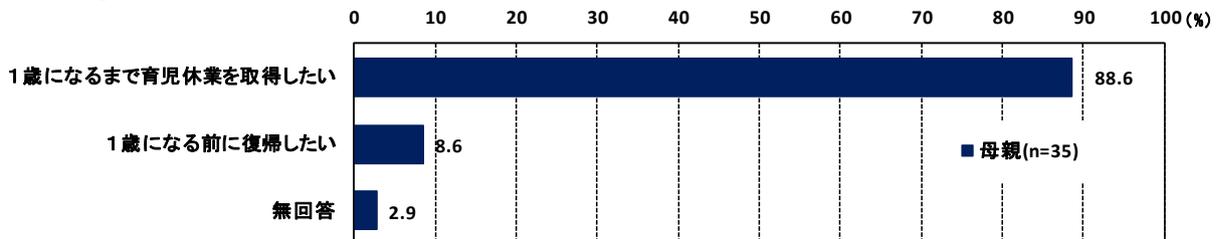
問 27-7 で「3」に○をした方にうかがいます。

問 27-8. 【母親】短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



問 27-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をした方にうかがいます。

問 27-9. 【母親】あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)



13. 地域の子育て事業について

13-1. ファミリーサポートセンター及び児童センター

ファミリーサポートセンターの子どもを預かる会員としての登録意向については、「登録したい」と「条件があれば登録したい」を合わせると 52.2%を占めている反面、「あまりしたくない」と「したくない」を合わせると 44.9%なっています。ファミリーサポートセンターの意義をご理解いただく努力をする必要があります。

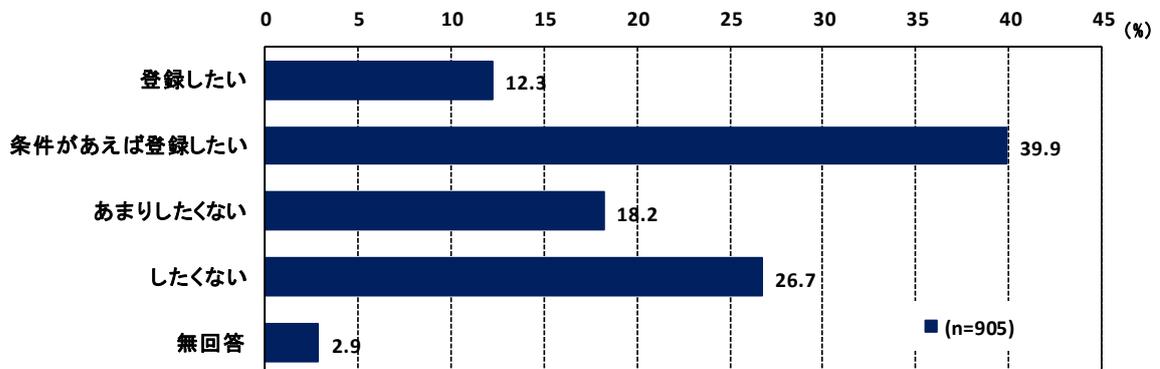
児童センターの利用については、「利用したことがある」が 49.5%を占めている反面、「利用したことがない」が 41.5%となっています。

児童センターの今後のサービスに対する意向については、「遊びを通して、子ども同士のかかわりができること」が 47.1%で最も高く、次いで「子どもの年齢にあったおもちゃがあり、遊びの指導が受けられる」が 27.7%、「子育ての情報を得ることができること」が 26.6%、「子育ての相談ができ、解決のための援助をしてもらえること」が 22.6%、「保護者同士がつどい、交流ができること」が 22.1%と続いています。

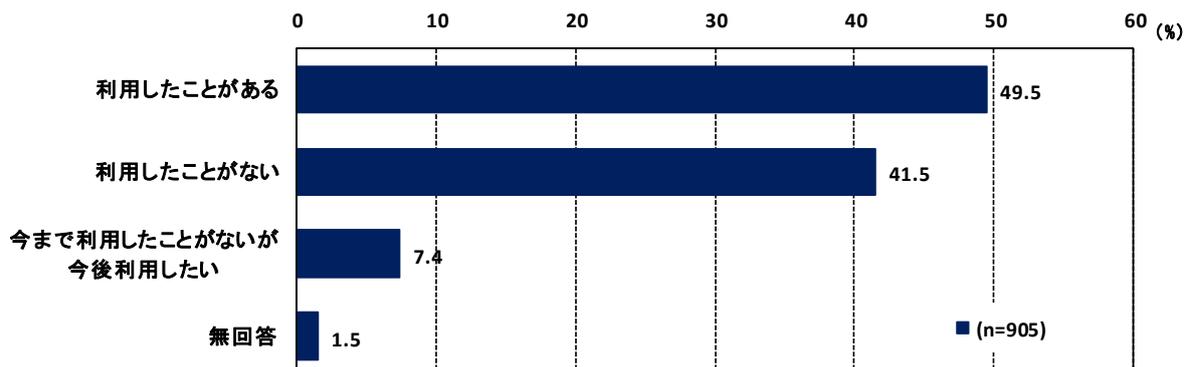
ファミリーサポートセンターや児童センターの活動やサービスをご理解いただくことに努める必要があります。

すべての方にうかがいます。

問 28. あなたは、ファミリーサポートセンターの子どもを預かる会員として登録して参加してみたいと思いますか。(1つに○)

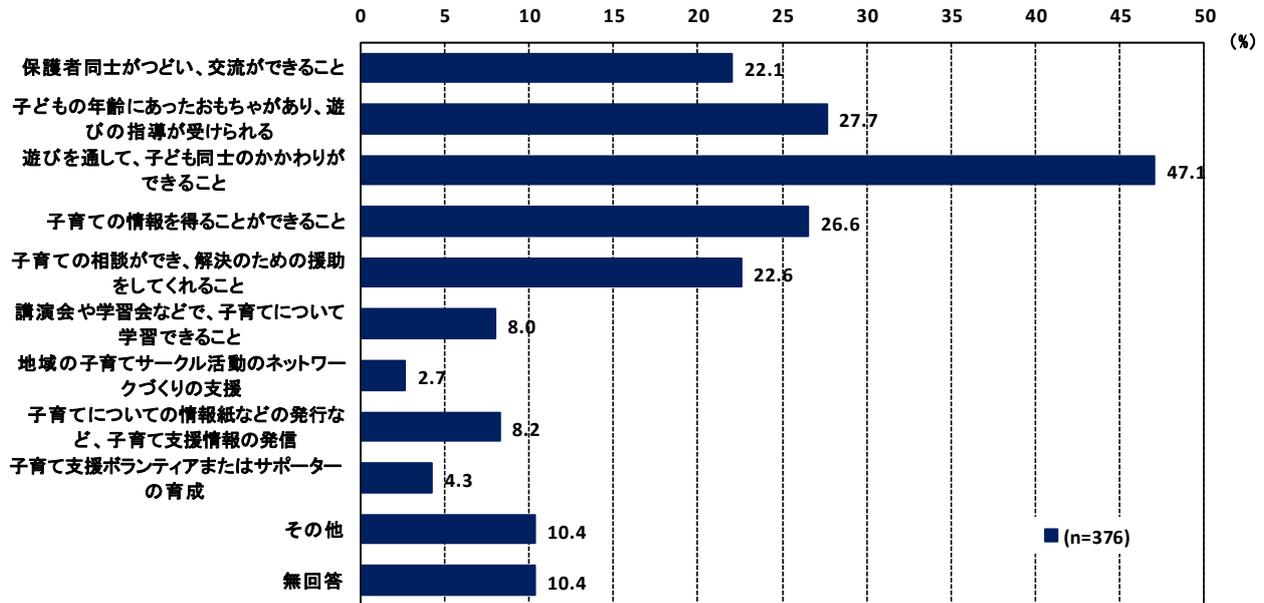


問 28-1. 小城市には、児童センターがありますが、あなたはそこを利用したことがありますか。



問 28-1 で「2 利用したことがない」と回答した方にうかがいます。

問 28-2. 今後どんなサービスがあれば利用したいと思いますか。(3つまで○)



1 3-2. 乳幼児健診

乳幼児健診の満足度については、「ほぼ満足している」が 75.8%を占めている反面、「不満がある」が 17.2%、「健診を受けていない」が 3.6%となっています。

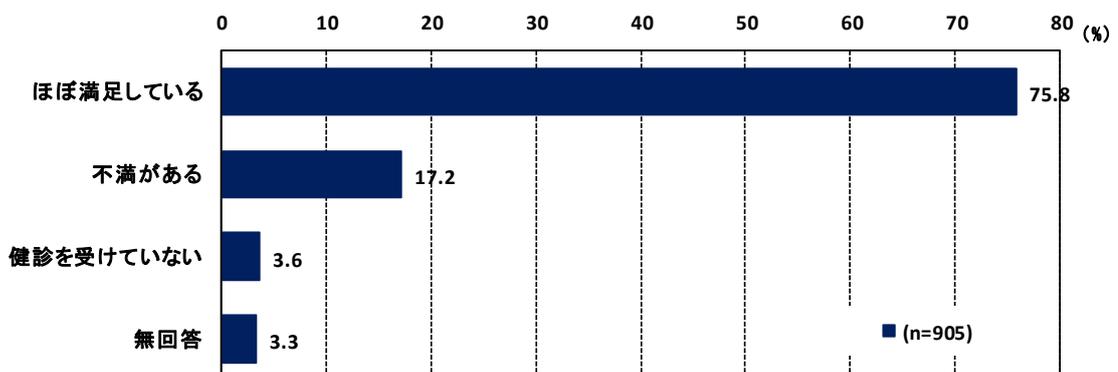
乳幼児健診の方法に対する希望については、「健診のスタッフを増やして、待ち時間を少なくしてほしい」が 46.7%で最も高く、次いで「3歳6ヶ月児と就学時健診までの間に健診をしてほしい」が 43.1%、「かかりつけの病院で健診を受けられるようにしてほしい」が 35.1%、「健診の間、きょうだい児の託児をしてほしい」が 26.4%と続いています。

乳幼児健診の意義をご理解いただく努力をする必要があります。

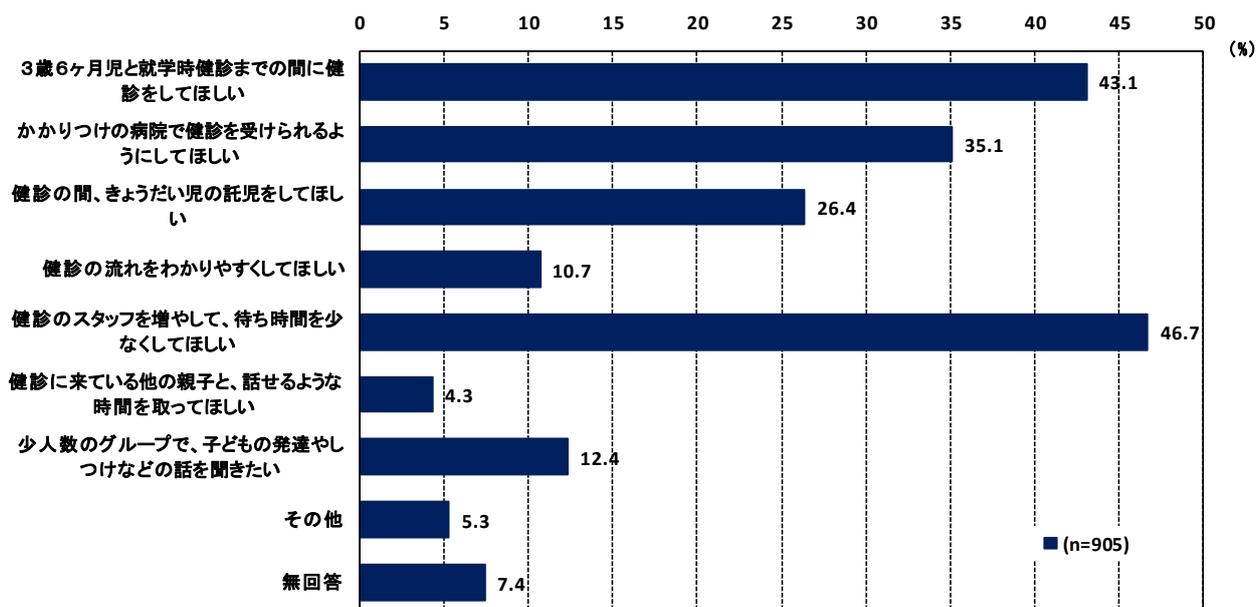
すべての方にうかがいます。

問 29. 小城市で実施している乳幼児健診(3ヶ月児健診、6ヶ月児健診、9ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診、3歳6ヶ月児健診)について、うかがいます。

(1) 満足度はどの程度ですか。(1つに○)



(2) 今後の乳幼児健診の方法について、希望するものを選んでください。(3つまで○)



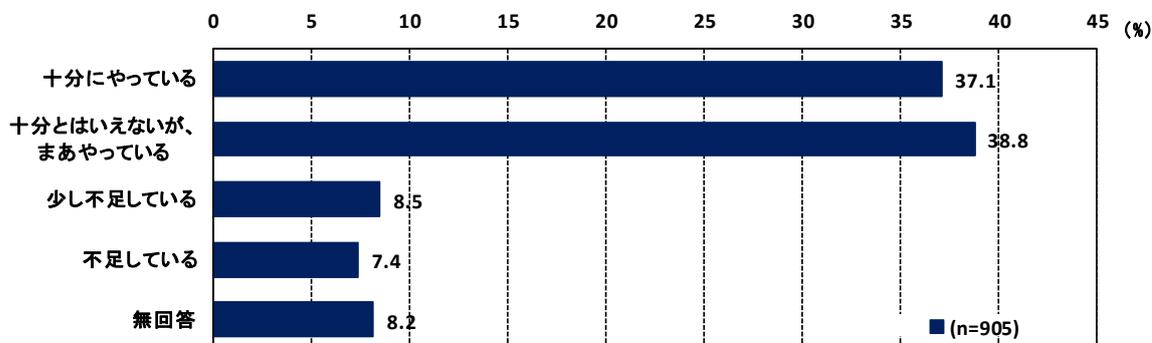
14. お父さんの子育ての参加状況

お父さんの子育てへの参加については、「十分にやっている」と「十分とはいえないが、まあやっている」を合わせると 75.9%を占めている反面、「少し不足している」と「不足している」を合わせると 15.9%なっています。

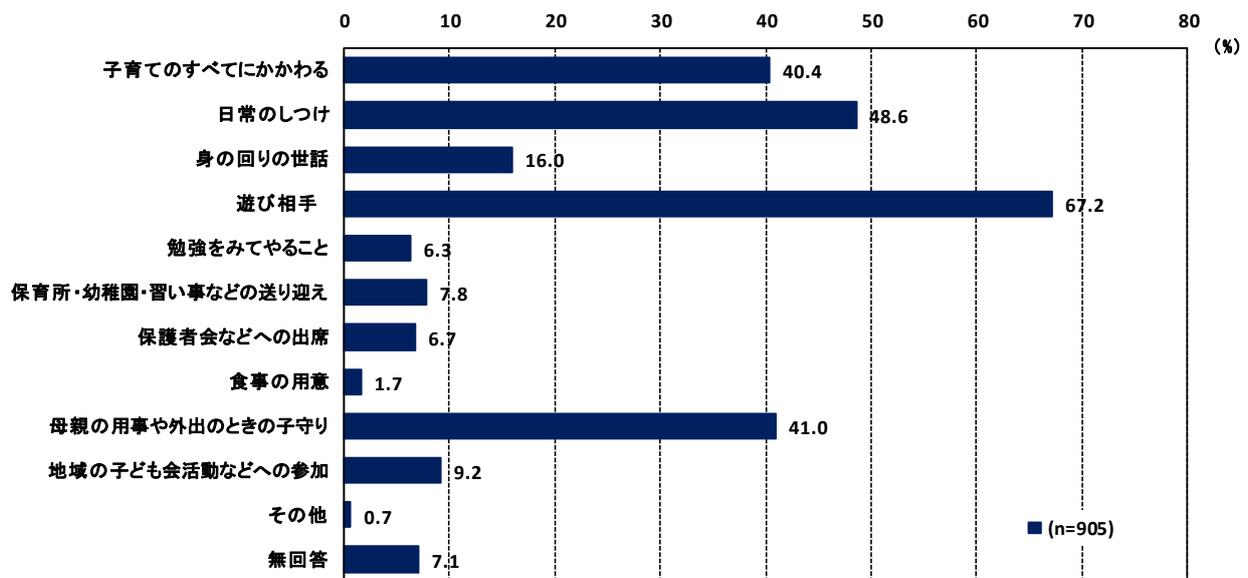
お父さんがかかわることが必要な子育てについては、「遊び相手」が 67.2%で最も高く、次いで「日常のしつけ」が 48.6%、「母親の用事や外出のときの子守り」が 41.0%、「子育てのすべてにかかわる」が 40.4%と続いています。

すべての方にうかがいます。

問 30. あなたの家庭では、お父さんはどの程度子育てをしていますか。(1つに○)



問 31. お父さんがかかわることの必要な子育ては何だと思いますか。(3 つまで○)



15. 子育てに関する悩みや不安とその相談相手

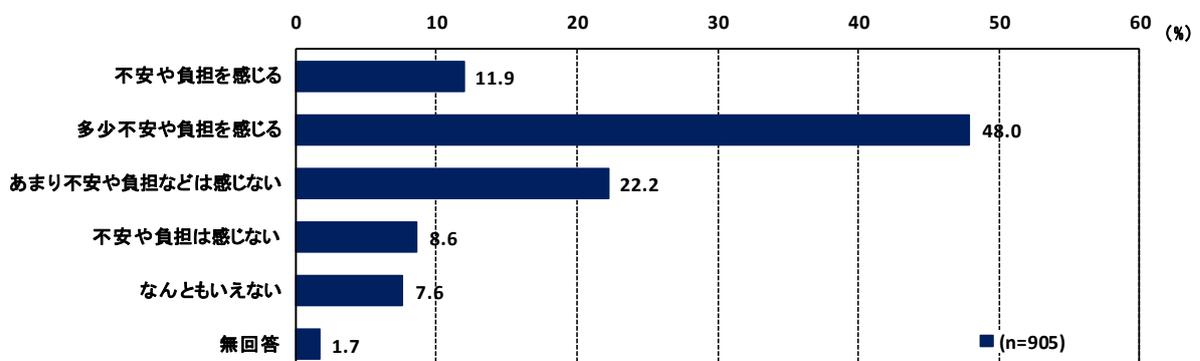
15-1. 子育てに関する悩みや不安

子育てに関する不安感や負担感については、「不安や負担を感じる」と「多少不安や負担を感じる」を合わせると 59.9%を占めている反面、「あまり不安や負担などは感じない」と「不安や負担は感じない」を合わせると 30.8%となっています。

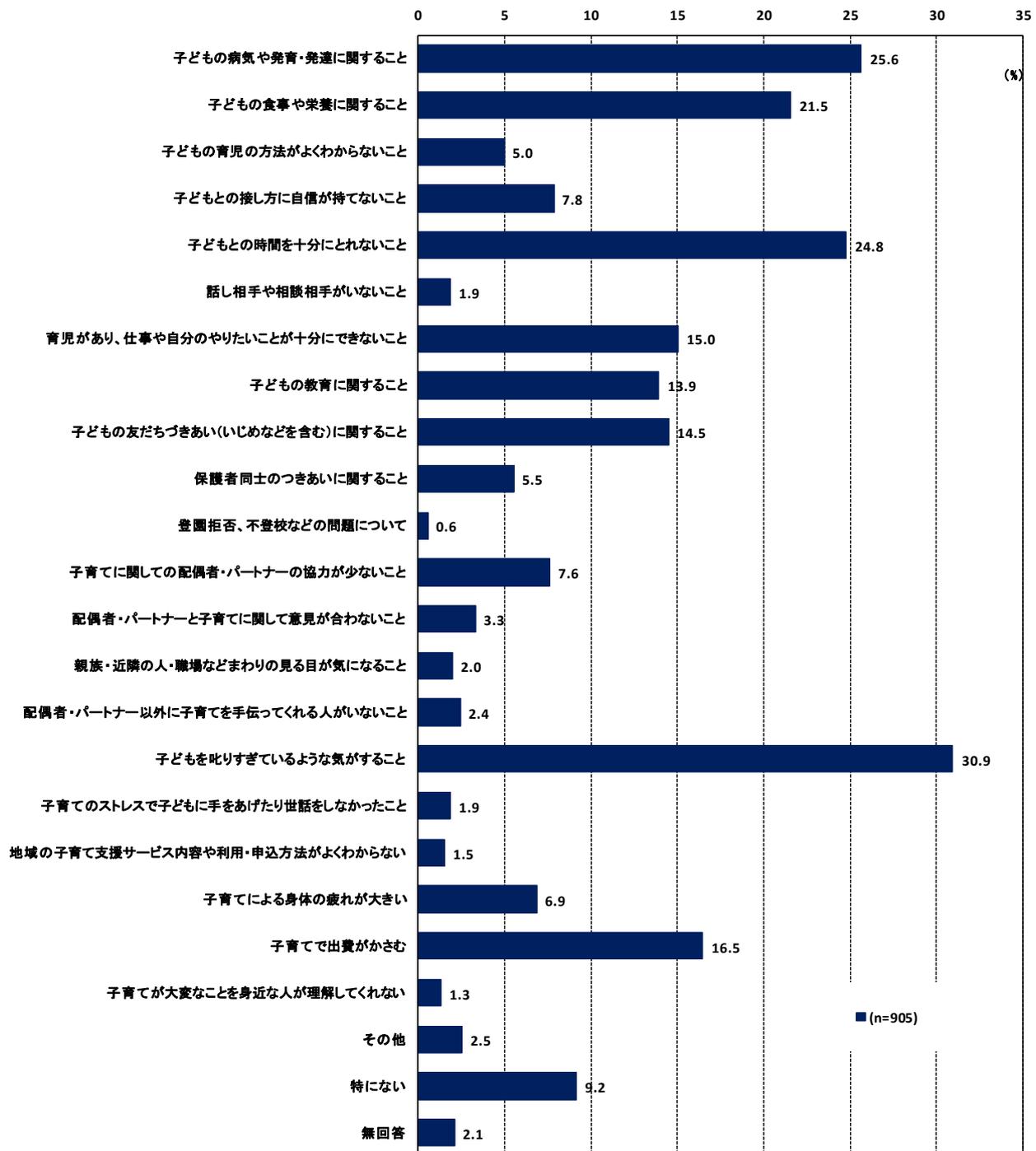
お子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることについては、「子どもを叱りすぎているような気がする」が 30.9%で最も高く、次いで「子どもの病気や発育・発達に関すること」が 25.6%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 21.5%、「子育てで出費がかさむ」が 16.5%と続いています。

問 32 以下はすべての方のうちがいます。

問 32. 子育てに関して不安感や負担感をお感じですか。(1つに○)



問 33. 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。主なものを選んでください。(3つまで○)

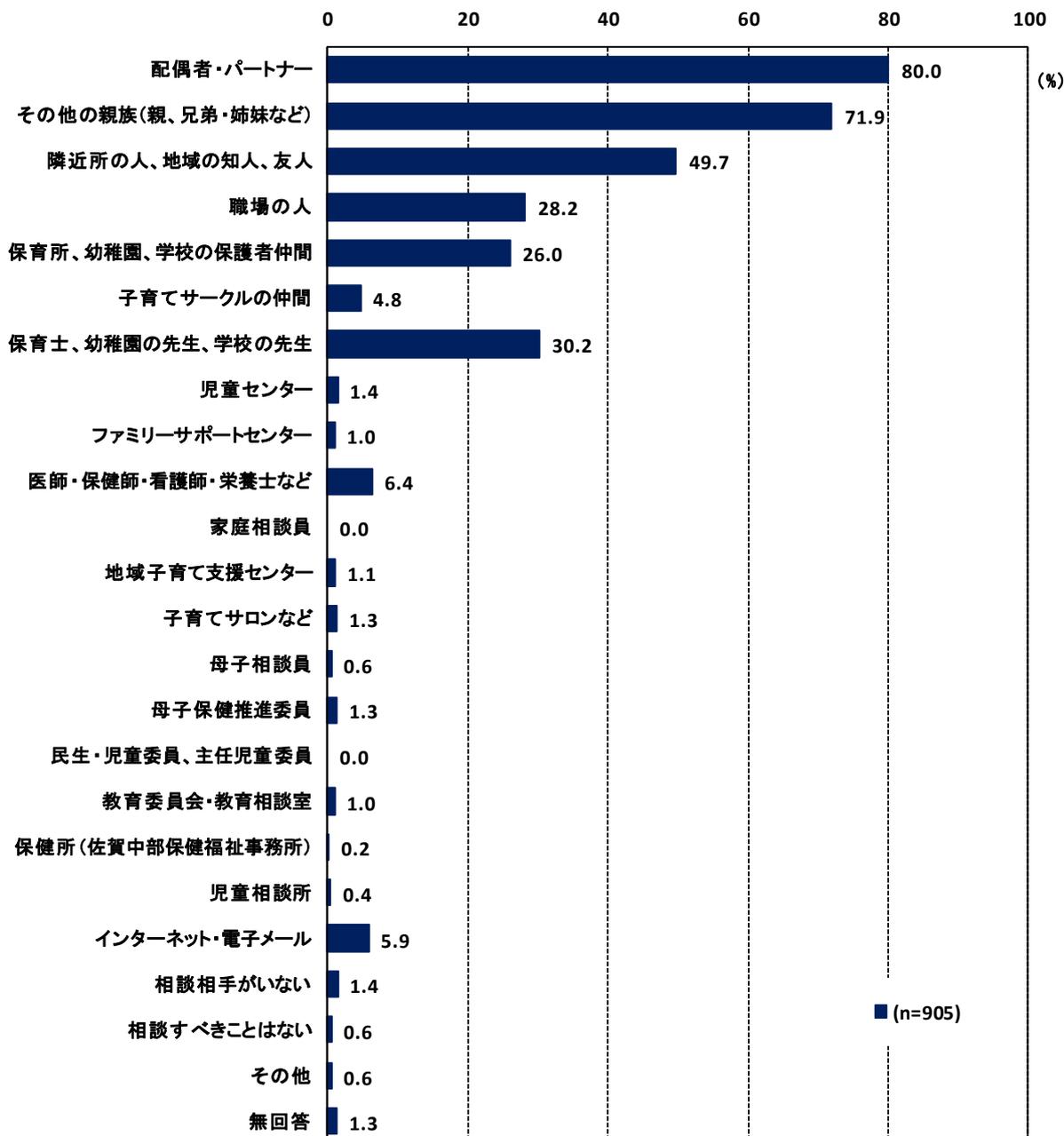


15-2. 子育てに関する相談相手

お子育てに関する相談相手については、「配偶者・パートナー」が 80.0%で最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟・姉妹など）」が 71.9%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が 49.7%、「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」が 30.2%と続いています。

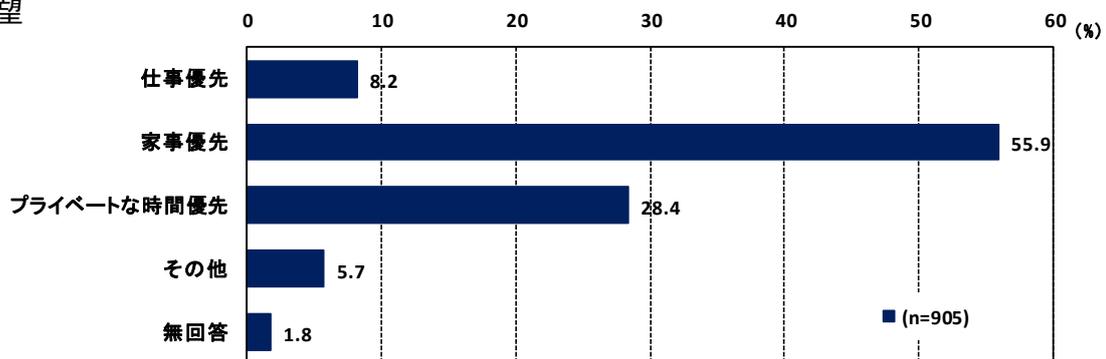
仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）の優先度については、希望としては、「家事優先」が 55.9%で最も高く、次いで「プライベートな時間優先」が 28.4%、「仕事優先」が 8.2%、と続いています。一方、現実には「家事優先」が 58.9%で最も高く、次いで「仕事優先」が 35.1%と続いており、「プライベートな時間優先」はわずかに 1.5%となっています。

問 34. 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などをどなたに相談していらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

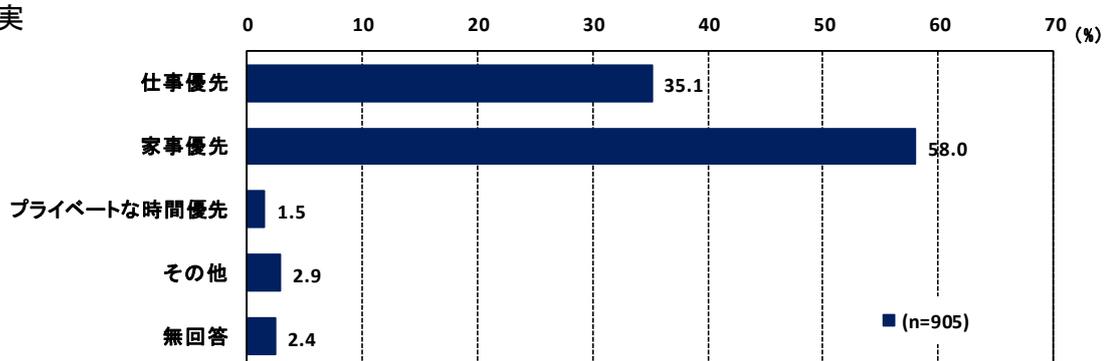


問 35. あなたの生活の中で、仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)の優先度はどのようになっていますか。(1)希望(2)現実 のそれぞれについて、あなたの考えや現状に最も近いものを1つずつ選んでください。

(1)希望



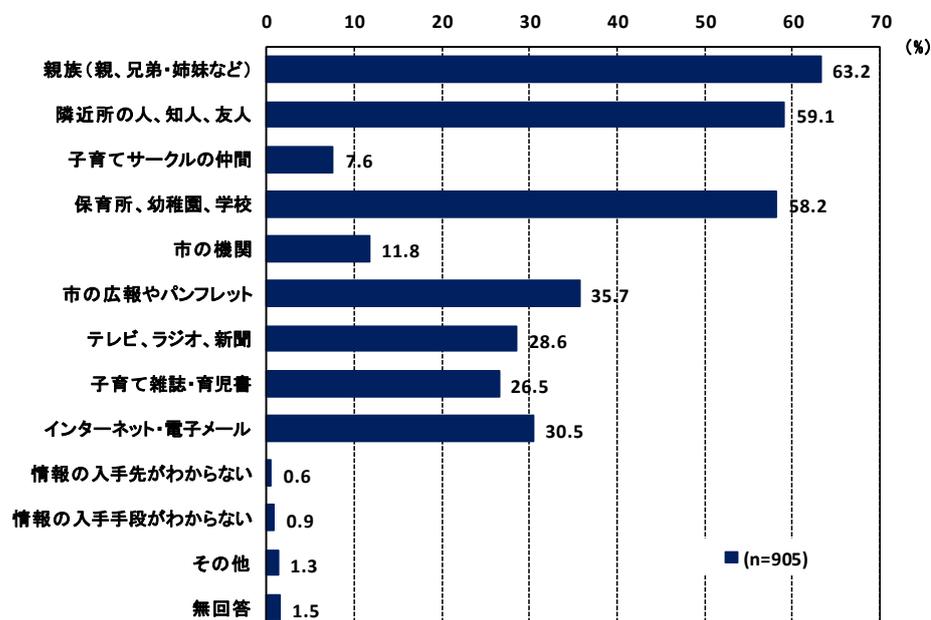
(2)現実



16. 子育てに関する情報の入手方法

子育てに関する情報の入手方法については、「親族(親、兄弟・姉妹など)」が63.2%で最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が59.1%、「保育所、幼稚園、学校」が58.2%と続いています。

問 36. 子育てに関する情報はどこから入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)



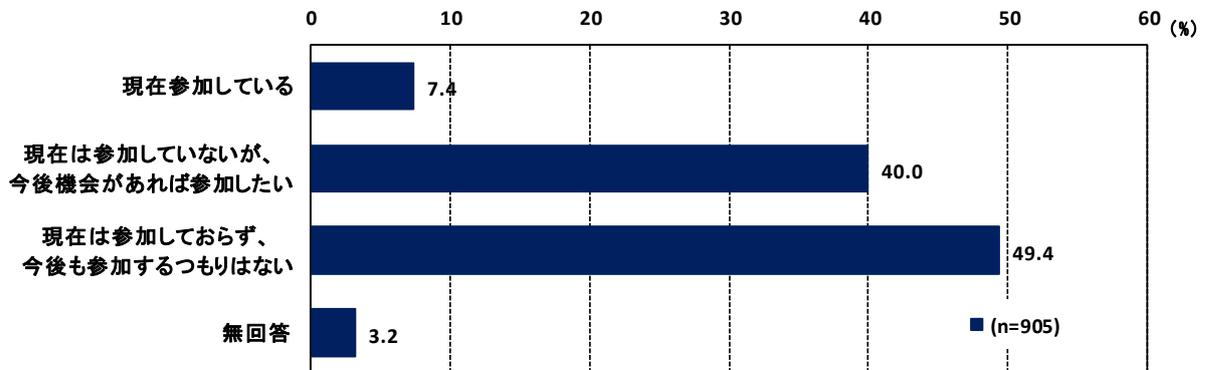
17. 自主的な活動への参加状況

子育てサービスなどの自主的な活動への参加については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 49.4%、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 40.0%となっており、「現在参加している」はわずかに 7.4%となっています。

自主的な活動への参加を促すように努める必要があります。

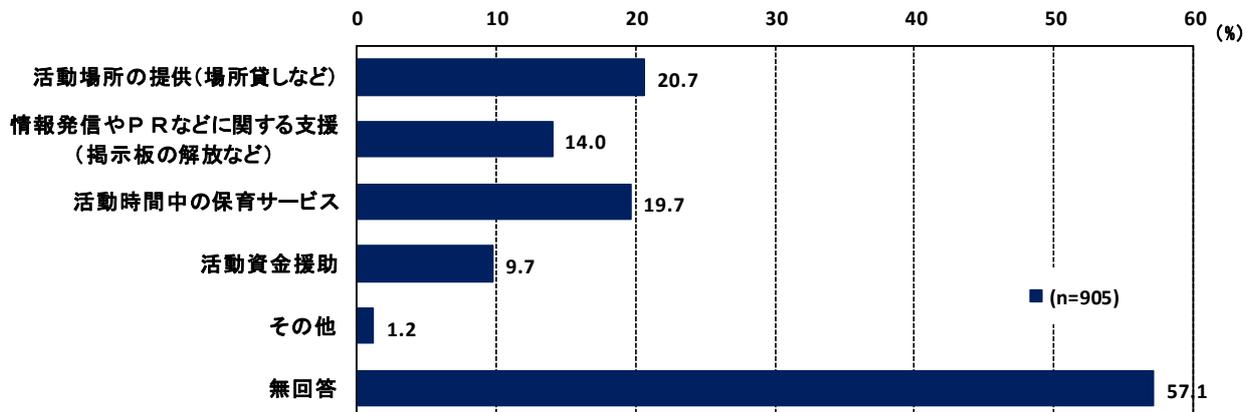
自主的な活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援については、「活動場所の提供（場所貸しなど）」が 20.7%で最も高く、次いで「活動時間中の保育サービス」が 19.7%、「情報発信やPRなどに関する支援」が 14.0%と続いています。

問 37. あなたは子育てサービスなどの自主的な活動に参加していますか。(1つに○)



問 37 で「1.」または「2.」に○をした方にうかがいます。

問 37-1. 自主的な活動をしていくにあたって、行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。あてはまるものをすべて選んでください。(あてはまるものすべてに○)

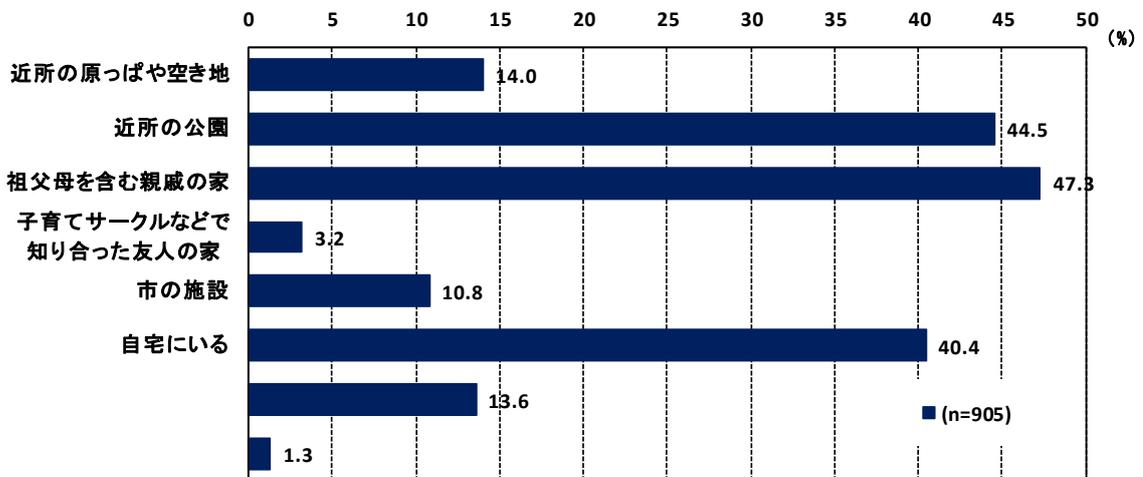


18. 遊び場所について

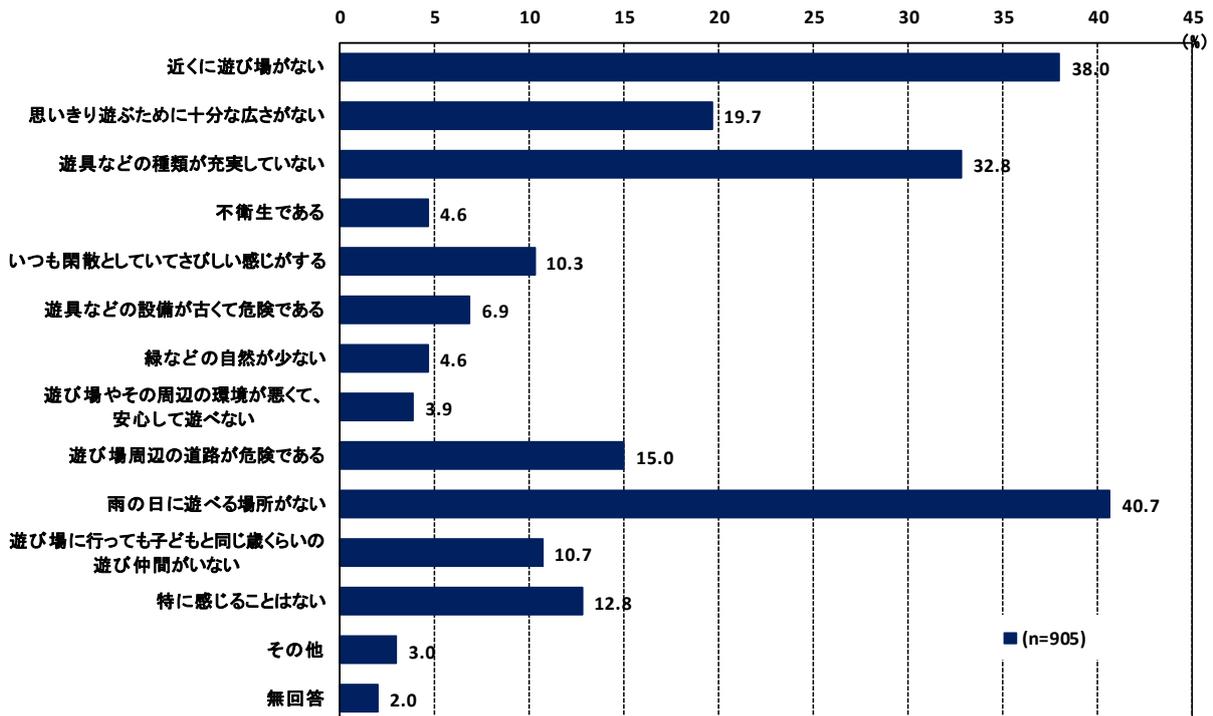
主な遊び場所については、「祖父母を含む親戚の家」が 47.5%で最も高く、次いで「近所の公園」が 44.5%、「自宅にいる」が 40.4%と続いています。

家の近くの子どもの遊び場所に対して日頃感じていることについて、「雨の日に遊べる場所がない」が 40.7%で最も高く、次いで「近くに遊び場がない」が 38.0%、「遊具などの種類が充実していない」が 32.8%と続いています。

問 38. ふだんお子さんとどこに遊びに行きますか。主な場所を選んでください。(2つまで○)



問 39. 家の近くの子どもの遊び場所について、日頃感じていることがありますか。(3つまで○)



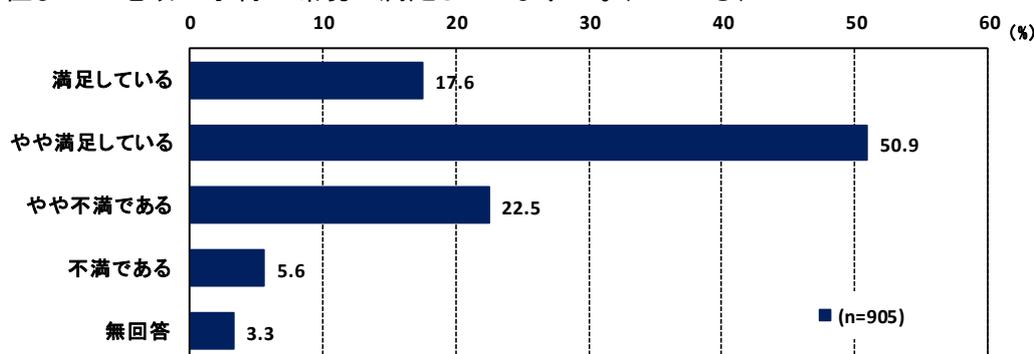
19. お住まいの地域の子育て環境

19-1. 子育て環境

お住まいの地域の子育て環境への満足度については、「満足している」と「やや満足している」を合わせると 68.5%を占めている反面、「やや不満である」と「不満である」を合わせると 28.1%となっています。

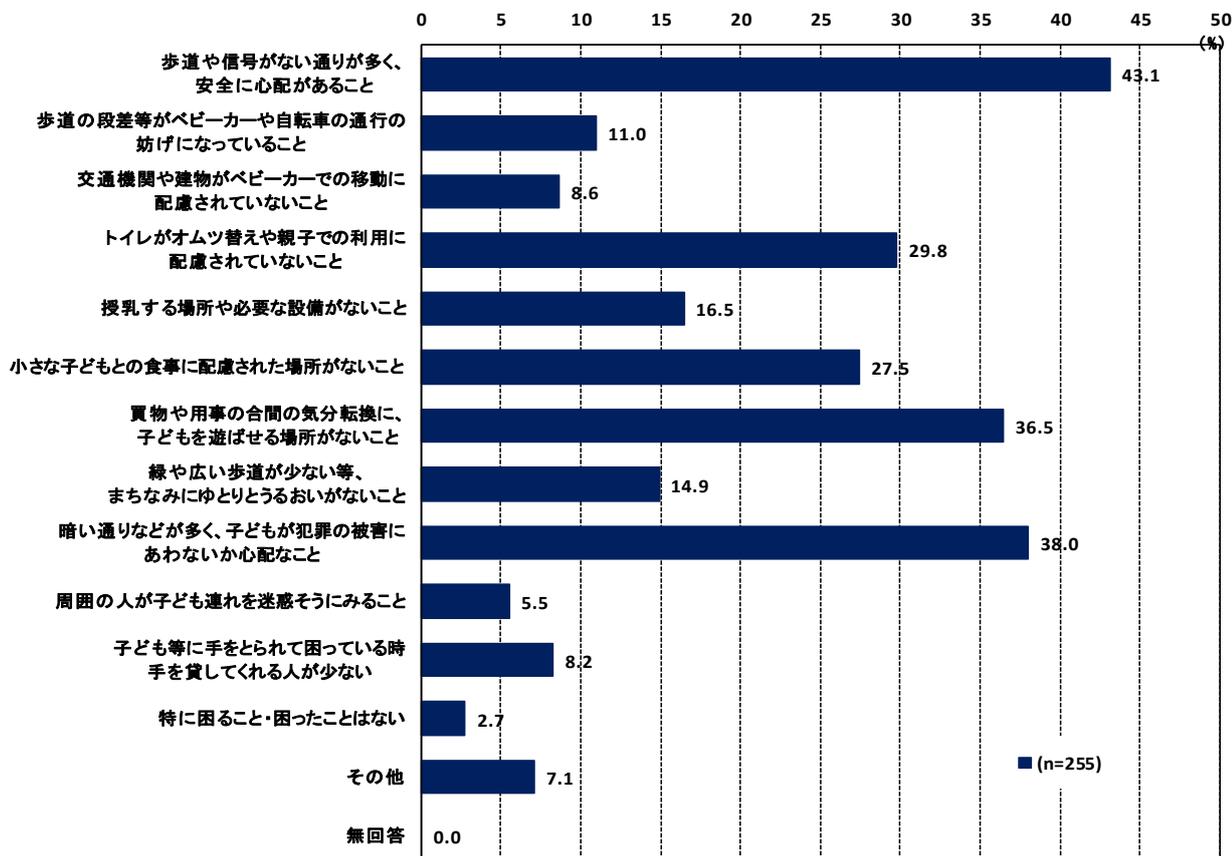
お子さんとの外出の際、困ること・困ったことについては、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」が 43.1%で最も高く、次いで「暗い通りなどが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が 38.0%、「買物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 36.5%と続いています。

問 40. あなたは、お住まいの地域の子育て環境に満足していますか。(1つに○)



問 40 で「3.」または「4.」に○をした方にうかがいます。

問 40-1. お子さんとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。(3つまで○)



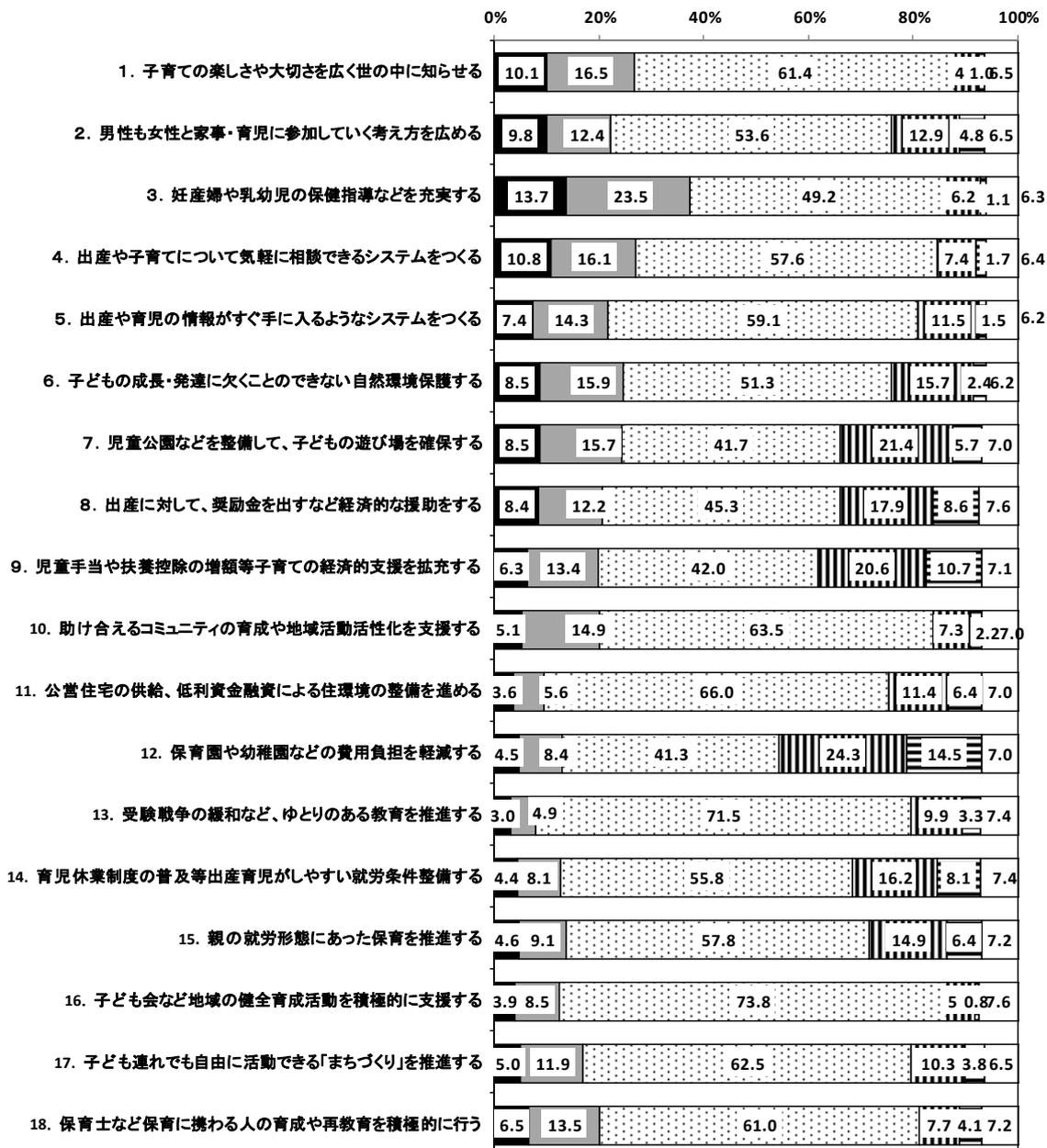
19-2. 本市の子育て支援策についての満足度と重要度

問 41. 本市の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお答えください。

(1) 満足度

本市の子育て支援策に対する「満足度」については、満足度が高いのは「3. 妊産婦や乳幼児の保健指導などを充実する」、「4. 出産や子育てについて気軽に相談できるシステムをつくる」、「1. 子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせる」などです。

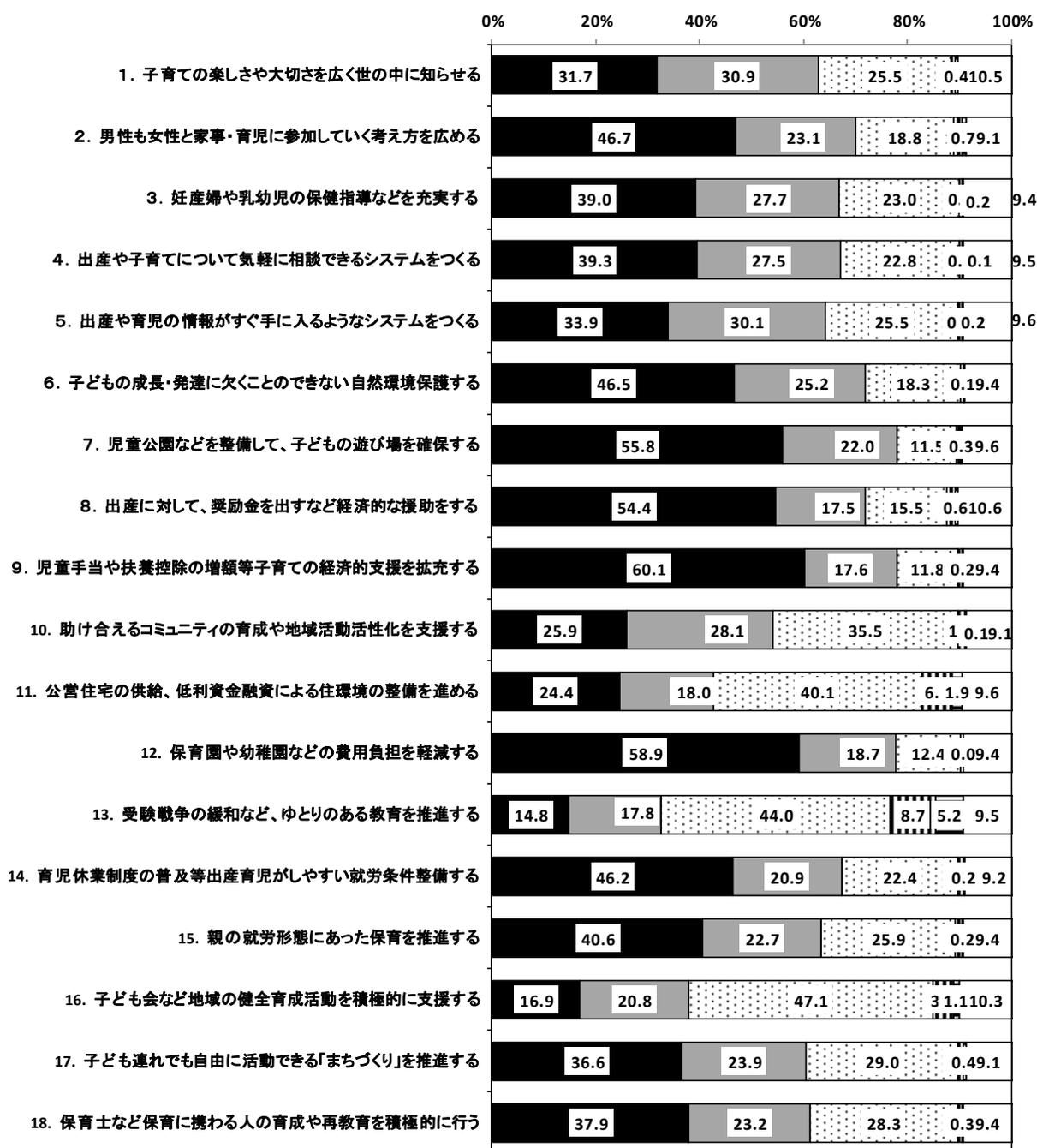
一方、不満度が高いのは「12. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」、「9. 児童手当や扶養控除の増額等子育ての経済的支援を拡充する」、「7. 児童公園などを整備して、子どもの遊び場を確保する」、「8. 出産に対して、奨励金を出すなど経済的な援助をする」、「14. 育児休業制度の普及等出産育児がしやすい就労条件整備する」、「15. 親の就労形態にあった保育を推進する」などです。



(2)重要度

本市の子育て支援策に対する「重要度」については、重要度が高いのは「7. 児童公園などを整備して、子どもの遊び場を確保する」、「9. 児童手当や扶養控除の増額等子育ての経済的支援を拡充する」、「12. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」、「8. 出産に対して、奨励金を出すなど経済的な援助をする」、「6. 子どもの成長・発達に欠くことのできない自然環境保護する」などです。

一方、あまり重要ではないと考えられているのは「13. 受験戦争の緩和など、ゆとりのある教育を推進する」、「11. 公営住宅の供給、低利資金融資による住環境の整備を進める」などです。

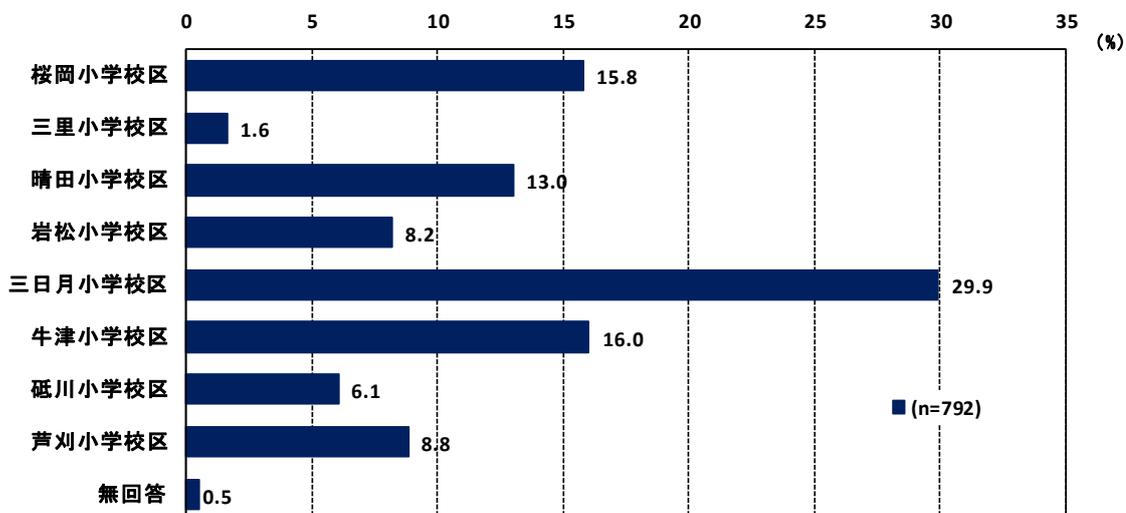


■ 重要 ■ やや重要 □ 普通 ▨ あまり重要でない ▩ 重要でない □ 無回答

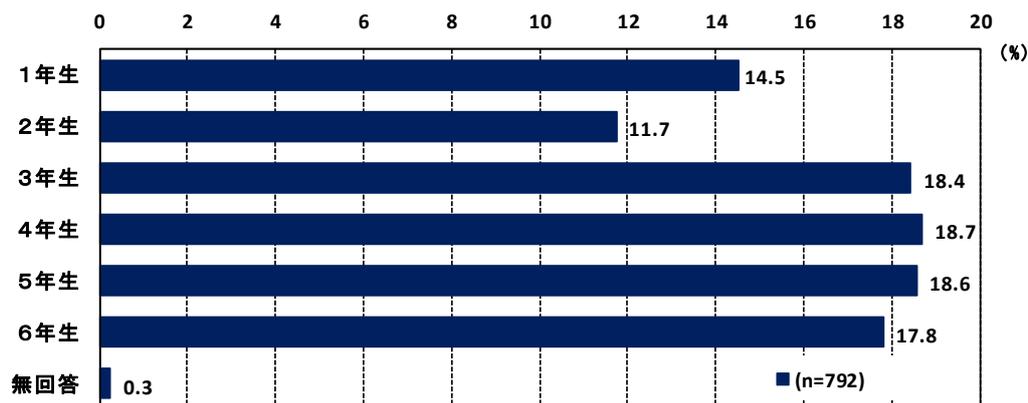
III 小学生児童調査結果

1. 対象者及び保護者の特性

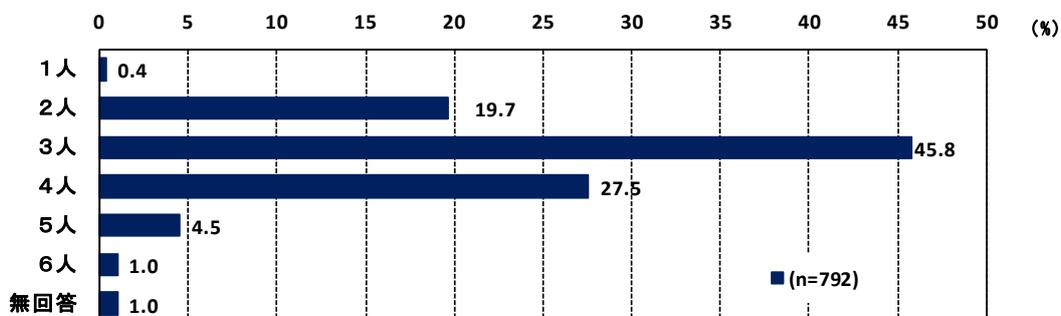
問1. お住まいの校区を教えてください。(1つに〇)



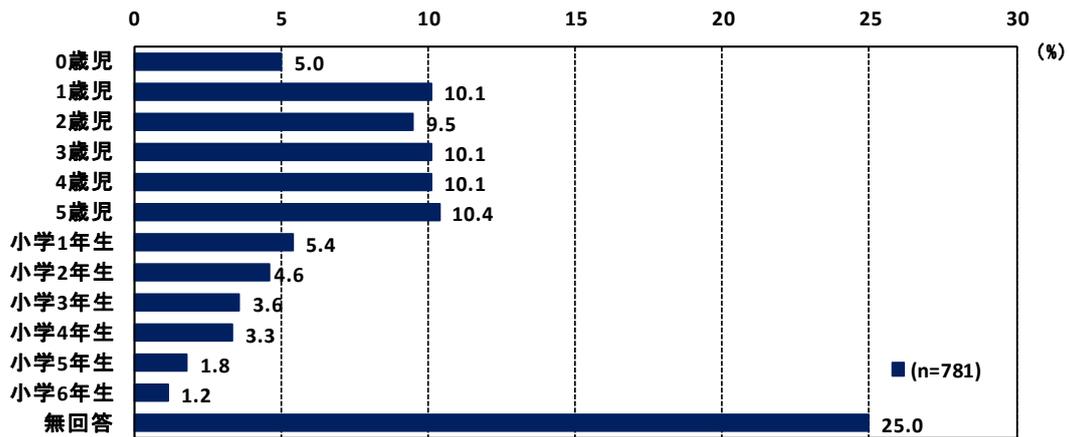
問2. あて名のお子さんの学年をお聞きします。



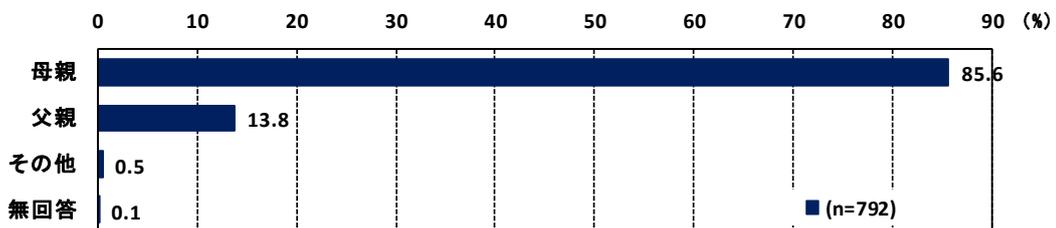
問3. あて名のお子さんに兄弟姉妹は何人おられますか。あて名のお子さんを含めた人数をお答えください。また、2人以上おられる場合、末子の生年月をお答えください。



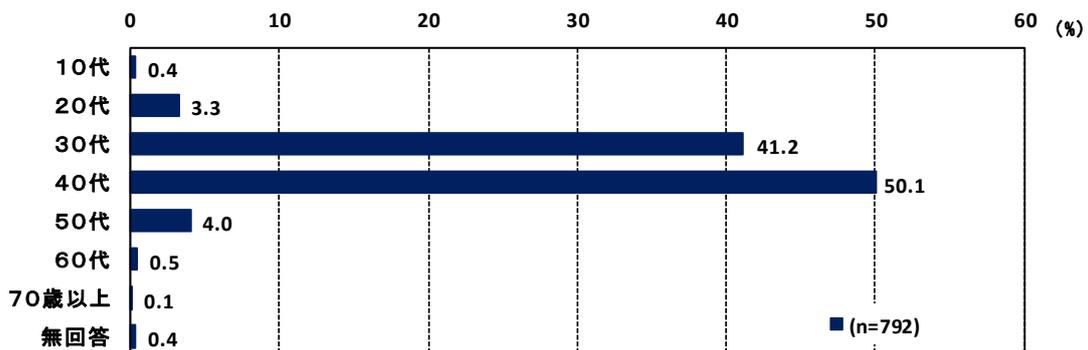
【末子年齢】



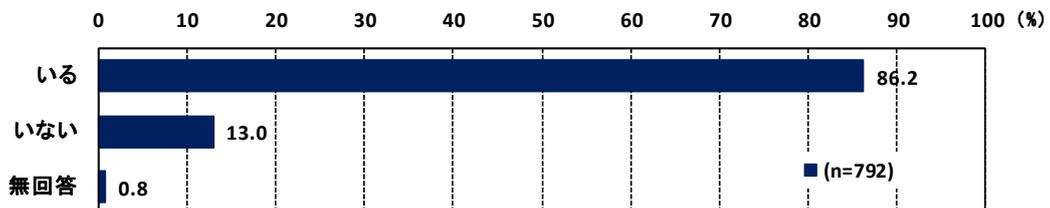
問4. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみて、続柄は何ですか。



問5. この調査票にご回答いただく方の年齢を教えてください。(1つに○)

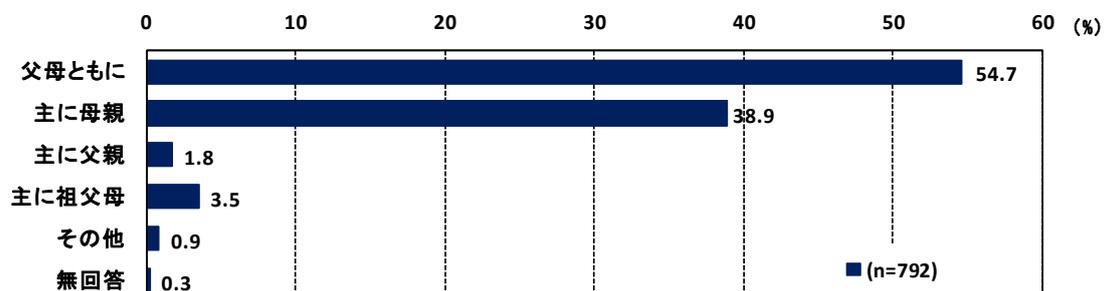


問6. この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいらっしゃいますか。(1つに○)



問7. あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。(1つに○)

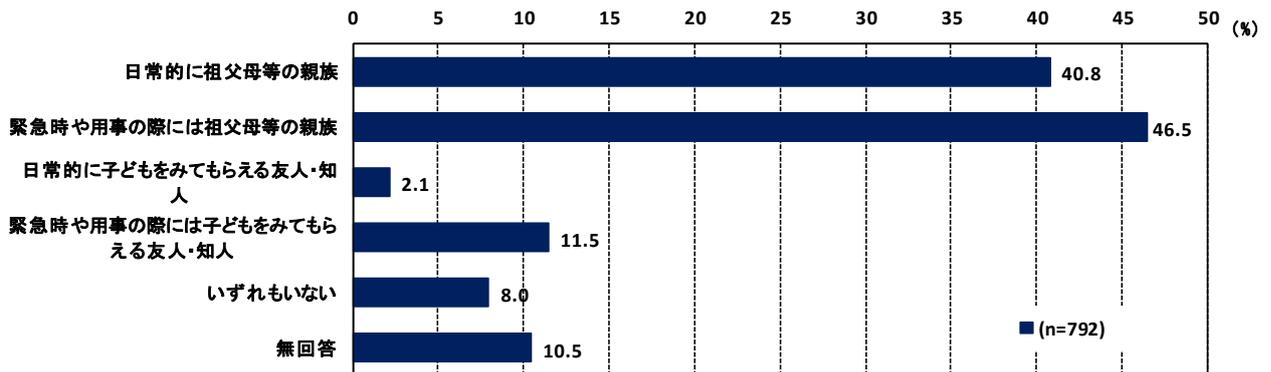
※続柄はあて名のお子さんからみた関係でお答えください。



2. 祖父母などに預かってもらっている状況

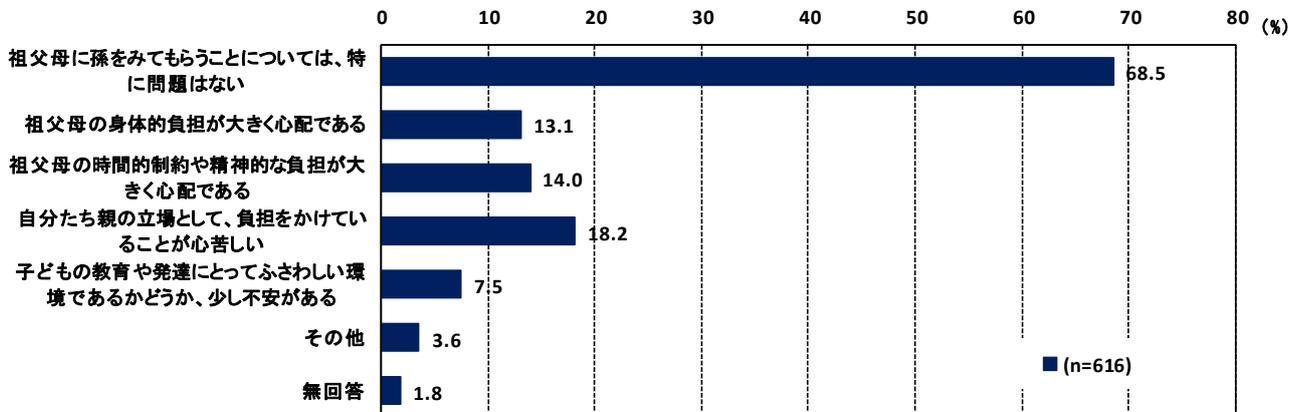
祖父母に預かってもらうことのできる人について、その状況を見ると、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」が68.5%と全体の約3分の2を占めていますが、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」(18.2%)、「祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」(14.0%)「祖父母の身体的負担が大きく心配である」(13.1%)と感じている人も少なくありません。

問8. 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



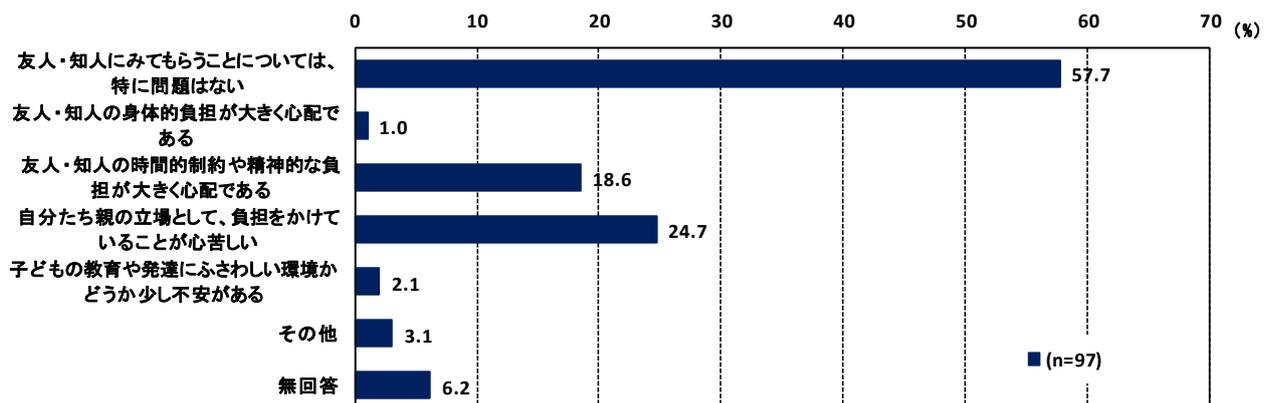
問8で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問8-1. 祖父母にみてもらっている状況について、うかがいます。(あてはまるものすべてに○)



問8で「3」または「4」に○をした方にうかがいます。

問8-2. 友人・知人にみてもらっている状況について、うかがいます。(あてはまるものすべてに○)

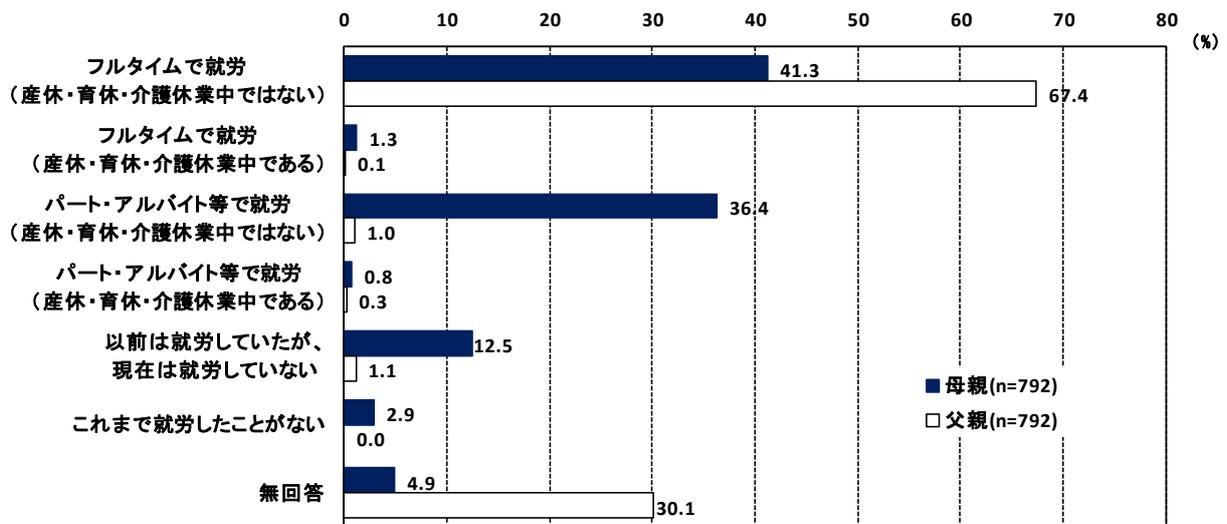


3. 保護者の就労状況について

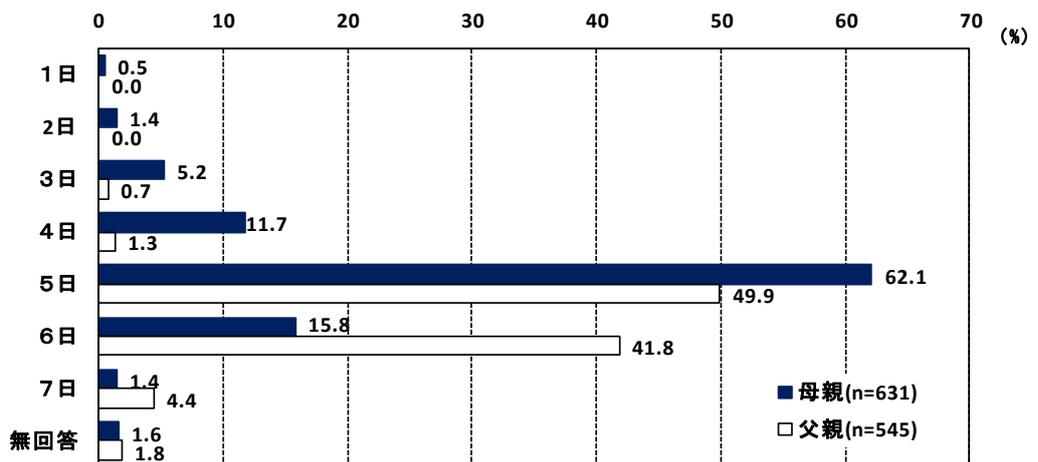
3-1. 母親(父親)の就労形態

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 41.3%で最も高く、次いで、「パート・アルバイト等で就労、産休・育休・介護休業中ではない」が 36.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 12.5%となっています。また、母親の1週間あたり就労日数については、5日 が 62.1%で最も高く、次いで6日 が 15.8%、4日 が 11.7%と続いています。

問9. あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。



【1週間あたり就労日数】

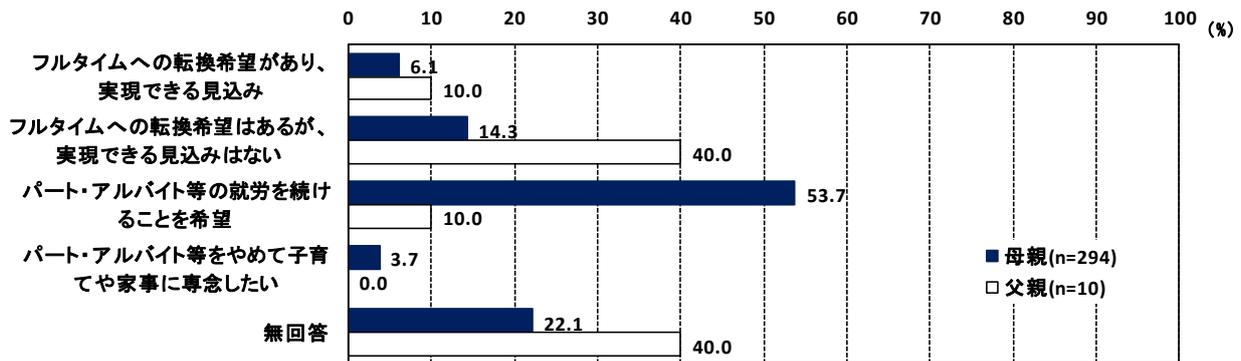


3-2. フルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 53.7%で最も高く、次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 14.3%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 6.1%となっています。

問 9 で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問 10. フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。



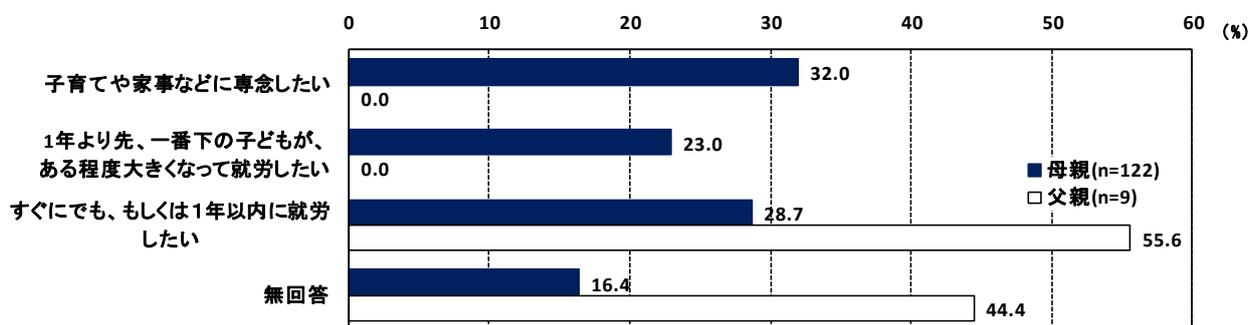
3-3. 現在就労していない母親(父親)の就労意向

(1) 就労意向

現在就労していない母親の就労意向については、「子育てや家事などに専念したい」が 32.0%となっている反面、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 28.7%、「1年より先、一番下の子どもが、ある程度大きくなって就労したい」が 23.0%、と全体の就労意向は5割を超えており、就労意欲は強くなっています。

問 9 の「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 11(1). 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけてください。

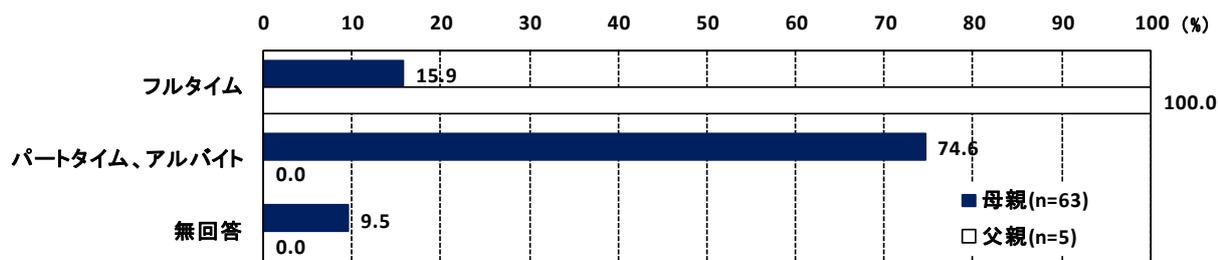


(2) 就労希望の形態

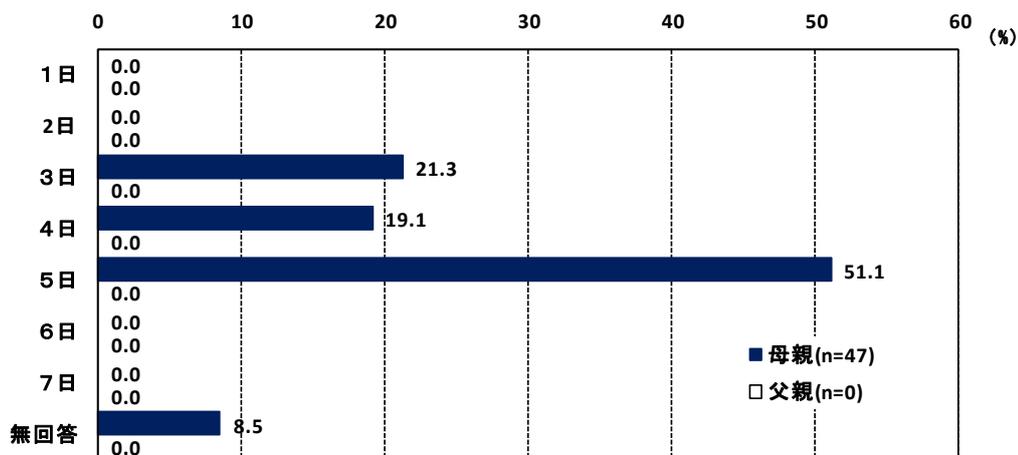
希望する母親の就労形態としては、「フルタイム」は 15.9%にとどまり、「パートタイム、アルバイト等による就労」が 74.6%と圧倒的に高くなっています。

問 9 の「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問 11(2). 希望する就労形態は何ですか。



【パートタイム、アルバイト等 1 週当たり就労日数】

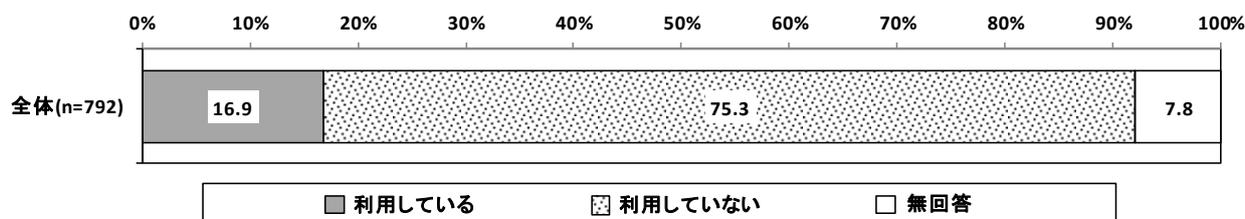


4. 放課後児童クラブについて

4-1. 利用状況

放課後放課後児童クラブを「利用している」は 16.9%にとどまり、「利用していない」が 75.3%と圧倒的に高くなっています。

問 12. あて名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用していますか。(1つに○)



4-2. 平日・土曜日等の利用状況と日数等

放課後放課後児童クラブを「利用している」と答えた人のうち、平日の利用については、「利用している」は 86.6%、「利用していない」が 11.9%となっています。また、1週当たりの利用日数は 5日 が 75.9%で最も高くなっています。

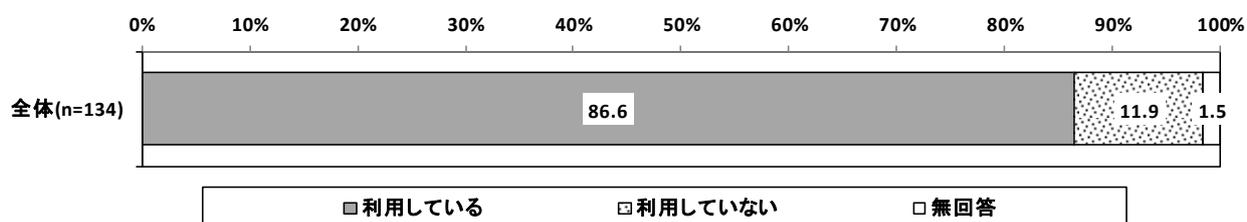
土曜日の利用については、「利用している」は 20.1%、「利用していない」が 76.9%となっています。

夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中については、「利用している」が 83.6%、「利用していない」が 16.4%となっています。また、1週当たりの利用日数は 5日 が 67.0%で最も高くなっています。

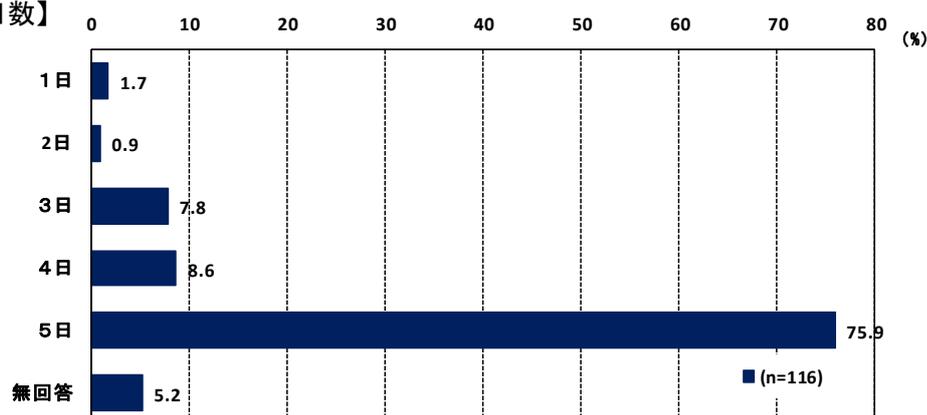
問 12 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 12-1. 平日と土曜日、夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中について、利用状況をお答えください。(それぞれ1つに○) 利用している場合は、週あたりの利用日数と平均的な利用時間帯もお答えください。

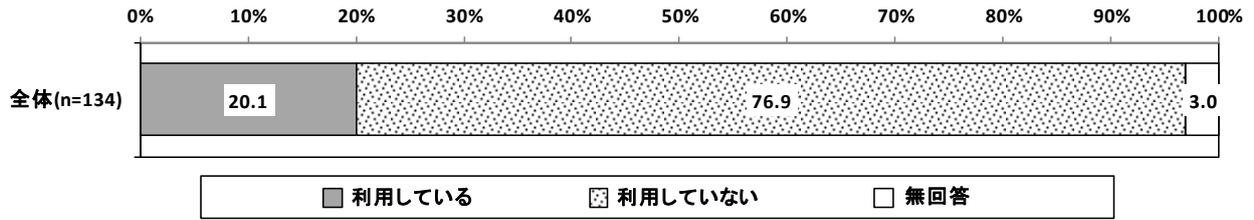
(1) 平日(1つに○)



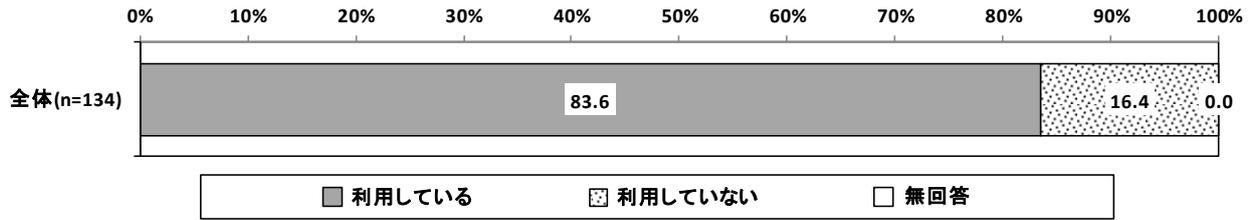
【週当たり利用日数】



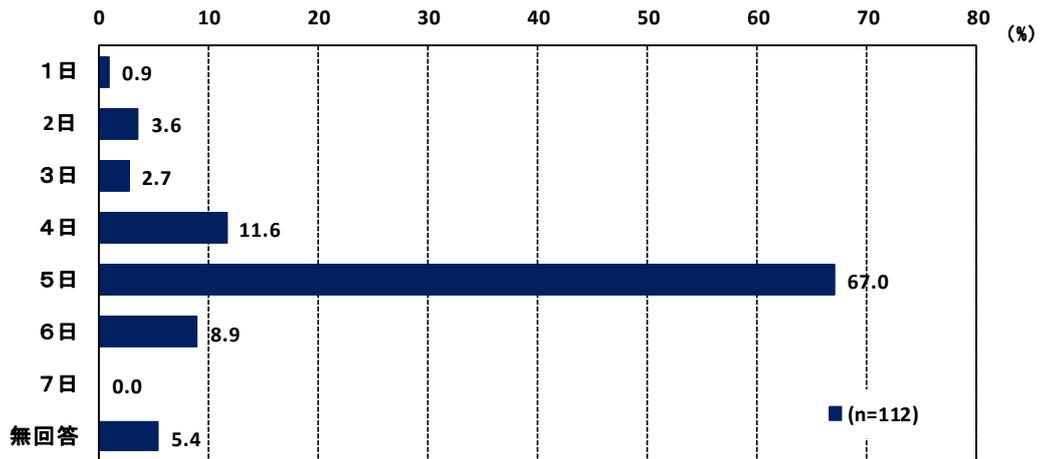
(2) 土曜日(1つに○)



(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中(1つに○)



【週当たり利用日数】



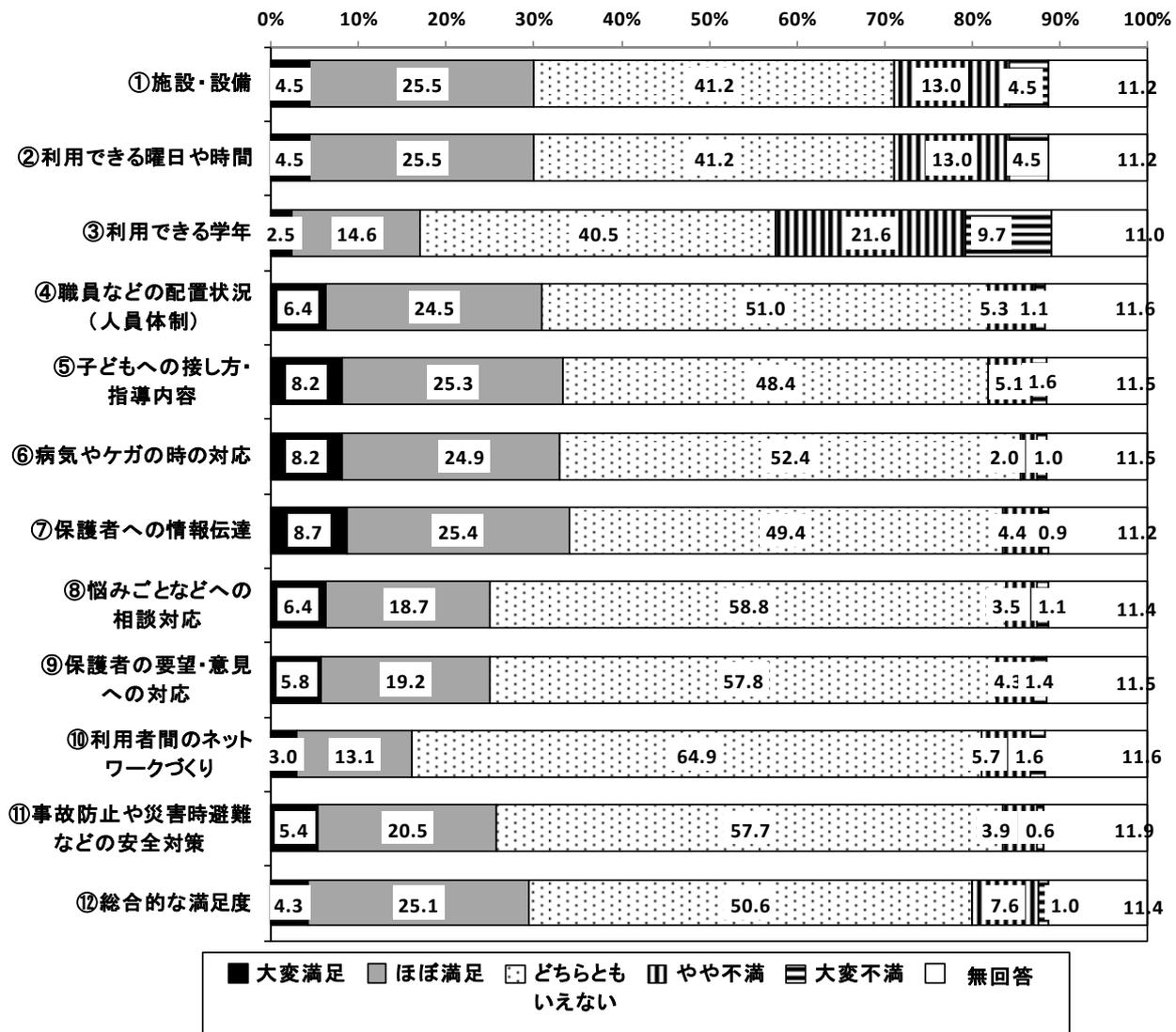
4-3. 放課後児童クラブに対する評価

放課後児童クラブに通っている、通っていないにかかわらず、放課後児童クラブに対してどのように感じているかについては、満足度が高いのは「⑦保護者への情報伝達」、「⑤子どもへの接し方・指導内容」、「⑥病気やケガの時の対応」などです。

一方、不満度が高いのは「③利用できる学年」、「①施設・設備」、「②利用できる曜日や時間」などです。

すべての方にうかがいます。

問 12-2. 現在、放課後児童クラブに通っている、通っていないにかかわらず、放課後児童クラブに対してどのように感じていますか。(①～⑪、★総合的な満足度それぞれ1つに○)

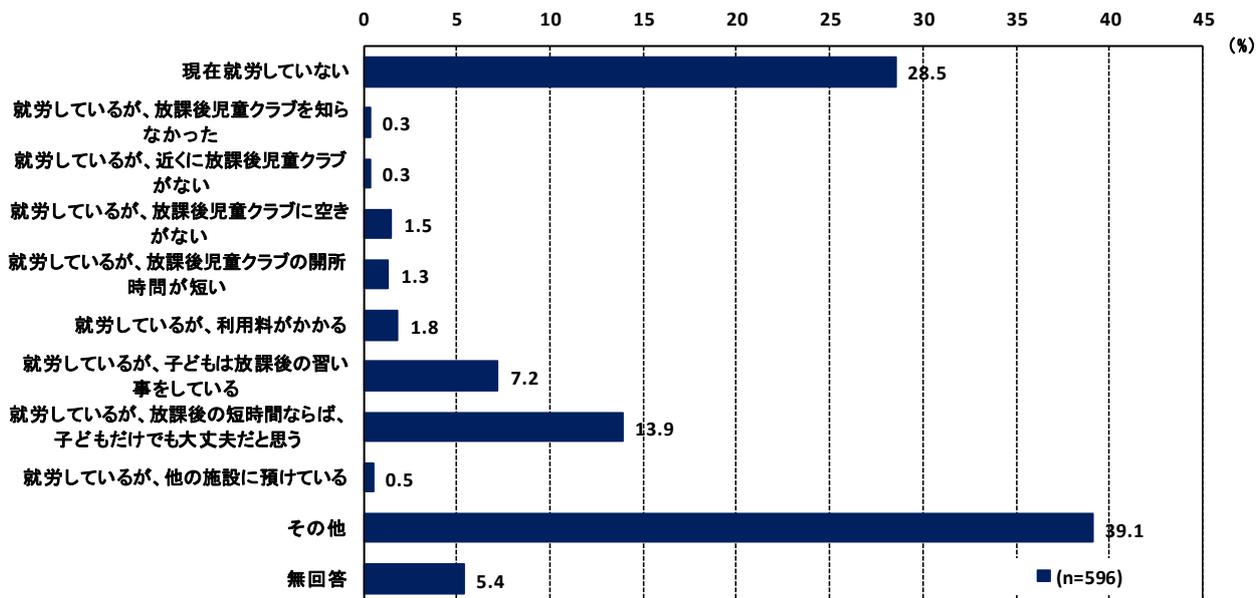


4-4. 利用していない理由

利用していない理由としては、「現在就労していない」が 28.5%と最も高く、次いで「就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」が 13.9%、「就労しているが、子どもは放課後の習い事をしている」と続いています。

問 12 で「2. 利用していない」に○をした方にうかがいます。

問 12-2. 利用していない理由はなんですか。(1つに○)



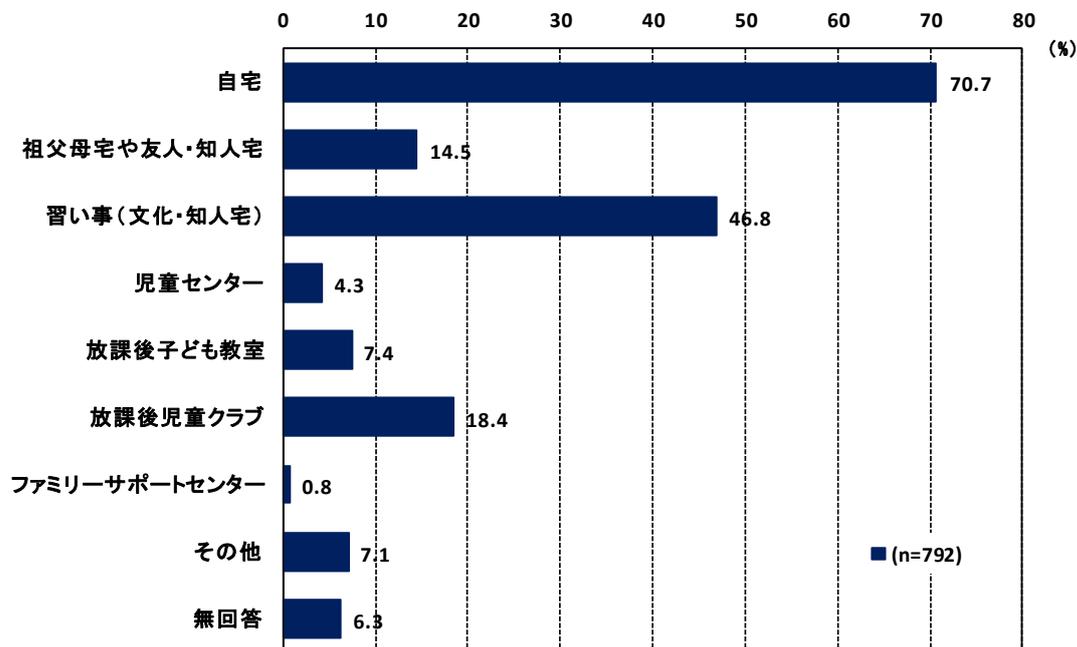
5. 4年生以上になったときの放課後の過ごし方

すべての方にうかがいます。

5-1. 4年生以上になったときの放課後の過ごし方

放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについては、「自宅」が70.7%と最も高く、次いで「習い事(文化・スポーツ等)」が46.8%、「放課後児童クラブ」が18.4%「祖父母宅や友人・知人宅」が14.5%と続いています。

問 13. あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



5-2. 土曜日・日曜日等の放課後児童クラブの利用希望

今後の利用意向を尋ねたところ、土曜日では、「利用したい」は36.3%、「利用する必要はない」は53.4%となっています。

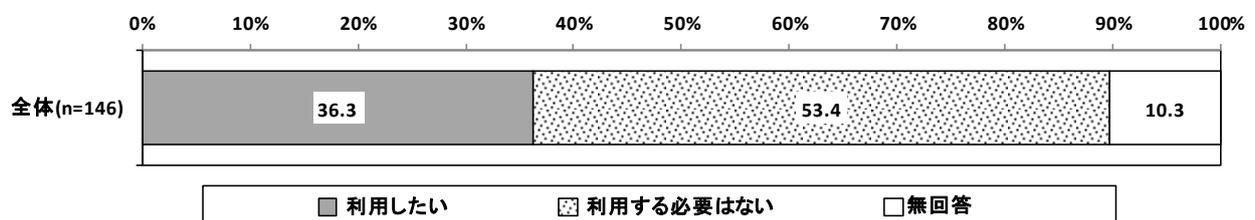
日曜日では、「利用したい」は13.7%、「利用する必要はない」は74.7%となっています。

夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中では、「利用したい」は91.1%、「利用する必要はない」は2.1%となっています。

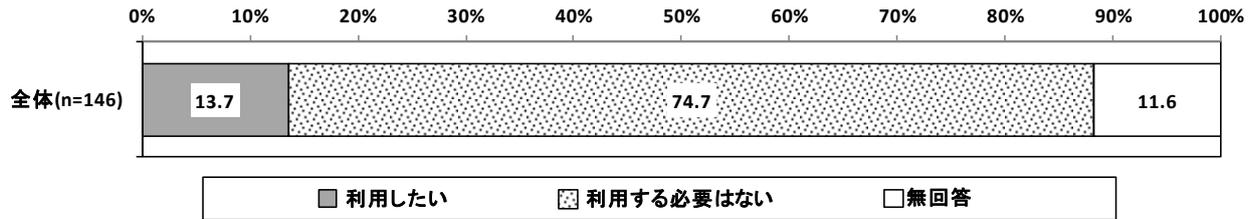
問 13 で「6」に○をした方にうかがいます。希望しない方は、問 15 にお進みください。

問 14. あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日・夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中、放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1つに○）

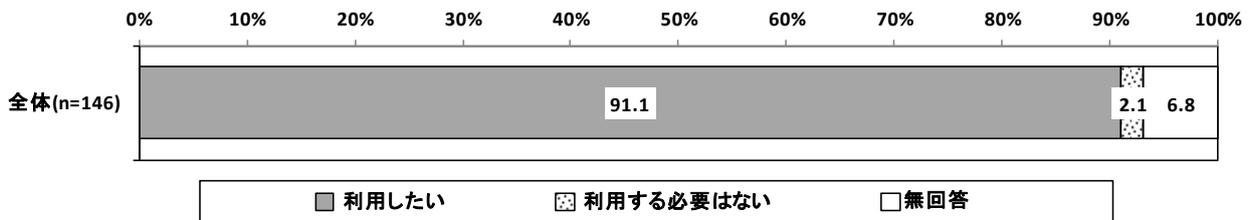
(1) 土曜日



(2) 日曜・祝日



(3) 夏休みや冬休みなど長期の休暇期間中



6. 病児・病後児保育について

6-1. 過去1年間に保育サービスを利用できなかったことの有無

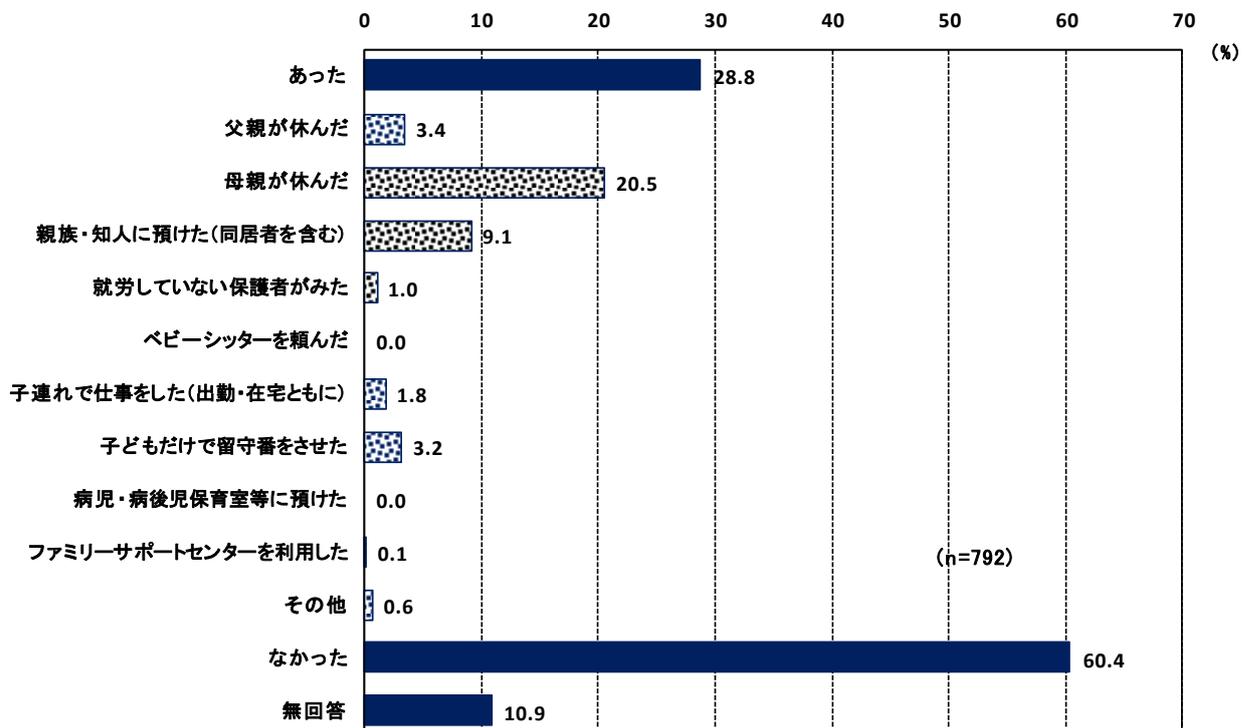
この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった経験については、「あった」が28.8%と過半数を占めています。

その対処方法としては、「母親が休んだ」が20.5%と最も高く、次いで、「親族・知人に預けた(同居者を含む)」が9.1%となっています。

問 15. この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがありますか。

問 15 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 15-1. あて名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかった場合に、この1年行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけてください。



6-2. 病児・病後児保育の利用希望

お子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった時に「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ人が「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかどうかについては、「利用したいとは思わなかった」が 89.2%で大半を占めています。

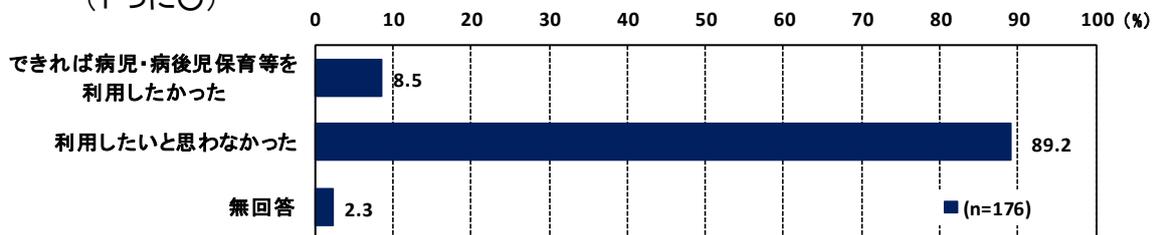
「できれば病児・病後児保育等を利用したかった」を選んだ人がどのような事業形態が望ましいと思ったかについては、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 93.3%で大半をしています。

「病児・病後児保育を利用したいと思わなかった」を選んだ人のそういう風に思う理由については、「親が仕事を休んで対応する」が 59.9%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」となっています。

問 15-1 で「1」または「2」に○をした方にうかがいます。

問 15-2. その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

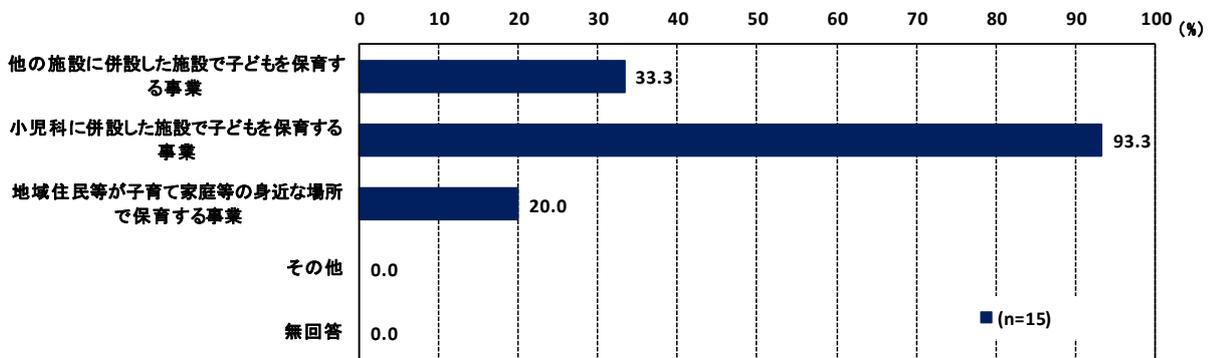
(1つに○)



問 15-2 で「1. できれば病児・病後児保育等を利用したかった」に○をした方にうかがいます。

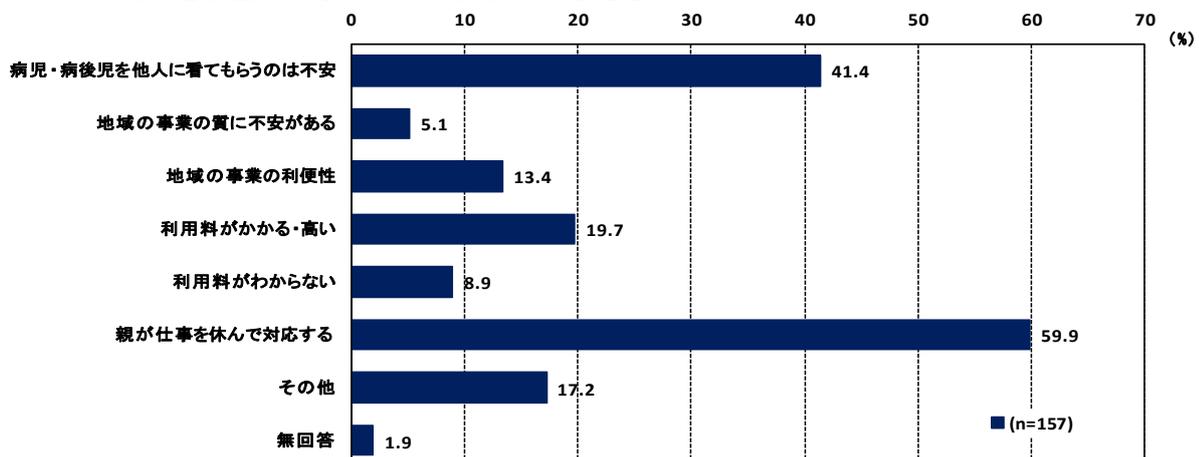
問 15-3. 問 15-2 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)



問 15-2 で「2. 利用したいとは思わなかった」に○をした方にうかがいます。

問 15-4. そう思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



7. 一時預かりについて

7-1. 過去1年間に家族以外に一時的に預けたこと

この1年間で、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業についてみると、「利用していない」が94.8%で大半を占めており、一方、利用した事業は「ファミリーサポートセンター」が1.0%、「一時預かり」が0.4%、「幼稚園の預かり保育」が0.3%などとなっています。

利用していない理由としては、「特に利用する必要がない」が84.6%で大半を占めており、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が9.5%、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」が7.5%と続いています。

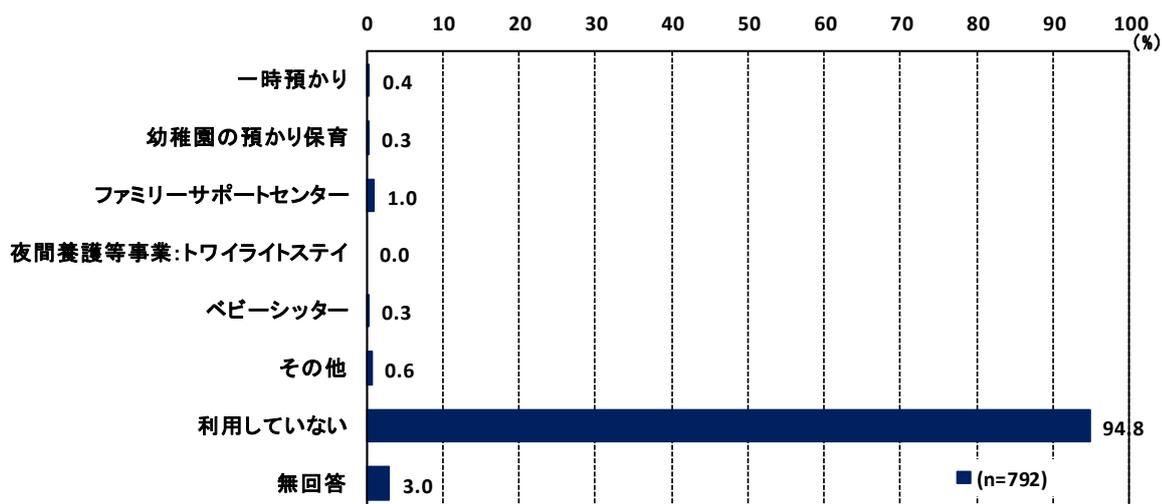
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があるかについては、「利用したい」は10.2%にとどまり、「利用する必要はない」が82.5%と圧倒的に高くなっています。

お子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思うかについては、「地域住民が子育て家庭の身近な場所で保育する事業」が59.3%で最も高く、次いで「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」が29.6%、「小規模施設で子どもを保育する事業」が29.6%と続いています。

この1年間で、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことの有無と対処方法については、「あった」が12.4%で、対処方法としては「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が最も高くなっています。一方、「なかった」が36.0%となっています。その場合の困難度については、「非常に困難」が6.1%、「どちらかという困難」が35.7%、「特に困難ではない」が50.0%となっています。

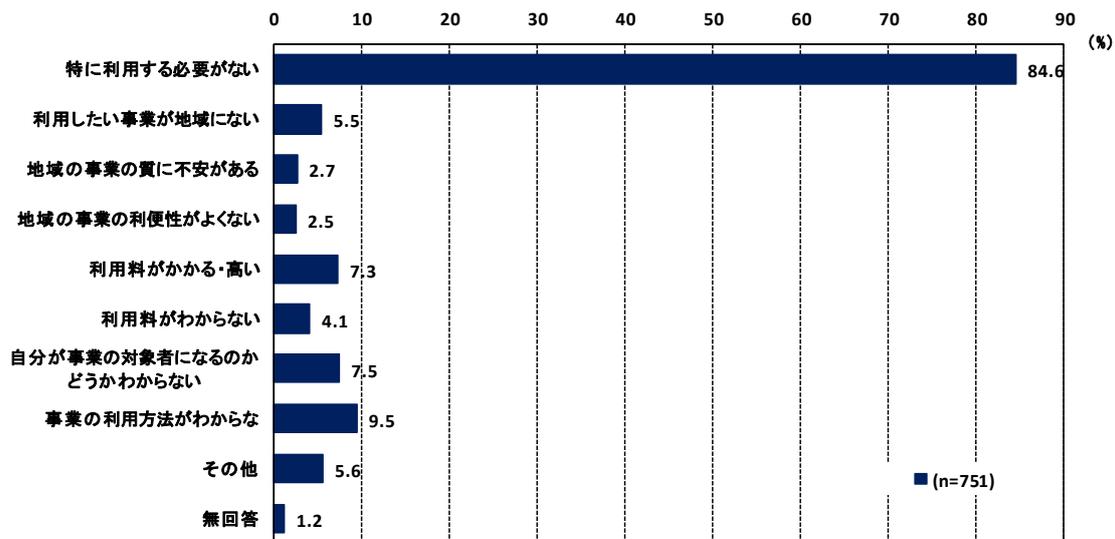
すべての方にうかがいます。

問 16. あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)もお答えください。



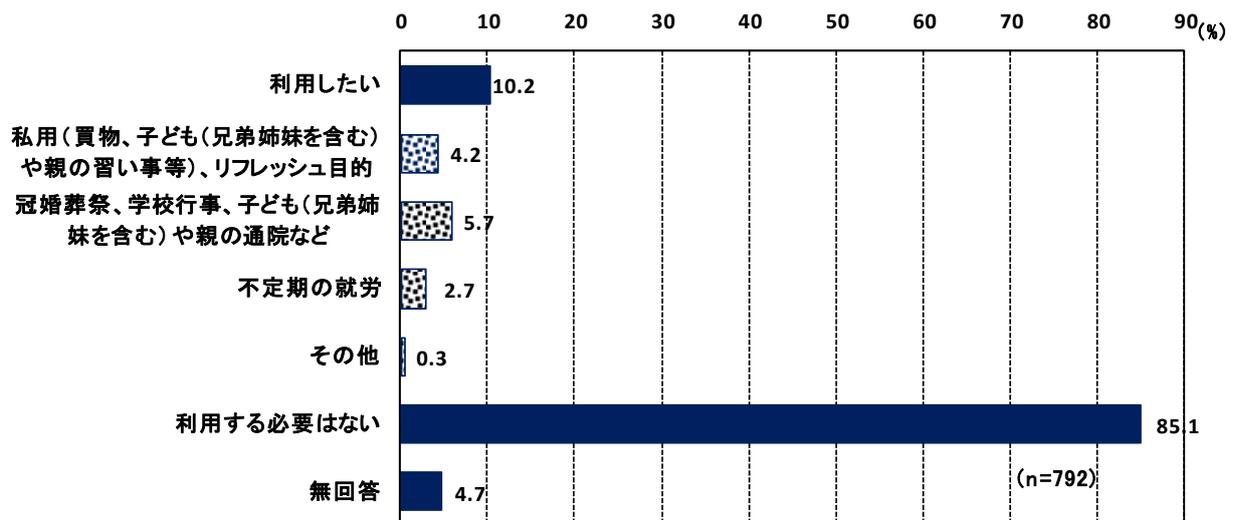
問 16 で「7」に○をした方にうかがいます。

問 16-1. 現在利用していない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)



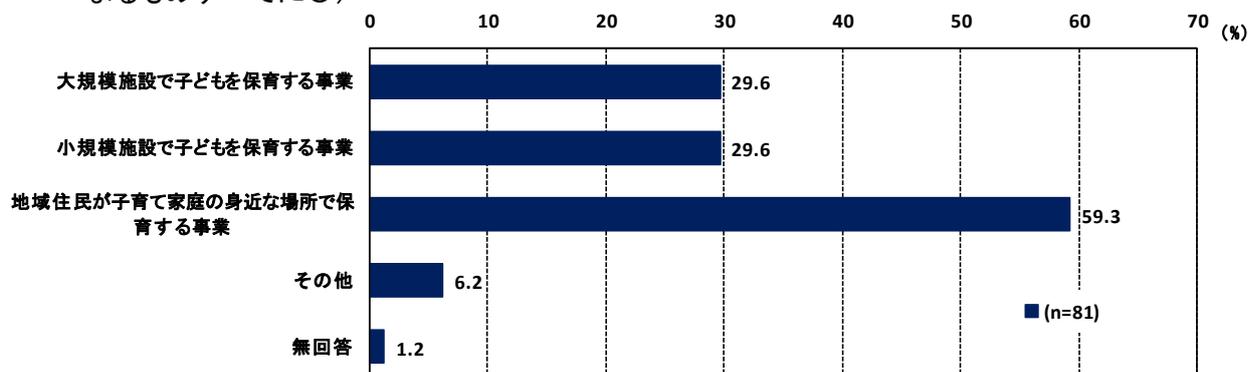
すべての方にうかがいます。

問 17. あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要がありますか。ある場合は、必要な日数もお答えください。



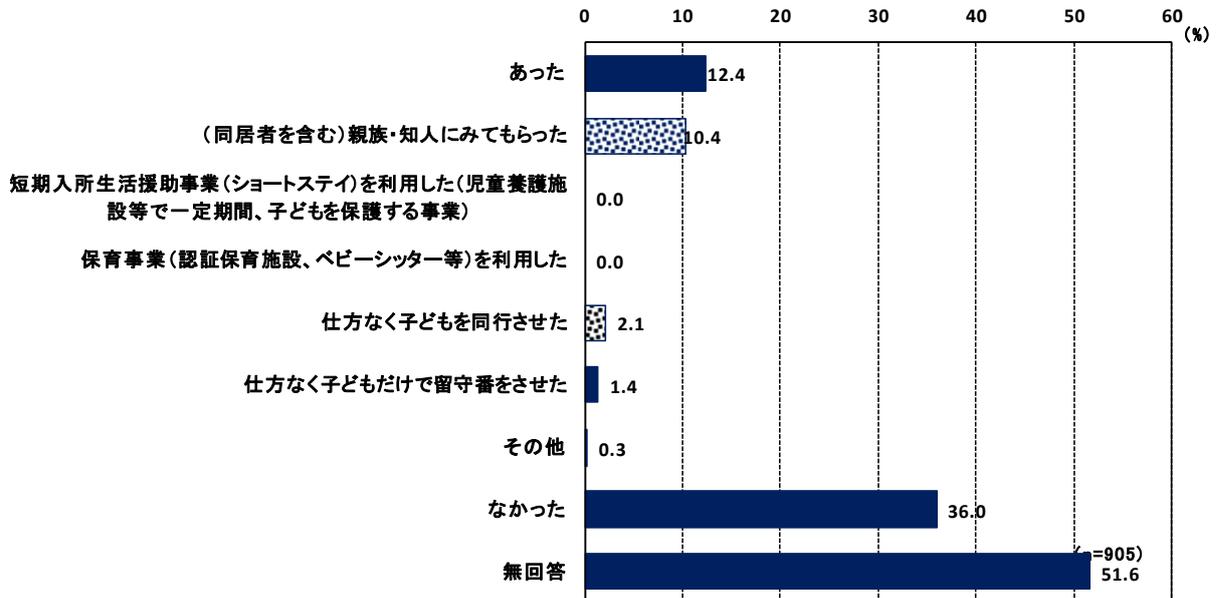
問 17 で「1」に○をした方にうかがいます。

問 17-1. 問 17 の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)



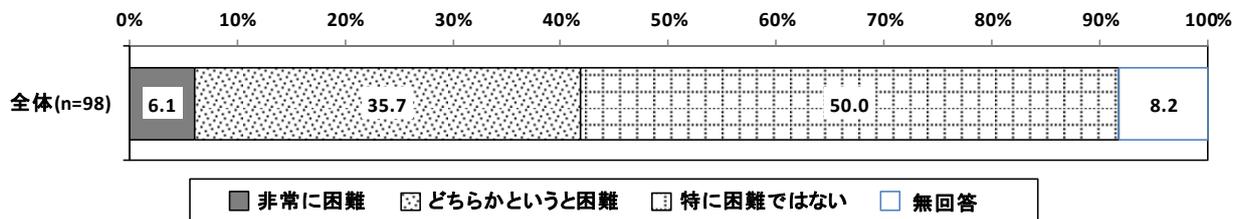
すべての方にうかがいます。

問 18. あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけてください。



問 18 で「1. あった◆(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をした方にうかがいます。

問 18-1. その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)



8. 子育て支援サービスの認知状況、利用状況

【認知度】

各種の子育て支援サービスの認知状況としては、「⑥地域子育て支援拠点事業（子育てひろば アイル、児童センター、桜楽館、ひまわり）」（76.5%）「⑧児童センター」（75.6%）「②育児相談（保健福祉センターの情報相談サービス）」（75.6%）が7割以上の認知率と目立って高くなっています。以下「⑨市が発行している子育て情報（子育てガイドブック等）」（61.4%）「⑦地域子育て支援拠点事業（認定こども園・保育所）」の51.0%となっています。一方、「⑩家庭教育に関する講座・講演」（36.1%）「①パパママ教室」（36.4%）「⑤保育所や幼稚園の園庭の開放」（37.1%）と認知率が低率となっています。

【利用状況】

利用経験としては、「⑥地域子育て支援拠点事業（子育てひろば アイル、児童センター、桜楽館、ひまわり）」が47.9%、「⑧児童センター」が45.2%と目立って高い利用率となっていますが、その他は半分以上で、中でも「③子育て講座（前向き子育て講座・児童虐待防止講座等）」が6.9%「④ファミリーサポートセンター」が7.1%、「⑩家庭教育に関する講座・講演」が9.2%、「①パパママ教室」が9.8%と低い利用率となっています。

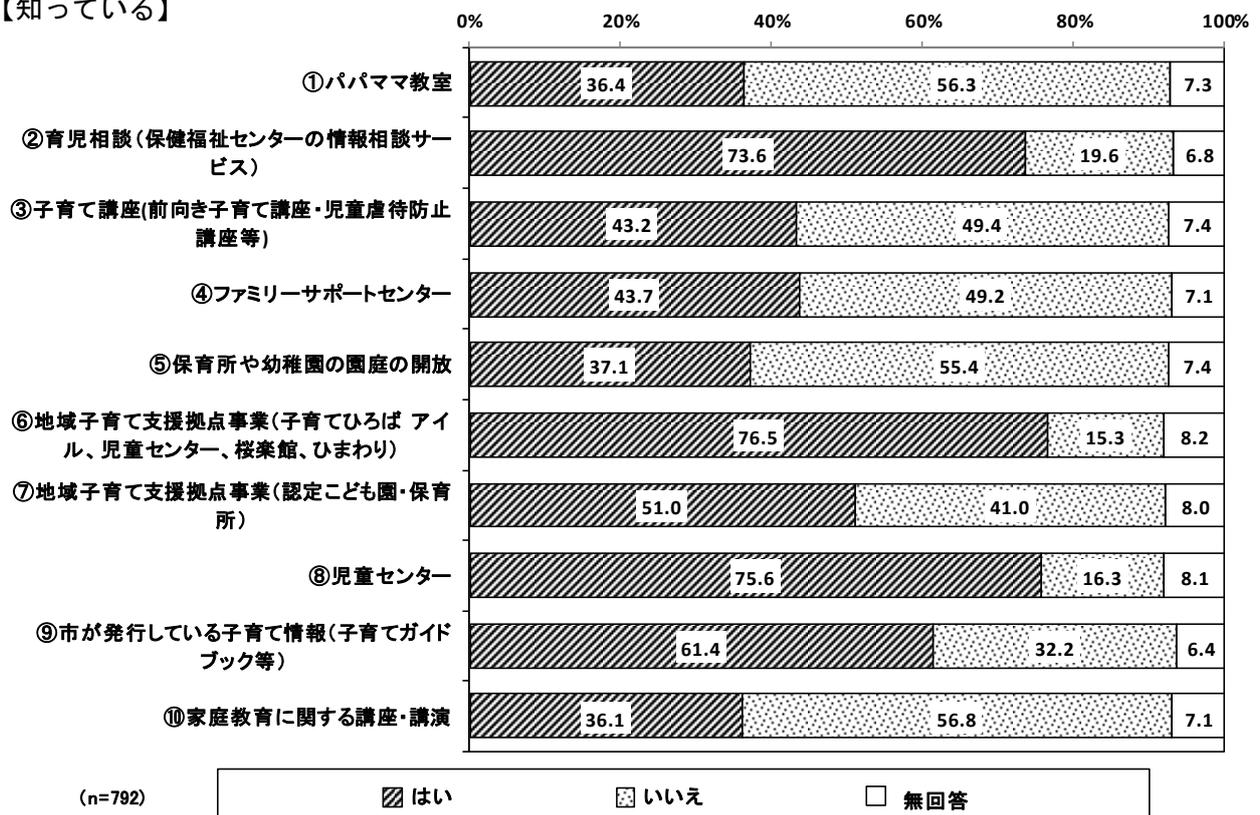
【利用希望】

今後の利用意向としては、「⑧児童センター」が43.4%、「⑥地域子育て支援拠点事業（子育てひろば アイル、児童センター、桜楽館、ひまわり）」が40.8%、「⑨市が発行している子育て情報（子育てガイドブック等）」が40.2%と高い利用率となっている反面、「①パパママ教室」が6.3%、「③子育て講座（前向き子育て講座・児童虐待防止講座等）」が12.0%と低い利用希望率となっています。

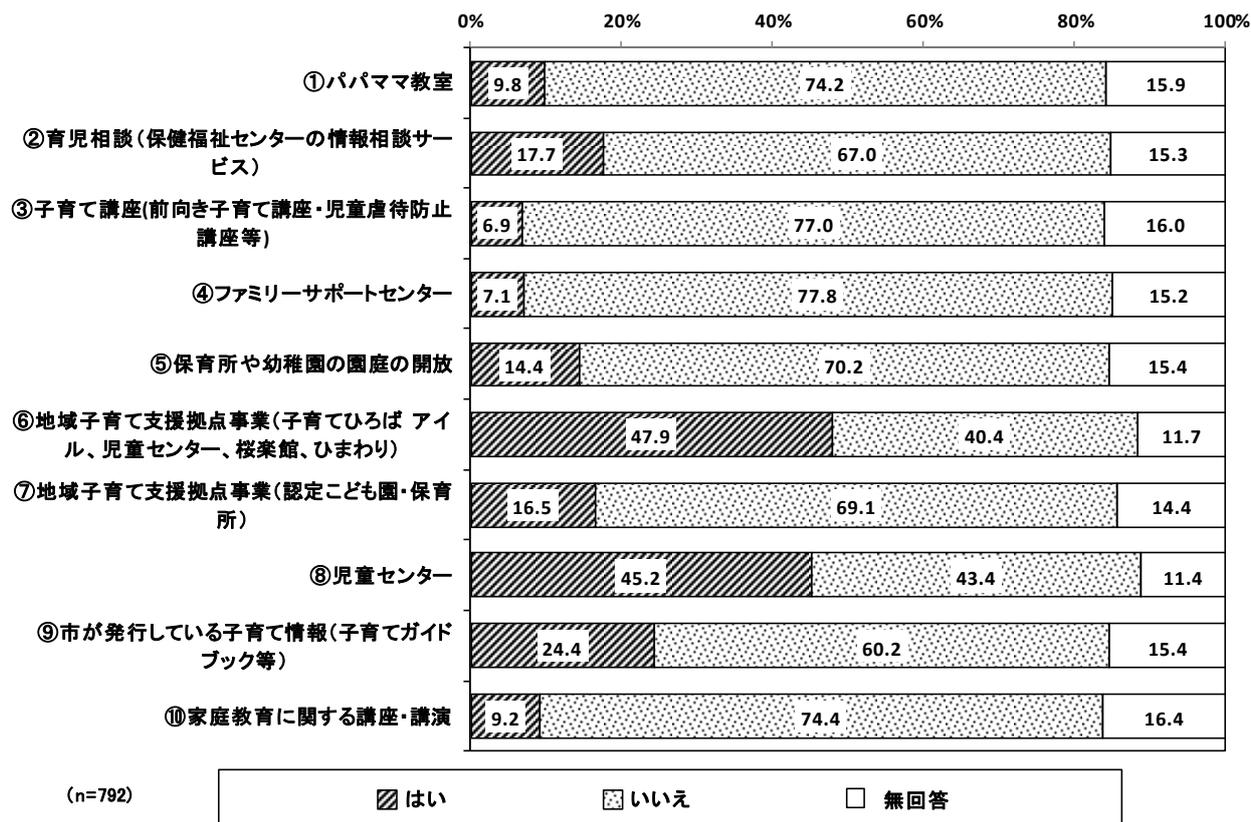
すべての方にうかがいます。

問 19. 下記の①～⑩のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いますか。（サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、1つに○）

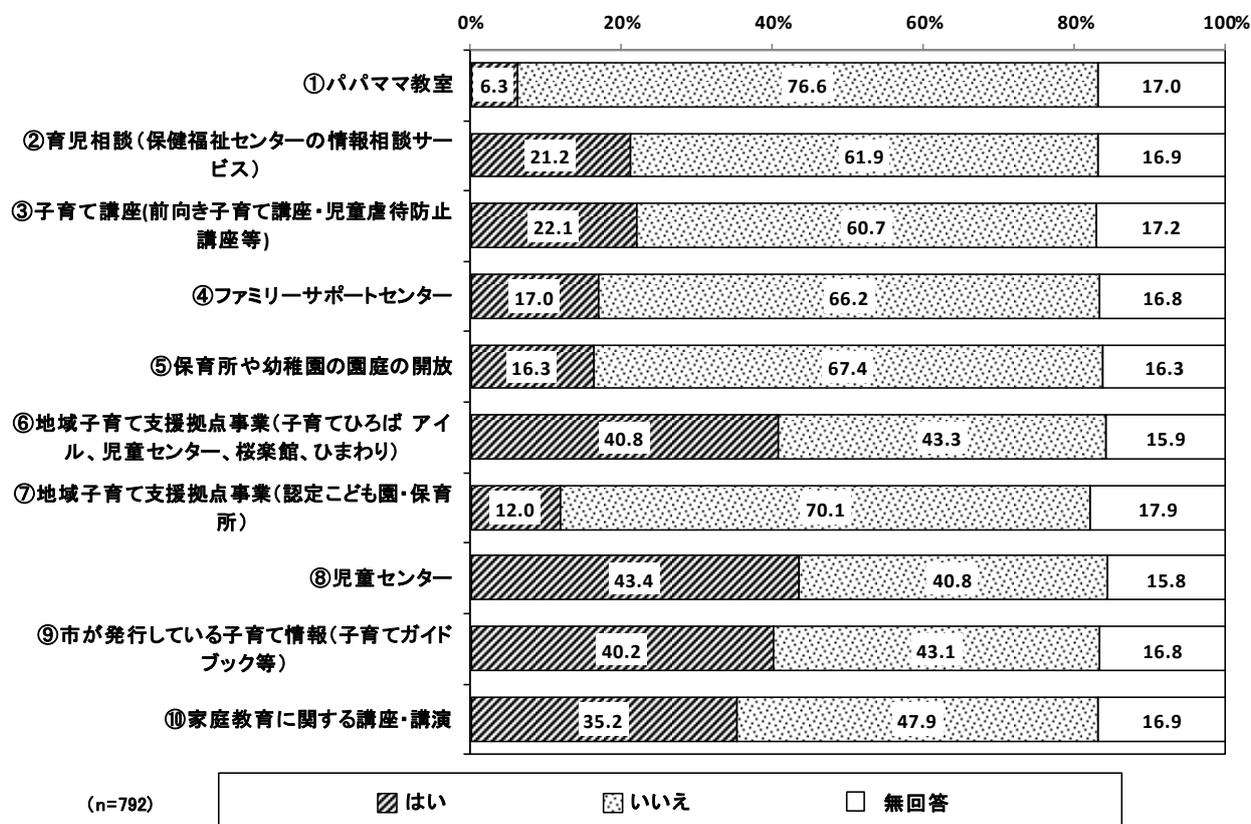
【知っている】



【利用したことがある】



【今後利用したい】



9. 地域の子育て事業について

9-1. ファミリーサポートセンター及び児童センター

ファミリーサポートセンターの子どもを預かる会員としての登録意向については、「登録したい」と「条件があれば登録したい」を合わせると 34.6%を占めている反面、「あまりしたくない」と「したくない」を合わせると 63.3%なっています。ファミリーサポートセンターの意義をご理解いただく努力をする必要があります。

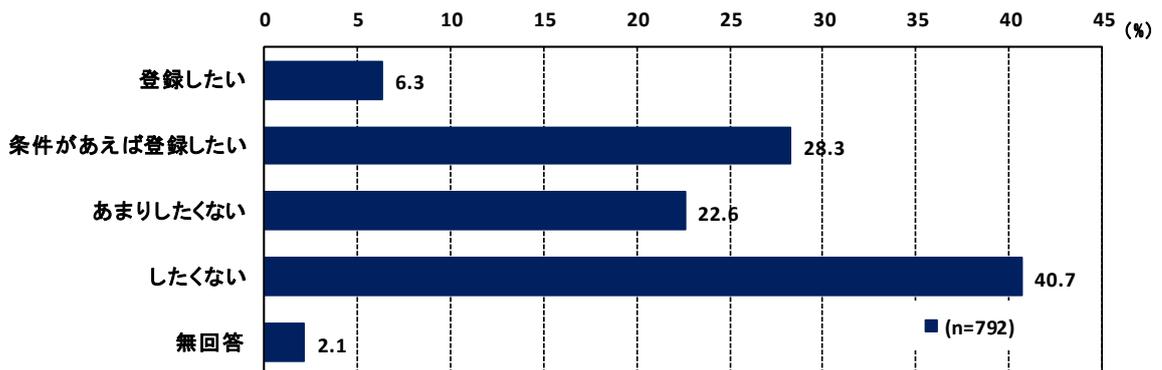
児童センターの利用については、「利用したことがある」が 51.9%を占めている反面、「利用したことがない」が 42.8%となっています。

児童センターの今後のサービスに対する意向については、「遊びを通して、子ども同士のかかわりができること」が 34.8%で最も高く、次いで「子育ての相談ができ、解決のための援助をしてもらえること」が 21.5%、「子どもの年齢にあったおもちゃがあり、遊びの指導が受けられる」が 17.4%と続いています。

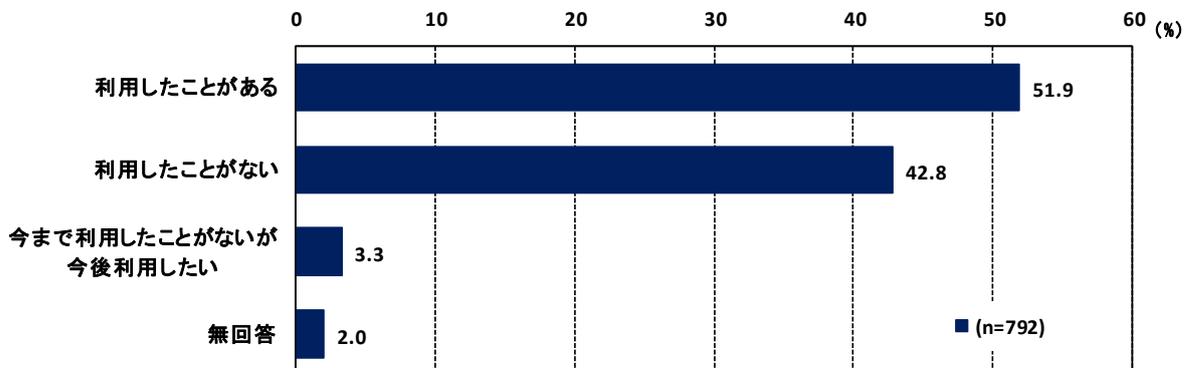
ファミリーサポートセンターや児童センターの活動やサービスをご理解いただくことに努める必要があります。

すべての方にうかがいます。

問 20. あなたは、ファミリーサポートセンターの子どもを預かる会員として登録して参加してみたいと思いますか。(1つに○)

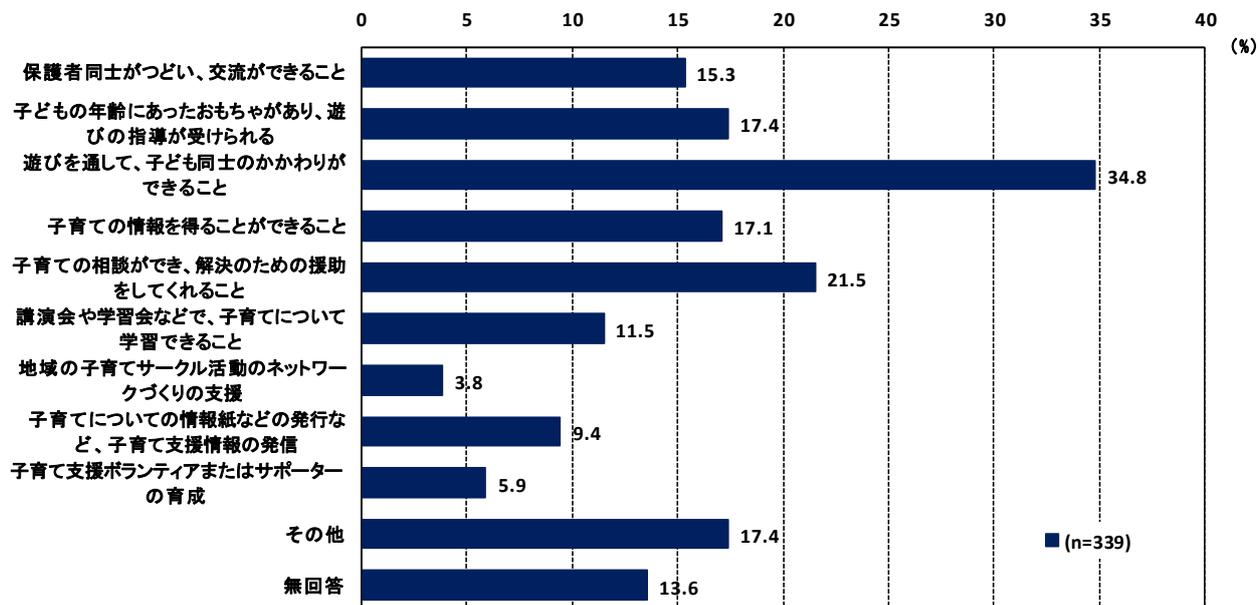


問 20-1. 小城市には、児童センターがありますが、あなたはそこを利用したことがありますか。



問 20-1 で「2 利用したことがない」と回答した方にうかがいます。

問 20-2. 今後どんなサービスがあれば利用したいと思いますか。(3つまで○)

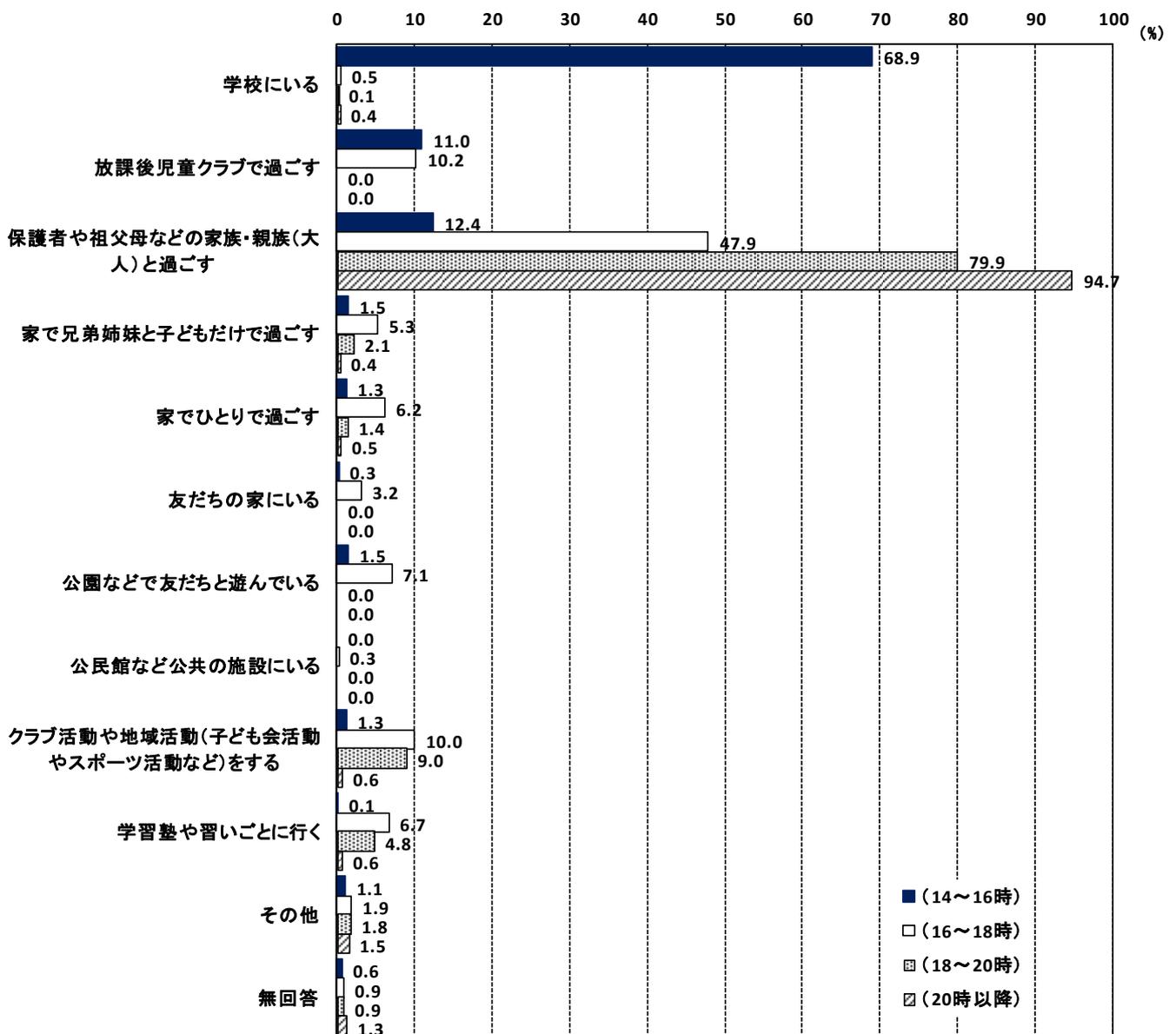


10. 子どもの居場所について

平日の放課後の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものについては、14～16 時では「学校にいる」が 68.9%で最も多く、16～18 時では「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごす」が 47.9%で最も多く、18～20 時では「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごす」も 79.9%で最も多く、20 時以降では「保護者や祖父母などの家族・親族（大人）と過ごす」も 94.7%で最も多くなっています。

すべての方にうかがいます。

問 21. 平日の放課後の日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、(1)～(4)の時間帯ごとにあてはまるものをそれぞれ1つずつ選んで、番号に○をつけてください。



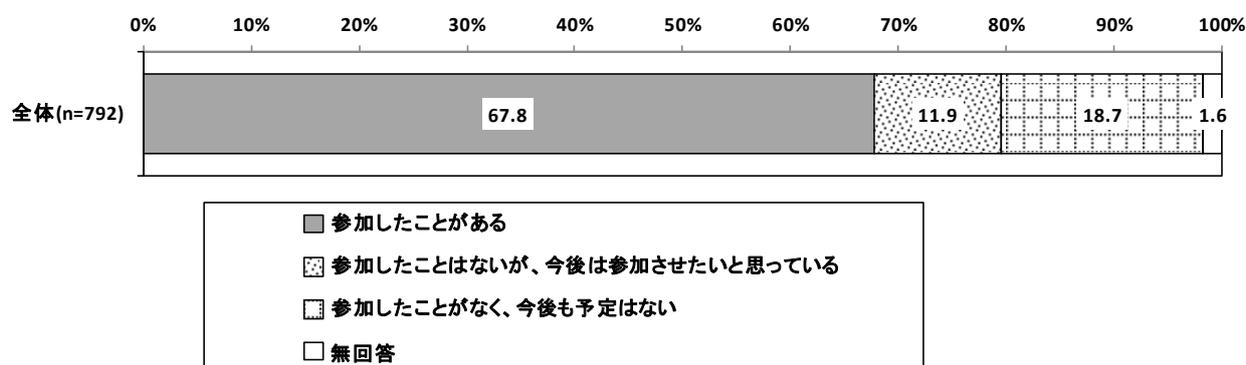
11. 子どもの地域活動への参加状況について

お子さんの地域活動やグループ活動などへの参加状況については、「参加したことがある」が67.8%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」が11.9%、「参加したことがなく、今後も予定はない」が18.7%となっています。

お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類については、「子どもクラブなど青少年団体活動」が56.6%、「スポーツ活動」が52.6%と5割以上を占めています。

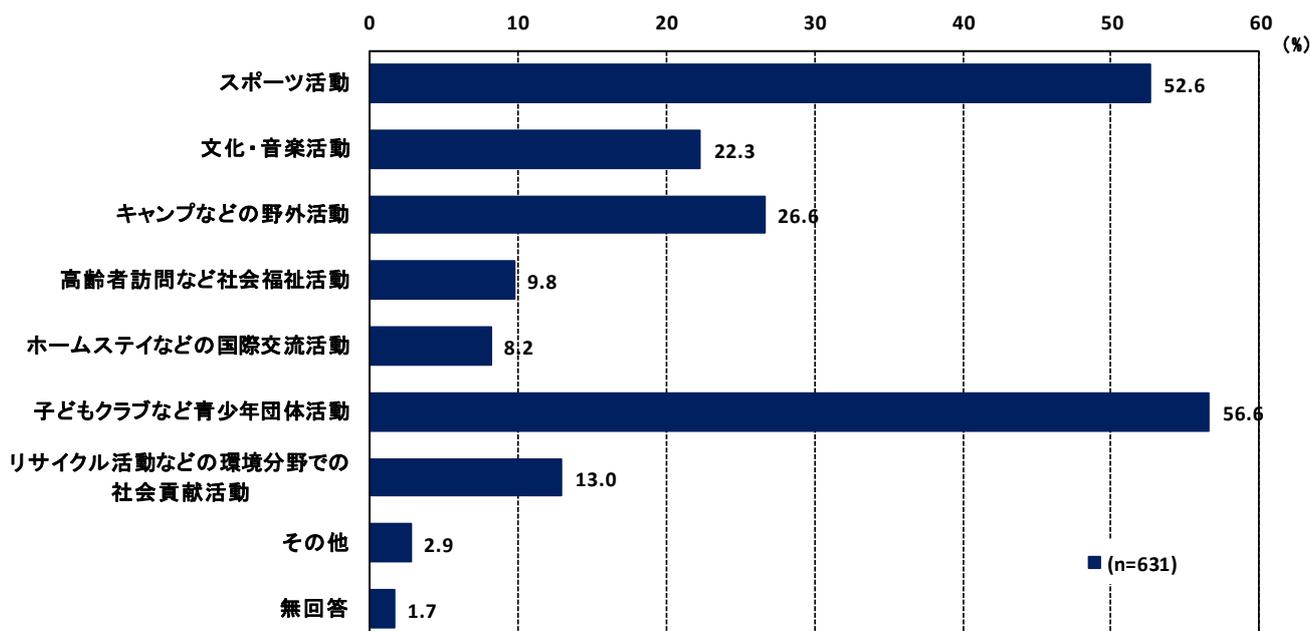
すべての方にうかがいます。

問 22. お子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(1つに○)



問 22 で「1.」または「2.」に○をした方にうかがいます。

問 22-1. お子さんが参加したことがある、もしくは今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

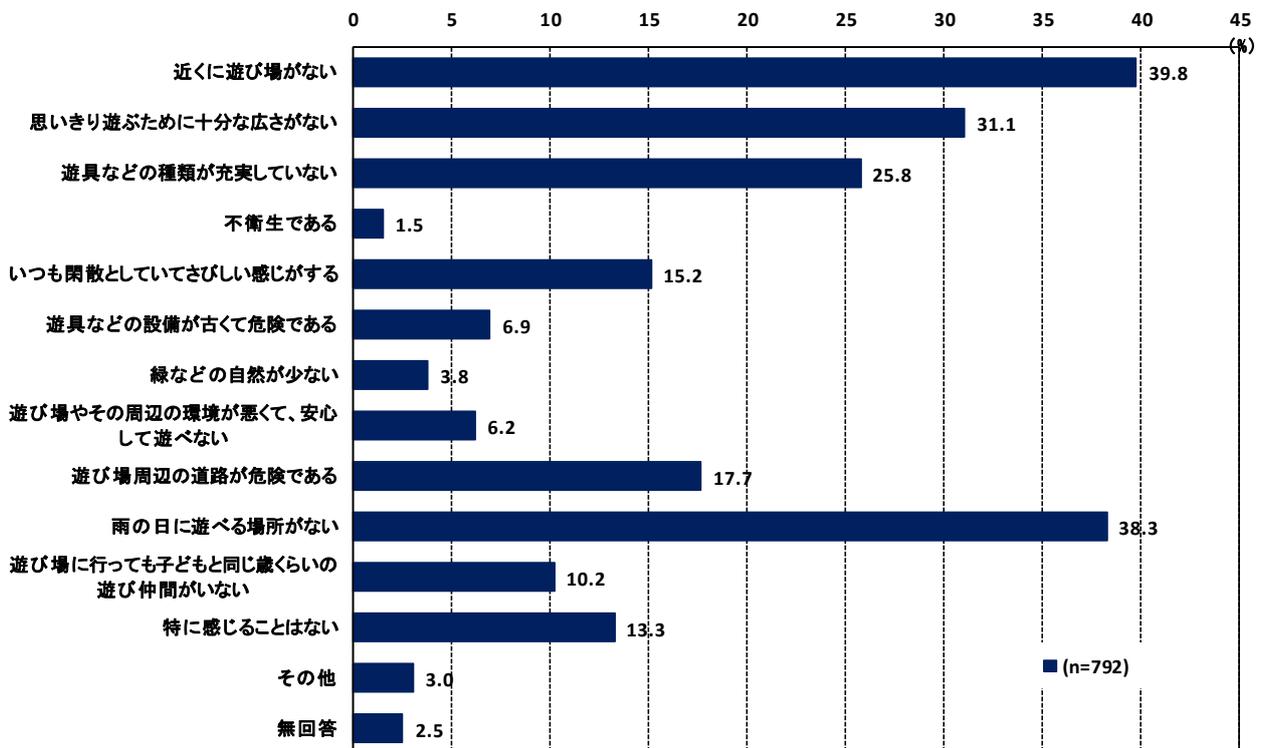


12. 遊び場所について

家の近くの子どもの遊び場所に対して日頃感じていることについて、「近くに遊び場がない」が 39.8%で最も高く、次いで「雨の日に遊べる場所がない」が 38.3%、「思いきり遊ぶために十分な広さがない」が 31.1%、「遊具などの種類が充実していない」が 25.8%と続いています。

すべての方にうかがいます。

問 23. 家の近くの子どもの遊び場所について、日頃感じていることがありますか。(3つまで○)



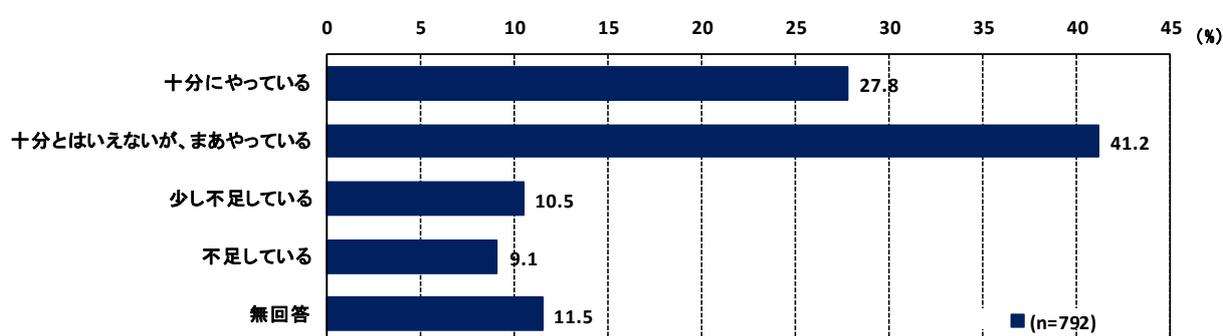
13. お父さんの子育ての参加状況

お父さんの子育てへの参加については、「十分にやっている」と「十分とはいえないが、まあやっている」を合わせると 69.0%を占めている反面、「少し不足している」と「不足している」を合わせると 19.6%となっています。

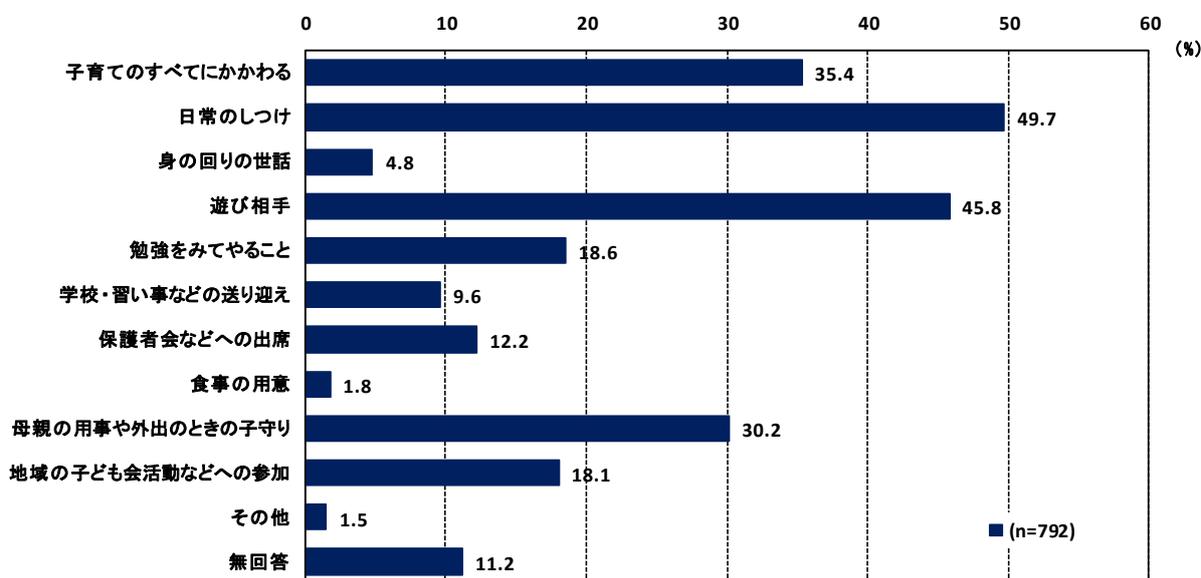
お父さんがかかわることが必要な子育てについては、「日常のしつけ」が 49.7%で最も高く、次いで「遊び相手」が 45.8%、「子育てのすべてにかかわる」が 35.4%、「母親の用事や外出のときの子守り」が 30.2%と続いています。

すべての方に向かいます。

問 24. あなたの家庭では、お父さんはどの程度子育てをしていますか。(1つに○)



問 25. お父さんがかかわることの必要な子育ては何だと思えますか。(3つまで○)



14. 子育てに関する悩みや不安とその相談相手

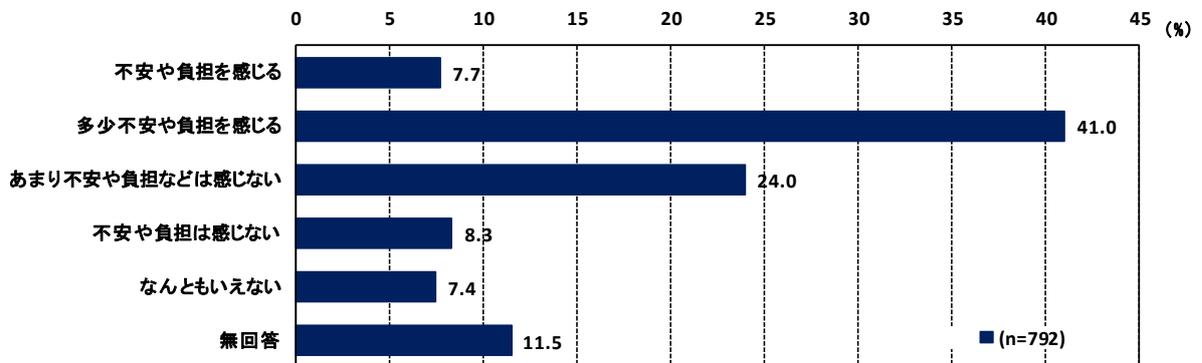
14-1. 子育てに関する悩みや不安

子育てに関する不安感や負担感については、「不安や負担を感じる」と「多少不安や負担を感じる」を合わせると 48.7%を占めている反面、「あまり不安や負担などは感じない」と「不安や負担は感じない」を合わせると 32.3%になっています。

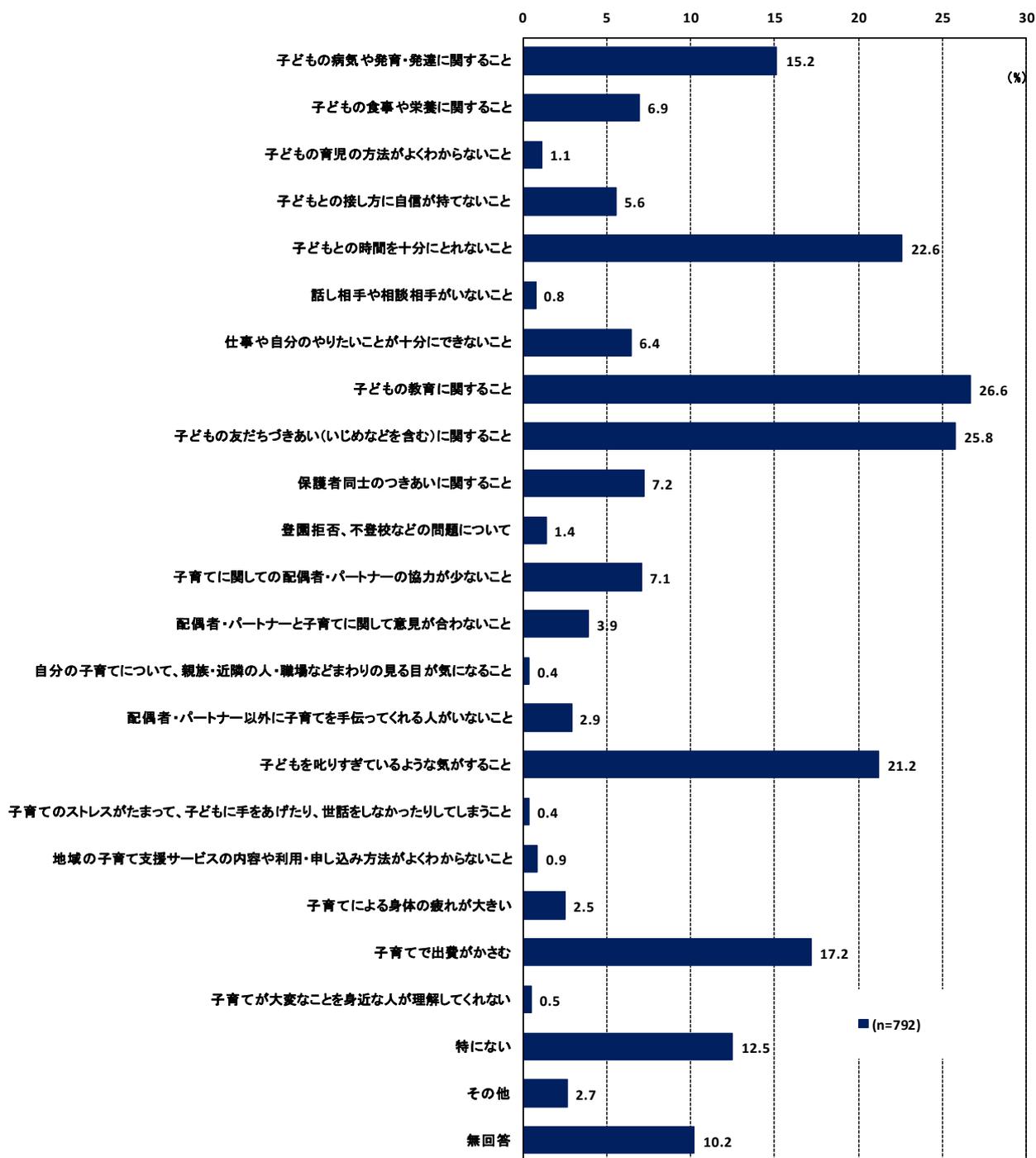
お子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることについては、「子どもの教育に関すること」が 26.6%で最も高く、次いで「子どもの友だちづきあい（いじめなどを含む）に関すること」が 25.8%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 22.6%、「子どもを叱りすぎているような気がする」と続いています。

問 26 以下はすべての方にかがいます。

問 26. 子育てに関して不安感や負担感をお感じですか。(1つに○)



問 27. 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。主なものを選んでください。(3つまで〇)

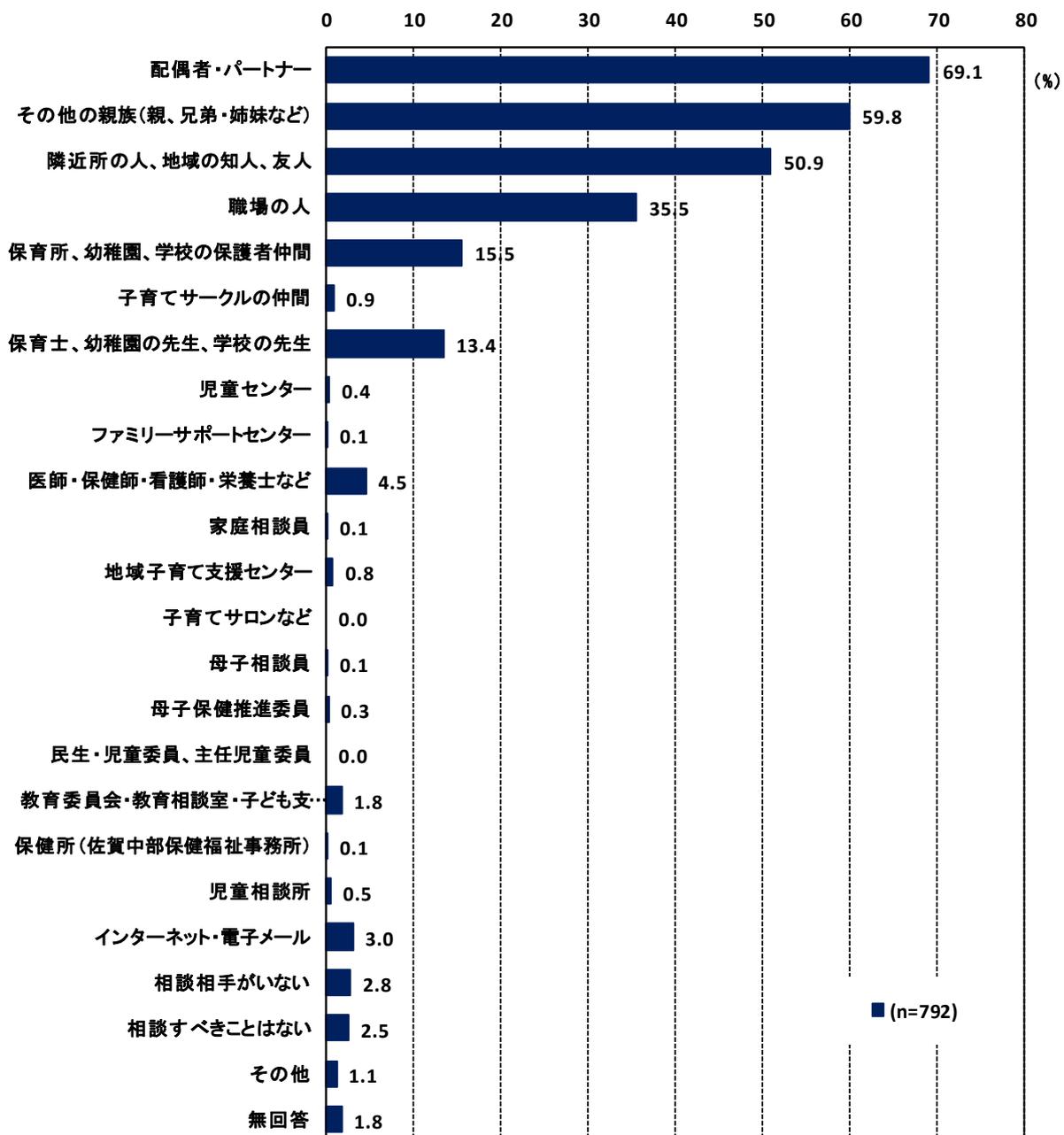


14-2. 子育てに関する相談相手

お子育てに関する相談相手については、「配偶者・パートナー」が 69.1%で最も高く、次いで「その他の親族（親、兄弟・姉妹など）」が 59.8%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が 50.9%、「職場の人」が 35.5%と続いています。

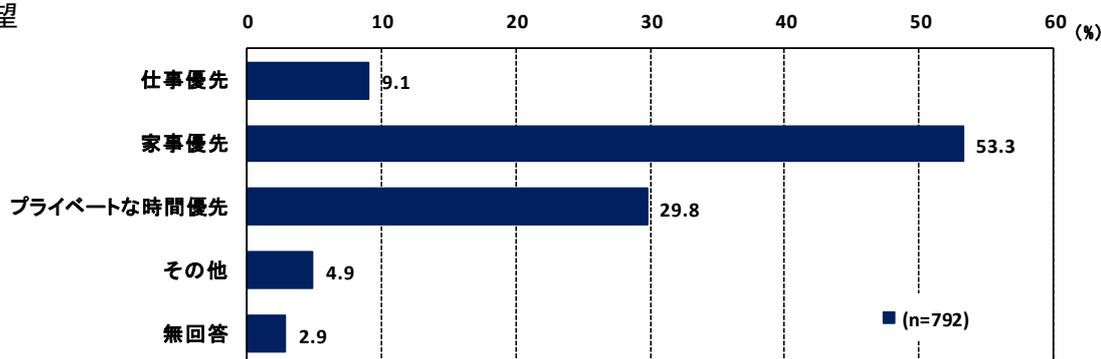
仕事・家事（育児）・プライベートな時間（趣味など）の優先度については、希望としては、「家事優先」が 53.3%で最も高く、次いで「プライベートな時間優先」が 29.8%、「仕事優先」が 9.1%、と続いています。一方、現実には「仕事優先」が 50.9%で最も高く、次いで「家事優先」が 40.8%と続いており、「プライベートな時間優先」はわずかに 2.1%となっています。

問 28. 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などをどなたに相談していらっしゃいますか。（あてはまるものすべてに○）

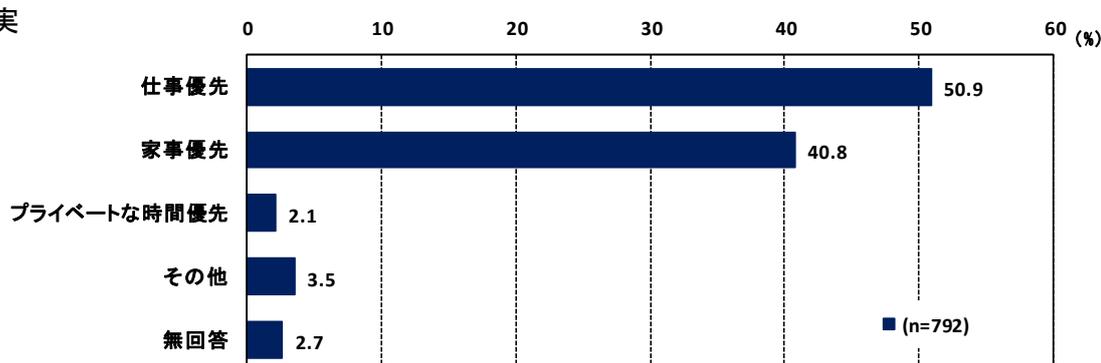


問 29. あなたの生活の中で、仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)の優先度はどのようになっていますか。(1)希望(2)現実 のそれぞれについて、あなたの考えや現状に最も近いものを1つずつ選んでください。

(1)希望



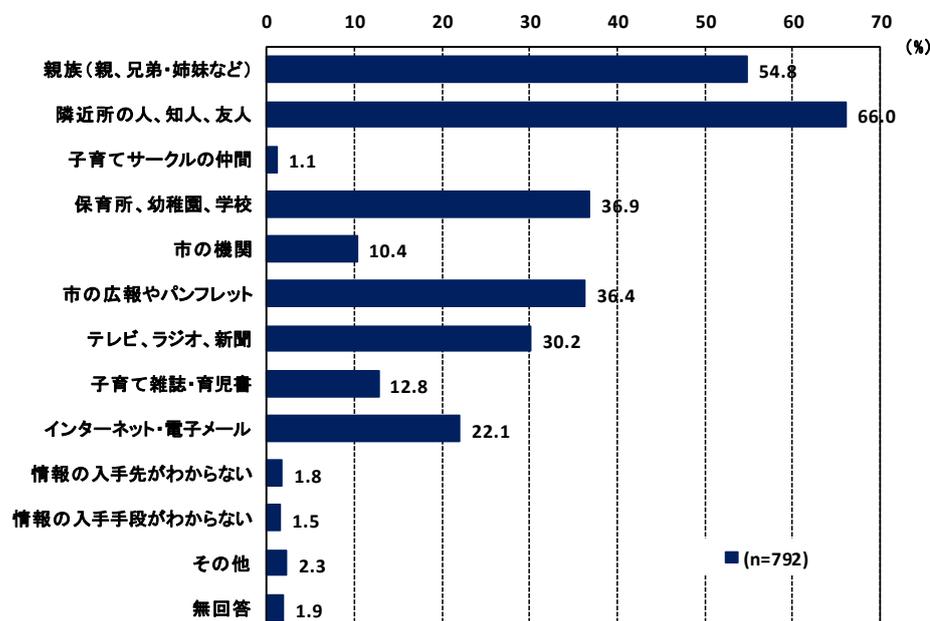
(2)現実



15. 子育てに関する情報の入手方法

子育てに関する情報の入手方法については、「隣近所の人、知人、友人」が 66.0%で最も高く、次いで「親族(親、兄弟・姉妹など)」が 54.8%、「保育所、幼稚園、学校」が 36.9%、「市の広報やパンフレット」が 36.4%、「テレビ、ラジオ、新聞」が 30.2%と続いています。

問 30. 子育てに関する情報はどこから入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)



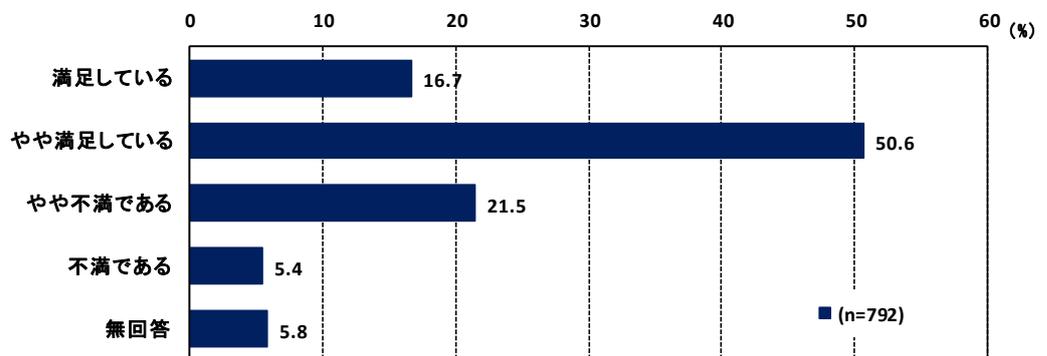
16. お住まいの地域の子育て環境

16-1. 子育て環境

お住まいの地域の子育て環境への満足度については、「満足している」と「やや満足している」を合わせると 67.3%を占めている反面、「やや不満である」と「不満である」を合わせると 26.9%となっています。

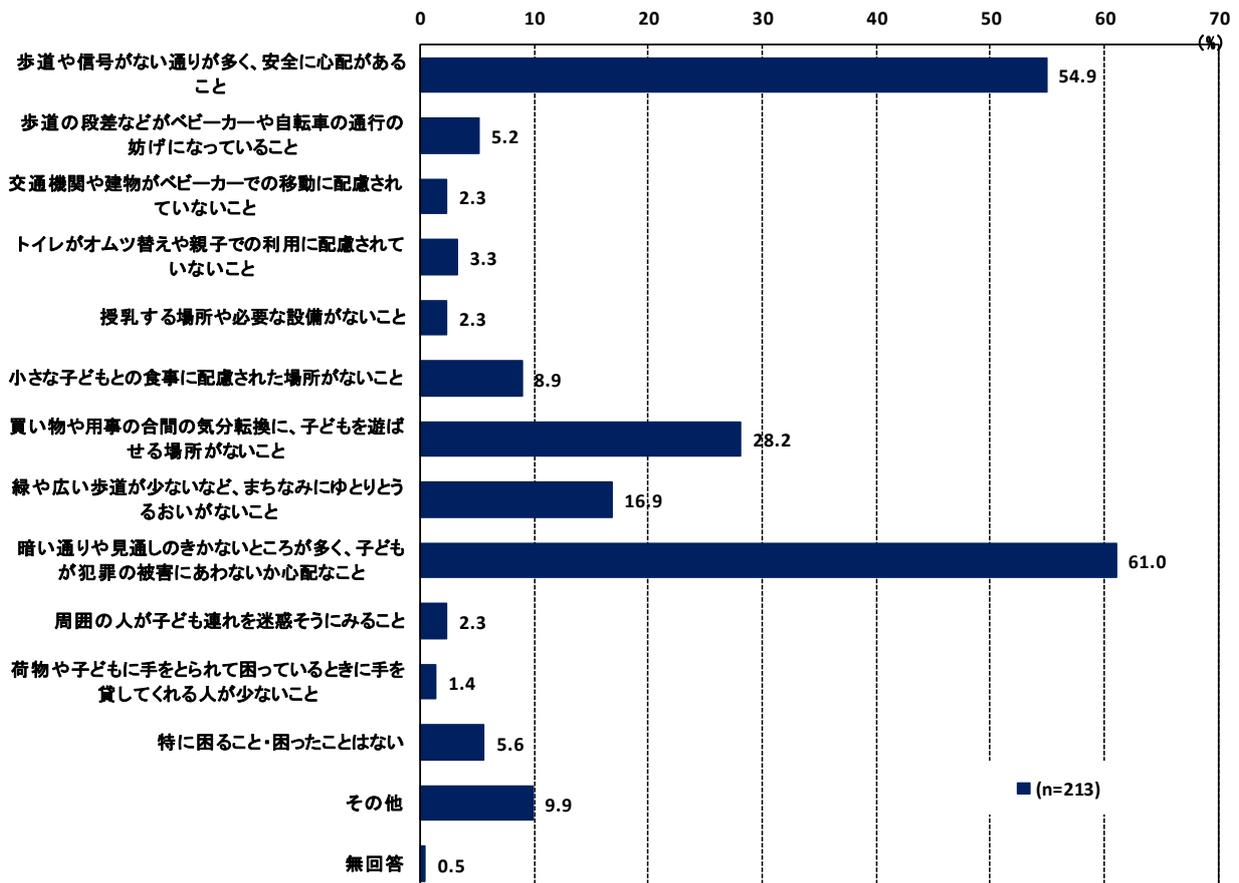
お子さんとの外出の際、困ること・困ったことについては、「暗い通りなどが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと」が 61.0%で最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」が 54.9%、「買物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 28.2%と続いています。

問 31. あなたは、お住まいの地域の子育て環境に満足していますか。(1つに○)



問 31 で「3.」または「4.」に○をした方にうかがいます。

問 31-1. お子さんとの外出の際、困ること・困ったことは何ですか。(3つまで○)



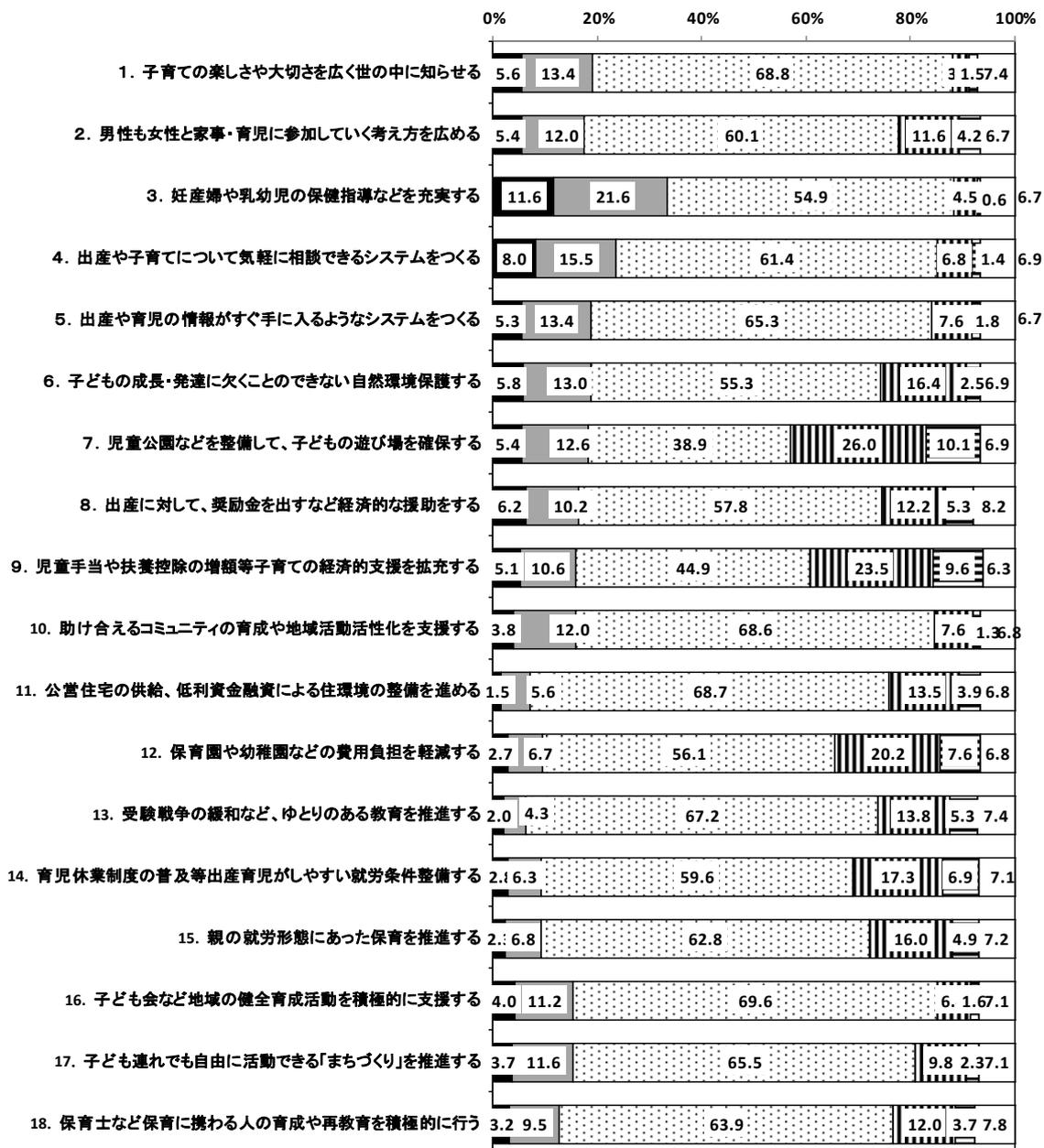
16-2. 本市の子育て支援策についての満足度と重要度

問 32. 本市の子育て支援策についての「満足度」と「重要度」についてお答えください。

(1) 満足度

本市の子育て支援策に対する「満足度」については、満足度が高いのは「3. 妊産婦や乳幼児の保健指導などを充実する」、「4. 出産や子育てについて気軽に相談できるシステムをつくる」、「1. 子育ての楽しさや大切さを広く世の中に知らせる」などです。

一方、不満度が高いのは「7. 児童公園などを整備して、子どもの遊び場を確保する」、「9. 児童手当や扶養控除の増額等子育ての経済的支援を拡充する」、「12. 保育園や幼稚園などの費用負担を軽減する」、「15. 親の就労形態にあった保育を推進する」、「13. 受験戦争の緩和など、ゆとりのある教育を推進する」、「6. 子どもの成長・発達に欠くことのできない自然環境保護する」などです。

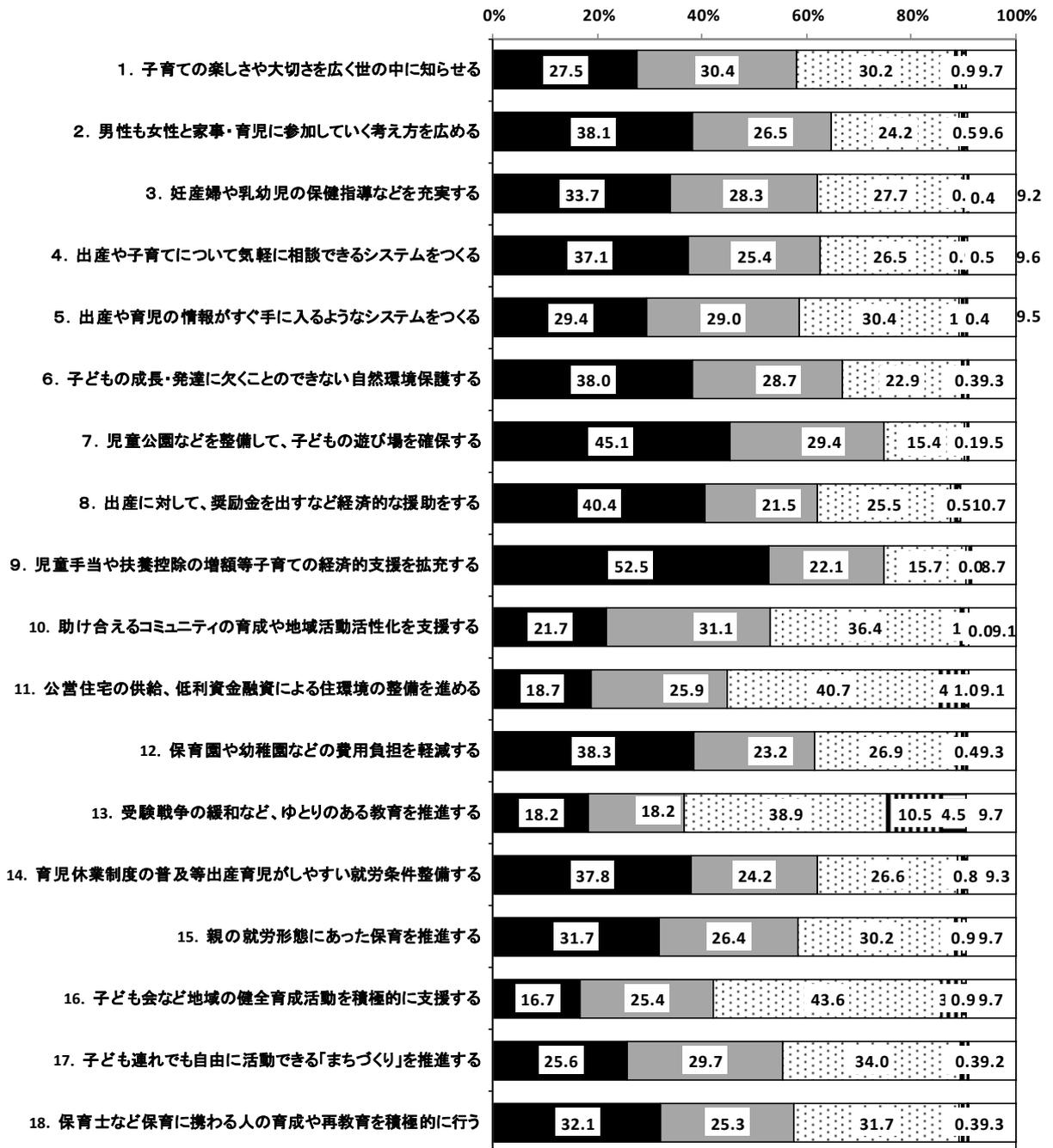


■ 満足 ■ やや満足 □ 普通 ▨ やや不満 ▩ 不満 □ 無回答

(2)重要度

本市の子育て支援策に対する「重要度」については、重要度が高いのは「9. 児童手当や扶養控除の増額等子育ての経済的支援を拡充する」、「7. 児童公園などを整備して、子どもの遊び場を確保する」、「6. 子どもの成長・発達に欠くことのできない自然環境保護する」、「2. 男性も女性と家事・育児に参加していく考え方を広める」、「4. 出産や子育てについて気軽に相談できるシステムをつくる」、「14. 育児休業制度の普及等出産育児がしやすい就労条件整備する」、「8. 出産に対して、奨励金を出すなど経済的な援助」などです。

一方、あまり重要ではないと考えられているのは「13. 受験戦争の緩和など、ゆとりのある教育を推進する」、「11. 公営住宅の供給、低利資金融資による住環境の整備を進める」、「16. 子ども会など地域の健全育成活動を積極的に支援する」などです。



■ 重要 ■ やや重要 □ 普通 ▨ あまり重要でない ▩ 重要でない □ 無回答